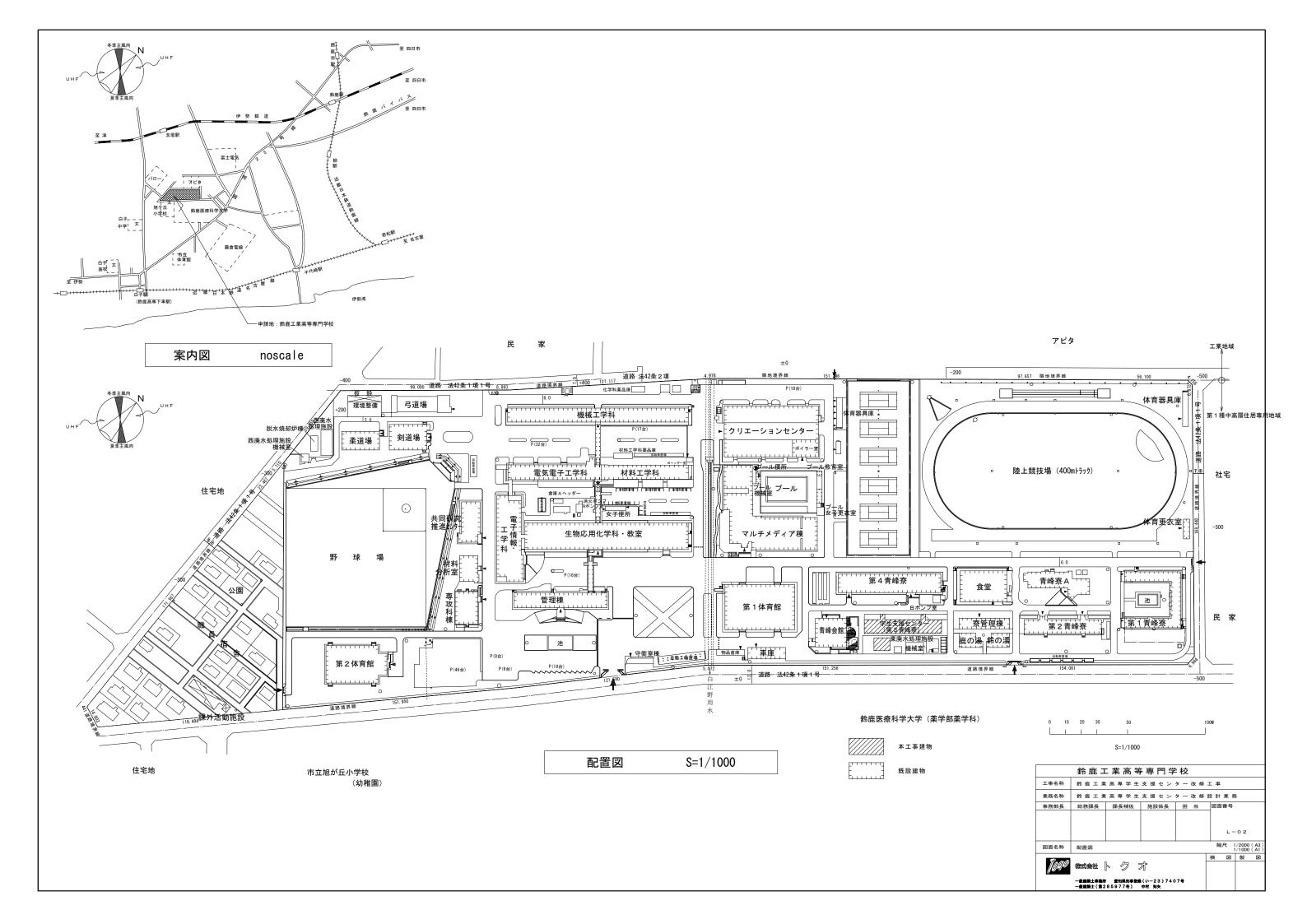
## 平成25年度

## 鈴鹿工業高専学生支援センター改修工事

		図 面	リスト		
図面番号	図 面 名 称	縮 尺	図面番号	図 面 名 称	縮尺
L - 0 1	表紙・図面リスト		A - 3 0	3 階天井伏図	1/100
L - 0 2	案内図・配置図	1/1000	A - 3 1	部分詳細図 1	1/10
特一01	特記仕様書 1		A - 3 2	部分詳細図 2	1/5, 10, 20
特一02	特記仕様書 2		A - 3 3	部分詳細図3	1/5, 10, 20, 50, 70
特-03	特記仕様書 3		A - 3 4	部分詳細図 4	1/5, 20
特一04	特記仕様書 4		A - 3 5	外構図	1/200
A - 0 1	仕上表		A - 3 6	立面図(モルタル浮き・クラック補修図)	1/100
A - 0 2	1階平面図	1/100	A - 3 7	屋根伏図(モルタル浮き・クラック補修図)	1/100
A - 0 3	2 階平面図	1/100			
A - 0 4	3 階平面図	1/100			
A - 0 5	屋根伏図	1/100			
A - 0 6	立面図 1	1/100			
A - 0 7	立面図2	1/100			
A - 0 8	矩計図 (改修前)	1/30			
A - 0 9	矩計図 (改修後)	1/30			
A - 1 0	階段詳細図	1/50	S - 0 1	鋼板内蔵コンクリート構造による補強工法 特記仕様書 その1	
A - 1 1	1階平面詳細図1(改修後)	1/50	S - 0 2	鋼板内蔵コンクリート構造による補強工法 特記仕様書 その2	
A - 1 2	1階平面詳細図2(改修後)	1/50	S - 0 3	部材リスト	1/20
A — 1 3	2階平面詳細図1(改修後)	1/50	S - 0 4	補強詳細図 1	1/50
A - 1 4	2 階平面詳細図 2 (改修後)	1/50	S - 0 5	補強詳細図 2	1/50
A - 1 5	3 階平面詳細図 1 (改修後)	1/50			
A - 1 6	3 階平面詳細図2 (改修後)	1/50			
A - 1 7	展開図 (改修前)	1/50			
A - 1 8	1階展開図1 (改修後)	1/50			
A - 1 9	1階展開図2(改修後)	1/50			
A - 2 0	2階展開図1(改修後)	1/50			
A - 2 1	2階展開図2(改修後)	1/50			
A - 2 2	2階展開図3(改修後)	1/50			
A - 2 3	3階展開図1(改修後)	1/50			
A - 2 4	3階展開図2(改修後)	1/50			
A - 2 5	建具表1 (キープラン・既設)	1/50			
A - 2 6	建具表 2 (新設)	1/50			
A - 2 7	建具表3 (新設)	1/50			
A - 2 8	1 階天井伏図	1/100			
A - 2 9	2 階天井伏図	1/100			

	鈴鹿工業高等専門学校									
工事名称	鈴鹿工業	<b>高専学生</b>	支援セン	ター改修	エ事					
業務名称	鈴鹿工業	<b>高専学生</b>	支援セン	ター改修	設計業務	务				
事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	図面番号					
					L -	-01				
図面名称	表紙・図面	リスト			縮尺	-				
E					検 図	製図				
10ge	徽式金社	ト <b>ク</b> :	才							
	一級建築士事務所	<b>爱知果知事登</b>	k(い-23)74	7号						



	AA === == :	M. J 177	·	
工事名称		学生支援センター改		
工事場所		白子町 (鈴鹿		交構内)
完成期限	半成26年 (	3月14日(金)		
工事の種類・規模等	棟名称	学生支援センター		
	工種	模様替		
	構造・階数	R 3		
	建築面積	(465. 43) m <sup>2</sup>		
	延べ面積	(1, 350. 00) m <sup>2</sup>		
	改修延べ面積	1, 350. 00 m²		
	延べ面積計			m²
	改修延べ面積計			1, 350. 00 m²
		耐震改修		
	模様替内容	外部改修		
		内部改修		
	工作物等			
	洗濯機室、	物干し場<撤去>	式	
	_	般特記事項		
	基準)(建築工書(特記基準) 書(特記基準) 基準)(建築工標準仕様書( 基づき工事を 2. 特記仕様書の	)適用方法 まる事項及び表中 <i>0</i>	、文部科学省建 共建築改修工事様 、文部科学省建 :版) 及び工事写真	築工事標準仕様 課準仕様書(統一 築改修工事 環撮影要領に
		=で抹消した章及び	<b>が項目の当該特記</b>	事項は、すべて
	適用しな(3)表中の数	≕で抹消した章及び い。 字、文字又は記号を		
	適用しな (3) 表中の数 事項のみ (4) 特記され 特記され	一で抹消した章及びい。 字、文字又は記号を 適用する。 た材料、製造所、製たもの又は同等品以	を記入する事項は 型品名、施工業者 以上のものとする	、記入してある 等の取扱いは、 。ただし、同等
	適用しな数み 事項のみれれ以上欄欄の(((((((((((((((((((((((((((((((((((	一で抹消した章及びい。 字、文字又は記号を 適用する。 た材料、製造所、製	・記入する事項は 場品名、施工業者 よ上のものとする に督職員の承諾を 値は、下記の各 はは、下記の各 は様書(統一基準) ・標準仕様書(統一基 集準仕様書(統一基	、記入してある 等の取扱いは、 。ただし、同等 受ける。 亥当番号を示す。 (建築工事編)(平 に基準)(平成25年 基準)(建築工事編

	1 章 一般共通事項		
<1.2.1> 実施工程表	概成工期 平成26年 2月28日(金)		
<1.3.3> 電気保安技術者	この工事現場に下記いずれかの電気保安技術者及び、 備の保安責任者を選任する。	、工事用	電力設
		電気保安	
	1 第3種電気主任技術者以上の資格を有す	技術者	
	る者 2 1級電気工事工事施工管理技士の資格を ちまるよ		
	有する者 3 高等学校又はこれらと同等以上の教育施設において、電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に関する省令第7条	0	
	第1項各号の科目を修めて卒業した者 4 旧電気工事技術者検定規定規則による高		
	正電気工事技術者の検定に合格した者 5 公益事業局長又は通商産業局長の指定を		
	受けた高圧試験に合格した者 6 第1種電気工事士の資格を有する者	0	
	7 2級電気工事工事施工管理技士の資格を有する者		
	8 第2種電気工事士 (旧電気工事士) 以上 の資格を有する者		
	9 短期大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上の教育施設の電気工学以外		
	の工学に関する学科において一般電気工 学(実験を含む)に関する科目を修めて		
	子(夫級を含む)に関する科目を修めて 卒業した者		
〈1.3.4〉 工事用電力設備の 保安責任者	この工事現場には、下記の資格を有する工事用電力! 責任者を選任する。	設備の係	安
<1.3.5> 施工条件	この工事現場では、次の施工条件による。		
池土木H			
<1.3.8> 発生材の処理等	引渡しを要するもの		
光工材の処理等	1) 品名 2) 引渡し先 3) 集積場所		
	<del>特別管理産業廃棄物</del> 1) 品名 2) 処理方法		
	 現場において再利用を図るもの 1) 品名 屋上砂利		
	2) 使用箇所 犬走り砕石敷 再資源化を図るもの		
	1) 品名 コンクリートガラ、アスファルト、木 2) 受入場所	材	
	3) 搬出に先立ち搬出計画書を作成し、監督職員に提 4) 日々の搬出量等をとりまとめた土砂等搬出調書を 職員に提出する。 5) 工事発注後に明らかになった事情により、上記の たい場合は、監督職員と協議する。	作成し、	監督
	関係法令に従い適切に処分するもの 1) 品名 建設汚泥、ガラス、タイル、畳、床敷	(物、張	物、
	発生土、金属類、ボード類 2) 受入場所 知事の許可を得ている処分場 3) 搬出に先立ち搬出計画書を作成し、監督職員に提		
	4) 日々の搬出量等をとりまとめた土砂等搬出調書を職員に提出する。		
(1.0.11)	5) 工事発注後に明らかになった事情により、上記のたい場合は、監督職員と協議する。	指定に。	よりが
<1.3.11> 施工中の環境保全等			
低騒音型・低振動型 建設機械の使用	本工事においては「低騒音型・低振動型建設機械の 程」(平成9年7月31日 建設省告示第1536号)に基 臣が型式指定を行った低騒音型・低振動型建設機械 とする。ただしこれにより難い場合は、監督職員と1 書類を提出するものとする。 低騒音型建設機械を使用する場合、現場代理人は施 使用する建設機械の写真撮影を行い、監督職員に提 る。	づき国士 を使用す 協議のよ エ現場に	:交通大 つるもの 二、必要 こおいて
排出ガス対策型 建設機械	本工事において以下に示す建設機械を使用する場合自動車排出ガスの規則等に関する法律」(平成17年)基づく技術基準に適合する機械、または、「排出ガ減構定要領(平成3年10月8日付け建設省経機発第24がス対策型建高台示第348号)もしくは「第3次排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。12年設機械を使用出来ない場合は、平成7年度建設持定を使用出来ない場合は、平成7年度建設持限が開発目が開発」は表別の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術審古しくは建設技術審査に出する大学を装着することで、排出ガス対策型機械と同等とみるこれにより難い場合は、監督職員と協議するものとこれにより難い場合は、監督職員と協議するものとこれにより難い場合は、監督職員と協議するものとこれにより難い場合は、監督職員と協議するものとこれにより難い場合は、監督職員と協議するものとこれにより難い場合は、監督職員と協議するものとこれにより難い場合は、監督職員と協議するものとこれにより難い場合は、監督職員と協議するものとこれにより難い場合は、監督職員と協議するものとこれにより難い場合は、監督職員と協議するものとこれにより難い場合は、監督職員と協議するものとこれにより難い場合は、監督職員と協議するものとこれにより報告に対しませばないませばないませばないませばないませばないませばないませばないませばない	法ス号成対に。術た査出な律対)18策基排評は・ガす第5葉、チ型づ出価に証ス。	1号建介 月銀行 1号連 1月 1日

	械を使用する場合、		争化装置を装着した建設機 現場において使用する建設 するものとする。	<1.6.9〉 化学物質の濃度測定	ホルムアルデリスチレン等の担 スチレン等の担 工事施工完 の揮発性有
	種類		備考		ことを確認
	バックホウ   ホイールローダ		ディーゼルエンジン(エ ンジン出力8kW以上、		測定室等
	ブルドーザ		560kW以下)を搭載した		<u>棟名称</u> 学生支援センタ
	<b>公新電動機(訂集</b>	は、溶接兼用機を含む	ものに限る。		子王又接でファ
	空気圧縮機(可搬す		── アィーセルエフシフ(4		
		事用機械で独立したもの	──ンジン出力7.5kW以上、 D) 260kW以下) を搭載した		
	ローラ類(ロードローラ、		ものに限る。		
ィーゼル車			される関係車両(以下本工		※上記の室の「
出ガス規制 適合した車両			のディーゼル車排出ガス規 う。)の適用を受ける場合		2回採取を
	は、これに適合した	車両を使用しなければ	ばならない。		測定物質、測定
	② 受注者は、本工事の	施工に先立ち、本工	事関係車両の「ディーゼル		種類
	車排出ガス規制に適	合する車両の使用」「	こついて、排出ガス規制条		ホルムアルデヒ
	例の遵守を施工計画	書に記載しなければフ	ならない。		
			車を使用する場合には、車		
	検証のコピーを保管	し、本工事関係車両	を把握しなければならない。		トルエン
			こ違法行為等があった場合		170-5
	には、直ちに監督職	員に報告しなければフ	ならない。		キシレン
	⑤ 受注者は、資機材の	搬出入等において、i	資材納入業者に排出ガス規		+/0/
	制条例を遵守させる				エチルベンゼン
. 4. 2>					エテルヘンセン
料の品質等	再利用を図るものは	、次による。			スチレン
					ヘアレノ
					WEER 1 2 12 1
					※両単位の換算
. 4. 4>					試料採取方法
料の検査等	材料名	備考			試料採取は を30分換
					0分間採取
					機化合物濃 ~3時頃に
					の条件で平
. 6. 2>					<u>と</u> も壁から 位置として
能士	適用工事種別 仮設工事	技能検定の職種・とび			ら2~5 m
	鉄筋工事	・鉄筋施工			取位置とし
	コンクリート工事	- 左官 ・: - コンケリート圧送施工	型枠施工		測定結果が上
	鉄骨工事	・とび			測定結果が
	ブ・ロック・ALCハ・ネル工事 PCカーテンウォール工事	・プロック建築・ノ	ALCパネル施工		
	防水工事	○防水施工			※参考測定機
	<u>石工事</u> タイル工事	<ul><li>・石材施工</li><li>・タイル張り</li></ul>		<1. 7. 2>	
	木工事	・建築大工		技術検査	本工事中に中 ただし、工事
	屋根、とい工事 金属工事	<ul><li>・建築板金・・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li><li>・・</li>&lt;</ul>	スレート施工 (鋼製下地)		協議するもの。
	左官工事	・左官		<1. 8. 2>	
	建具工事 塗装工事	<ul><li>●サッシ施工・</li><li>●塗装</li></ul>	ガラス施工	完成図	完成図の種類
	内装工事	○内装仕上げ施工(	床、天井仕上げ等)・表装		完成図
	植栽工事	▶造園			201201
. 6. 4>	<b>司 1882年111年中</b>	+74000			
工程の施工の確 び報告		あるもの以外で、次( を監督職員に行うも(	こ示す工程については、 のとする。		** - 100
					施工図
	施工の確認及び報告 防水層の下地		ニーニーニーニー 完了した段階		
	外壁関係の施工	外部足:	場等を取り外す前の段階		
	軽量鉄骨天井・壁下 既存の仕上げ材、下	地 ト地か 地材の撤去 撤去が	完了した段階 完了した段階		
		き、欠損等 仕上げ			完成図の様式 <sup>会</sup> 作成方法
					原図サイズ
					工事写真帳は
.6.5〉 <del>エの検査等</del>	- 煙進仕様聿に定めが	ある±のじめで 'や!	こついて監督職員の検査		完成写真はキ
	を受ける。				する。なお、! を添付する。
					本工事は、次
. 6. 7>					貸与する設計
エの立会い等			こ示す工事段階及び事項に		ファイル形式 貸与条件:貸
	ついては、監督職員				完月
					提出方法:
				<1. 8. 3>	m 4 : = :
				保全に関する資料	保全に関する
				専門学校	
		T #	47 Et		<del>- 1</del> .

学生支援センター 1階 地域交流支援室 1検体 2階 創造活動デザイン室 1検体	1.6.9〉 Ľ学物質の濃度測定	スチレン等の担 工事施工完	『発性有機化 了後、引き渡	ン、キシレン、エチル 合物の室内濃度の測定 しをするまでの間に、	下表の測定室等								
# 24年 学生支援センター   開 地域Z直支援室   18体   学生支援センター   開 地域Z直支援室   18体   3 間   多目的学習支援室 (1) 1 技体   分類   3 間   多目的学習支援室 (1) 1 技体   分類   3 間   多目的学習支援室 (1) 1 技体   分類   3 間   7   7   7   7   7   7   7   7   7					値以下である 								
学生支援センター   1階   地域交流支援室   1 検体   2階   銀速活動   1 接体   2階   銀速   1 接体   3 階   多目的学習支援室   1 1 接体   外気   3 階   多目的学習支援室   1 1 1 接体   外気   2 回接取 を行い測定する。 測定物質   過度方法   測定方法   測定方法   一次の   1 1 接体   1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			- Luc										
***********************************					採取本数 1 検体								
※上記の室の内の代表的な1室について、それぞれ1検体に2回採取を行い測定する。 測定物質、測定方法 種類			2階	創造活動デザイン室	1 検体								
※上記の室の内の代表的な1室について、それぞれ1検体に2回採取を行い測定する。 測定物質、測定方法 種類			3階	多目的学習支援室(1	) 1 検体								
2 回採取を行い測定する。 測定物質、測定方法  理報			外気										
接頭					れ 1 検体につき								
ホルムアルデトド   100 x g/m3   10				測定方法									
トルエン   260 μ g/m3   ①次の内いずれかの測定方法と可   (0.070pm) 以下		ホルムアルデヒト	(0. 08ppm)	固相吸着/溶媒抽出 高速液体クロマトク よって行う。	法で採取し、								
キシレン   370 μg/m3   (0. 20pm)   以下   エチルペンゼン   3800 μg/m3   (0. 20pm)   以下   スチレン   (20 μg/m3)   (0. 05pm)   以下   スチレン   (20 μg/m3)   ・その他( 以下   ※両単位の換算は、25℃の場合による。   試料採取方法   試料採取対象室内及び外気の各 1 ヶ所を 2 回ずつとし、対象を 3 0 分換気後に対象室内を5 時間以上間別し、その後で   (2 μg/m3)   で表す。採取を1 接取のの 2 分割で1 を2 で 2 の条件で平行して関東する。   試料採取は室のの手数に配定するのが望ました。 室内のが望ました。 室内ののが望ました。 室内の前望ました。 室内の測定高さと同等の高さのが対象を 2 ~5 m域に設定する。   減料採取は全のの中でを1 m以上離した。 高さ 1 2 m~1 5 mの位置を 2 上で 1 定定する。   減料採取は全のの手をは 1 定定する。   減水の 1 元ので位置を 2 上で 1 定定する。   減水の 1 元ので位置を 3 小気の 1 に 2 を 3 を 3 を 3 を 3 を 3 を 3 を 3 を 3 を 3 を		トルエン	(0.07ppm)	<ul><li>次の内いずれかの別 固相吸着/溶媒抽</li></ul>	出法で採取し、								
エチルベンゼン   3800 μg/m3		キシレン	870 μ g/m3 (0. 20ppm)	行う。 固相吸着/加熱脱	着法で採取し、								
220 μ g/m3   行う。		エチルベンゼン	3800 μ g/m (0.88ppm)	3 行う。 容器採取法で採取	RL.								
※両単位の換算は、25°Cの場合による。  試料採取方法   試料採取は室内及び外気の各1ヶ所を2回ずつとし、対象を30分換気後に対象室内を5時間以上密閉し、その後概		スチレン	220 μ g/m3 (0. 05ppm)	行う。	重分析法によって								
試料採取は室内及び外気の各1ヶ所を2回ずつとし、対象を30分換気後に対象室内を5時間以上密閉し、その後機例機化合物濃度(μg/m3)で表す。採取の時刻は充分年後~3時頃に設定するのが望ましい。室外についても室内との条件で平行して採取する。試料採取は外壁及び空間域として設定する。													
本工事中に中間技術検査を、 に 回行ただし、工事内容により、これによりがたい場合は、監督職協議するものとする。  8.2〉 完成図の種類及び記入内容は次による。 完成図 ①原図 ①A1・A3 各1部 ②仮製本 ①A3 3部 ②仮製本 ②A1 1部 ②CADデータ 2部  施工図 ①原図 ①A1 1部 ②CADデータ 2部  ・ CADデータ 2部 ・ CADデータを表出事における施工図又に表現が表現である。  ・ 本工事は、次の書類について電子納品の対象とする。  ・ は データを表工事における施工図又に表現の作成のため以外に使用しないこと。 ・ 提出方法:		ら2~5 m離した、室内の測定高さと同等の高さの所を試料採取位置として設定する。 測定結果が上回った場合の措置 測定結果が指針値を上回った場合は、監督職員と協議する。											
成図	<del>術検査</del>	ただし、工事内容により、これによりがたい場合は、監督職員											
●仮製本 ○A3 3部 ●仮製本 ○A1 1部 ・製本 (金文字黒表紙)・A1 1部 ・図 ○GADデータ 2部  ●仮製本 ○A1 1部 ・ ○仮製本 ○A1 1部 ・ ○仮製本 ○A1 1部 ・ ○仮製本 ○A1 1部 ・ ○ CADデータ 2部 ・ ○株書訂正図仮製本 ・A1 1部 ・ ○ CADデータ 2部 ・ ○株書訂正図仮製本 ・A1 1部 ・ ○ CADデータ 2部 ・ ○株書訂正図仮製本 ・A1 1部 ・ ○ CADデータ 2部 ・ ○ 大書訂正図仮製本 ・A1 1部 ・ ○ CADデータ 2部 ・ ○ 大書訂正図仮製本 ・A1 1部 ・ ○ CADデータ 2部 ・ ○ 大書訂正図仮製本 ・A1 1部 ・ ○ CADデータ 2部 ・ ○ 大書訂正図仮製本 ・A1 1部 ・ ○ CADデータ 2部 ・ ○ 大書訂正図仮製本 ・A1 1部 ・ ○ CADデータを明示した配置図、平iを添付する。 ・ 本工事は、次の書類について電子納品の対象とする。 ・ 本工事は、次の書類について電子納品の対象とする。 ・ 本工事は、次の書類について電子納品の対象とする。 ・ ○ 本工事における施工図又に対していて記述は対していこと。 ・ ② はいまに対していこと。 ・ ○ A1 1 1部 ・ ○ CADデータ・A1 1和 ・		完成図の種類及	な記入内容										
○仮製本 ○A 1 1部 ・製木 金文字黒表紙)・A 1 1部 ○C A Dデータ 2部													
・製本 (金文字黒表紙)・A 1 1部													
施工図			・製本(金文	字黒表紙)・A1									
・ C A D データ 2 部 2 部 2 部 2 部 2 部 2 部 2 部 2 部 2 部 2					1 部								
・CADデータ ・株書訂正図仮製本・A1 1部  完成図の様式等は次による。 作成方法 原図サイズ ・A1  工事写真帳は(・①紙媒体・②電子媒体 )で 各1 部提出す 完成写真はキャビネ版とし黒表紙、工事名称等は金文字入り する。なお、完成写真には撮影方向等を明示した配置図、平iを添付する。 本工事は、次の書類について電子納品の対象とする。  本工事は、次の書類について電子納品の対象とする。  (賞与する設計図のCADデータ著作者名: ファイル形式: 賞与条件: 賞与するCADデータを本工事における施工図又に完成図の作成のため以外に使用しないこと。 提出方法:		#5-E	①仮製本	⊙A 1	1部								
作成方法 製本 原図サイズ A1				-タ									
作成方法 製本 原図サイズ A1													
完成写真はキャビネ版とし黒表紙、工事名称等は金文字入りする。なお、完成写真には撮影方向等を明示した配置図、平iを添付する。 本工事は、次の書類について電子納品の対象とする。		作成方法 製本											
貸与する設計図のCADデータ著作者名: ファイル形式: 賞与条件: 貸与するCADデータを本工事における施工図又 完成図の作成のため以外に使用しないこと。 提出方法:		完成写真はキャ する。なお、完	∀ビネ版とし	黒表紙、工事名称等は	金文字入りと								
ファイル形式: 賞与条件: 賞与するCADデータを本工事における施工図文 完成図の作成のため以外に使用しないこと。 提出方法:		本工事は、次 <i>0</i>	)書類につい	て電子納品の対象とす 	る。 :								
提出方法:		ファイル形式: 貸与条件:貸与	するcā b	 データを本工事におけ	 る施工図文は								
		保全に関する資料 提出部数 ①2.部											
校 図面名称 特記仕様書 1	校	Ø	面名称 特	記仕様書 1									

鈴鹿工業高等専門学校	鈴鹿工業高等専門学校					特記仕様書 1				
工事名称 鈴 鹿 工 業 高 専 学 生 支 援 セ ン タ 一 改 修	工事			業務名称	鈴鹿工業	高專学生	支援セン	ター改修記	设計 業 務	
	検	図	製 3	事務部長	総務課長	総務課長 課長補佐 施設係長 担 当				
一級連絡士年務所 愛知県知事登録(いー23)7407号 一級連絡士(第285977号) 中村 知失									特一 0 1	

項 目 名 称 コンタリート穴あけ " " " 明上間口部補強 既設コンクリート 床・壁 はつり穴あげ 既設コンクリート 床・壁 はつり穴あげ 既設コンクリート 床・壁 はつり穴あげ 既設コンクリート 床・理 はつり穴あげ 既設コンクリート 床・運 はつり穴あげ 既設コンクリート 床・理 から である	展 受	00	電気	機械	備考 墨出し共 墨出し、補修除く ポイド等 墨出し、補修除く
名 称 コンクリート穴あけ " " " " " " " " " " " " " " " " " " "	鉄青工事鉄管スリーブ入れ 梁、整本製製枠入れ 梁、整スリーブ入れ 森、豊スリーブ入れ ほスラブ木製塑枠入れ ほスリーブ入れ 鉄筋切断及び補強筋入れ 鉄筋切断及び補強筋入れ	0000000	0	0	墨出し共 墨出し、補修除く ポイド等
コンクリート穴あけ  "  "  "  『  『  『  『  『  『  『  『  『  『  『  『	鉄青工事鉄管スリーブ入れ 梁、整本製製枠入れ 梁、整スリーブ入れ 森、豊スリーブ入れ ほスラブ木製塑枠入れ ほスリーブ入れ 鉄筋切断及び補強筋入れ 鉄筋切断及び補強筋入れ	000000			墨出し、補修除く ポイド等
# # # # # # # # # # # # # # # # # # #	業、整本製整件入れ 業、整スリーブ入れ 床スラブ木製製件入れ 床スリーブ入れ 鉄筋切断及び補強筋入れ 鉄筋切断及び補強筋入れ	000000			墨出し、補修除く ポイド等
" 『 同上間口部構造 既設コンクリート 床・壁 はつり穴あげ 既設コンクリート 床連はつり、補修 既没器員・配管・ダクト酸去後の穴環め 天井改の口 天井取口を必要としないボード等の切開 軽重散者下採開口部強 軽核下地開口部墨出し 軽核下地開口部墨出し 軽核下地開口部墨出し 軽核下地開口部墨出し 軽核下地開口部墨出し 軽素等重動の下地相強 床下改め口	業、壁スリーブ入れ 床スラブ木製型枠入れ 床スリーブ入れ 鉄筋切断及び補強筋入れ 鉄筋切断及び補強筋入れ	00000			ボイド等
# 関上製口部補強  既設コンクリート 床・壁 はつり穴あけ  既設コンクリート 床連はつり・植棒  既設書具・配管・ダクト郡主後の穴埋め  天井瀬の口を必要としないボード等の切開  軽量教育下地関口制御 軽軽軟下地関口制御 軽軽が地関口部圏出し 軽数下地関口部圏出し 軽数下地関口部圏出し	床スラブ木製型枠入れ 床スリーブ入れ 鉄筋切断及び補強筋入れ 鉄筋切断及び補強筋入れ	0000			
# 関上製口部補強  既設コンクリート 床・壁 はつり穴あけ  既設コンクリート 床連はつり・植棒  既設書具・配管・ダクト郡主後の穴埋め  天井瀬の口を必要としないボード等の切開  軽量教育下地関口制御 軽軽軟下地関口制御 軽軽が地関口部圏出し 軽数下地関口部圏出し 軽数下地関口部圏出し	床スリーブ入れ 鉄筋切断及び補強筋入れ 鉄筋切断及び補強筋入れ	000	0		生田 ひ、 田 珍 称 へ
同上間口部補強 既設コンクリート 床・壁 はつり穴あげ 既設コンクリート 床、理 はつり穴あげ 既設コンクリート 床、環はつり・補修 既設発昇・配管・ダクト勤去後の穴理の 天井窓の口 天井窓口を必要としないボード等の切開 軽量数十年期口辞選出し 軽数下地期口部選出し 軽数下地期口部選出し 軽数下地期口部選出し	鉄筋切断及び補強筋入れ 鉄筋切断及び補強筋入れ	0	М		ボイド等
既設コンクリート 床・壁 はつり穴あけ 既設コンクリート 床油はつり・補修 既設書具・配管・ダクト勝去後の穴埋め 天井漱ロを必要としないボード等の切開 軽量数青 下地閉口排強 軽数下地閉口部墨出し 軽数下地閉回部墨出し 軽数下地閉回部墨出し 無容差量物の下地補強 床下改め口	鉄筋切断及び補強筋入れ	0			ጥባ ቦቹ
版設コクリート ほ流はつり・補参 版設等員・配管・タクト版五後の穴理の 天井歌の口 天井駅口を必要としないボード等の切開 軽重教者下原限ロ相強 軽載下地限口部差出し 軽級下地限口部差出し 軽級下地間口部差出し 軽級下地間の部差出し 無容差量物の下地構強 床下改め口			0		墨出し共
既投資券・配管・ダクト聯会後の穴理め 天井表のロ 天井第四を必要としないボード等の切開 軽量教育下地限の研密 軽数下地限の研密 軽数下地関の部墨出し 軽数下地関の部墨出し 軽等重量物の下地研密 床下改め口			0		墨出し共
天井老のロ 天井第四を必要としないボード等の切開 軽量数青下地開口前連 軽数下地開口部墨出し 軽数下地開口部墨出し 軽数下地開口部墨出し 整装下地開口部墨出し 整装下地開口部墨出し	改め口取付及び、開口部補強	-			
天井原口を必要としないボード等の切開 軽量飲青下地原口補強 軽鉄下地原口部墨出し 軽鉄下地原口部墨出し 盤等星量物の下地補強 床下改の口		8	0	2	補強配筋が必要な穴埋は建築工事 ボード切込、墨出し共
軽量鉄骨下地開口補強 軽鉄下地開口部亜出し 軽鉄下地開口部亜出し 盤等重量物の下地補強 床下改め口		М	0	0	小 「初起、型面で六
軽鉄下地開口部亜出し 軽鉄下地開口部亜出し 盤等重量物の下地補強 床下改め口	天井及び壁、ボード切開	0	М	$\sim$	照明器具、空調吹出口
軽鉄下地開口部墨出し 盤等重量物の下地補強 床下改め口	人が及び至、小一下切用	٣			照明辞兵、王嗣弘山口 給排気ガラリ等
軽鉄下地開口部墨出し 盤等重量物の下地補強 床下改め口	電気関係関口部	$\vdash$	_	Н	
盤等重量物の下地補強 床下改め口			0		
床下改め口	機械設備関係開口部	_		0	
	露出形器具取付用	0	_		mark at the
流し台	改め口取付及び、開口部補強	0			墨出し共
	ステンレス製	Ļ		0	水切り板、同穴あけ共
II .	ミニキッチン等(含む排水金具)	0	_		レンジフード換気扇、付属品共
II .	陶器製			0	
水栓、電気温水器		L	L	0	
洗面化粧台		0			
鏡		0	L	шĪ	
化粧用洗面器		Ĺ	L	0	
化粧カウンター	洗面器用穴あけ共	0			
ライニングバック		0			
ルーフドレイン		Ō		П	
並てどい	防露工事共	ŏ		П	
雨水排水管	第1桝から排水幹線までの配管	ŏ	Г	П	第1桝まで配管
II .	幹線の配管	ŏ		П	第1棋を含む
生活排水、実験排水	建物及び第1桝までの配管	ř	$\vdash$	0	
11	第1桝から排水幹線までの配管	Н	H	5	
II	幹線の配管	0		ř	
アスファルト舗装等 掛去	11 WAY HE D		0	0	
アスファルト舗装等 復旧		8	8	8	
アスファルト請表寺 後日 機械基礎		8	۲	Н	
室外機用鉄骨架台		۲	$\vdash$	0	
	光/二 全体操作器性机准器以下。	$\vdash$	$\vdash$	_	黒中1 世
機械用アンカーボルト型枠入れ	ボイラ、冷凍機等機械設備関係機器	$\vdash$	$\vdash$	0	墨出し共
機械用アンカーボルト型枠入れ	自家発電機その他電気関係機器	$\vdash$	0	$\vdash$	墨出し共
屋外貯油槽	地下式		$\vdash$	0	
共同溝	参床コンクリート共	0	_	Ш	
建物、共同溝接続トレンチ		0	_	Ш	
同上接続部止水板		Ō	L		
防火用水池		0	E	L	
防火用水地用給水管		E	E	Φ	
	コンクリート類	0	É	E	
	SUS, FRPM	É	É	Φ	
換気扇取付				0	天井扇等・全熱交換器型
		L	L	L	含む フード共
<b>同上用枠、取付板等</b>	木製、アルミ製、鉄製	0	Г	П	
同上用配管配線		Ť	0	П	スイッチ、配線は機械設備
外壁取付ガラリ	給排気用	0	Ť	П	ベンドキャップは機械
内壁取付ガラリ		ŏ	Н	Н	<b>遮光ガラリ共</b>
ガラリへの給排気ダクト接続		ř	Н	0	
煙感知器連動防火戸		0	Н	H	
<b>対応用機感知器</b>	リレー及びリレーまでの配管配線共	۲	0	Н	
向工用短訟和番 排煙防火ダンパー	リレー取付まで①	H	۲	0	
様短防火ダンハー 煙感知器連動シャッター	リレー取付まで① リレー取付まで②	0	$\vdash$	Н	
TWO AND ADDRESS OF THE PARTY OF	B. 11 d 8	片	$\vdash$	Н	
理思知器達期防煙重礼壁 F型介~《田標成如果	リレー取付まで③	۲		Н	
上記①~③用煙感知器	リレーまでの配管配線共	<u> </u>	0	Н	
道路側溝用排水	L型・U型と管布設 制御粉に図の配等 取締サ	0	$\vdash$		
制御盤	制御盤以降の配管、配線共	$\vdash$	Ļ	0	10 to 11
同上接続 (一次側)	制御盤主関閉器までの配管配線	$\vdash$	0	Ļ	接地共
屋内消火栓	消火ポンプ、制御盤	L	L	0	
屋内消火栓起動リレー			0		
同上表示灯及び起動装置			Ō		
自動火災報知器		L	0		
連結送水口	座板共			Φ	
独立煙突		0	É	f	
同上煙道	倒板製	Ĕ	Ĕ	0	
同上遊雷設備		E	0	F	
配管配線ピット	蓋の切開共	0			
二重床の配管、配線用関ロ	フリーアクセスフロア等	ō		Е	
コンクリートシャフト点検口		ŏ	Г	П	
機械室の防音速音処理		ŏ			
音保護設備		É	0		
保守点検用タラップ、はしご		0	Ť	П	
室内テレビ用吊金物		ŏ			
防火区画貫通部補修		ř		0	モルタル充てん等
切入に面負地が物が 機器・配管取付後の壁、床等の補修			0		,.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
<del> </del>	取付共	۲		Н	
テレビアンテナ ガルストラップ及びボンリントラップ			0	Н	
グリストラップ及びガソリントラップ	コンケリート製	0			
	ステンレス鋼板製			0	
ALCパネルの穴あけ、補修	ダクト等の貫通部	0	_	Ш	
PC版の穴あけ	スリーブ入れ	0	E	Þ	
同上補修	医面黄通知理		0	φ	モルタル充てん
	二次側。操作盤、押しボタン取付共	0	L		
電動シャッター、自動扉の配管配線	一次側	Ĺ	0		
電動シャッター、自動展の配管配線 同上配線配管、接続	据付共	0	Е	Е	換気扇共
		É	0	H	
同上配線配管、接続	一次倒接続まで。SWの取付配線		. ~	i _	
同上配線配管、接続 ユニットバス本体 同上用配線	一次側接続まで。SWの取付配線 接続まで	L	<u> </u>	$\leftrightarrow$	
同上配線配管、接続 ユニットバス本体 同上用配線 同上用配管	接続まで			Φ	
同上配線配管、接続 ユニッナバス本体 同上用配線 同上用配線 同上用配線 の上用配管 冷蔵、冷凍、恒温循温、シールド、防音、		0		9	
同上配線配管、接続 ユニッナバス本体 同上用配線 同上用配線 同上用配線 同上用配管 冷蔵、冷凍、恒温恒湿、シールド、防音、 無管室等	接続まで 現場製作	0			
同上配線配管、接続 ユニッナバス本体 同上用配線 同上用配線 同上用配線 の上用配管 冷蔵、冷凍、恒温循温、シールド、防音、	接続まで	0 0		$\phi = \phi$	

工事区分	項 目 名 称	区分概要		電気			備	考
	芝生、種子吹付け		0					
	法枠、モルタル吹付け コンクリート接壁		0					
	植栽		0					
	電気袋		0	0	F	F	本体・金具・ 一次側配線	二次側配線
	洗濯機パン アルミパネルの穴あけ、補修	100cm2以上は建築	0	0	00			
	昇降機設備本体	三方枠、同取付後の登補修まで		Ĕ	Ĕ	0		
	昇降機用シャフト	天井フック、床シンダーコンクリート、 防塵塗料、搬入用等器口、換気が刊共	0					
	- 异阵機用監視盤 - 异阵機換気扇取付					$\odot$		
	各種信号用制御線	停電用、火災用等				ŏ		
	三方枠周囲の壁仕上 各階出入口用開口	敷居取付用持出し共	0					
	昇降路内中間ビーム設置 ビット内防水		0			0		
	動力、照明用電源、接地引込み		Ľ	0			制御盤一次側	
	"コンセント設置	ピット内、機械室内	$\vdash$	0		0	本体から制御	盤まで
	インタホン配線	シャフト外		Ŏ				
	非常放送用スピーカ	シャフト内				0		
	同上用配線	シャフト外 シャフト内	H	0	H	0		
	監視カメラ					ŏ		
	同上用配線	シャフト外 シャフト内	$\vdash$	0	H	0		
	点検用タラップ	ピット内	F	F		0		
			_					
			F	F				
	有無に関わらず設置	<b>ぱすること</b> 。						
	3章 [	方水 改 修 工 事						
(3.1.4) 改修工法の種類 及び工程		「 M3DI sの種類						
<3.2.5> ルーフドレン回り の処理	改修ドレン ①	設ける						
〈3. 2. 6〉 <del>既存下地の補修</del> 及び処置	既存露出防水層表面	<b>面の仕上げ塗装の除去</b>			· 17	īЭ		
<3.3.3> <del>種別及び工程</del>	アスファルト防水層種別 施工管	骨の種別  所						
<3.4.3> <del>種別及び工程</del>	改質アスファルトシ 種別 施工賃							

	合成高分子系 種別								
	<u>種別</u> S I -M 1	仕上塗装 カラー		施工包屋上	ョガ				
	S-F 1	カラー		玄関オ	ポーチ	屋上			
3. 6. 3>									
重別及び工程	<u>塗膜防水の</u> 履 種別								
	X-2	屋上点検		ハト小	屋				
									_
3. 8. 2> 才料	といの材種・配管用質	鋼管	○硬質塩	化ビニ	ル管				
	<u>ルーフドレン</u> 種別			防水1					
	<ul><li>○陸屋根用</li><li>・バルコニー</li></ul>	-用	<ul><li>横型)</li></ul>						
	○バルコニ-	-中継用		塗膜隙	方水	100 g	Ь		
	耐酸被覆鋼机	反、ガルバ - – – – – -	リウム鋼 	板の製 	造所 		_		
	鋼管製といる 施工箇所	の防露 							
	4	章 外星	き改修工	: 事					
4. 2. 2>									
C法別使用材料	<u>ひび割れ部3</u> 種別			寸法			施二	L箇所	
		ブ材 変成シ					外星		
	<ul><li>可とう性はお</li></ul>	/樹脂 ・							
	<del>欠損部充て/</del> 種別 ・エポキシ樹	脂モルタル	製造所、	製品名		施二	□箇	所	
	・ポリマーセメ	ントモルタル							
	注入併用工法	去の注入材	料						
	種別		製造所、	製品名			L箇	所	
						外星	壁		
	<ul><li>○エポキシ村</li><li>・ポリマーセメ</li></ul>	ノト人フリ							
		ノトスフリ							
	・ポリマーセメ: タイルの形料	犬、寸法、					· 法		<u> </u>
	・ポリマーセメ: タイルの形料						<u>法</u> 法名	製造所	
	・ポリマーセメ: タイルの形料	犬、寸法、					法名	製造所	
	・ポリマーセメ: タイルの形料	犬、寸法、					法名	製造所	- 製品名 -
	・ポリマーセメ: タイルの形料	犬、寸法、					<u>二法</u> 法名	製造所	- 製品名
	・ポリマーセメ: タイルの形料	犬、寸法、					法名	製造所	
	・ポリマーセメ: タイルの形料	<del>ぱ、寸法、</del> 形状・寸法 (mm) か下線は、・ ・行う・・	きじがた場所を開発しませた。	(すり <b>役</b> : 無難 あり がある	物を見る	<u>5</u> ユ 特注 エ		製造所	
	・ボリマーセメンタイルの形も をイルの形も 施工箇所 ※施工箇所の 試験張り	大、寸法、 形状・寸法 (mm) か下線は、・ ・行う・・	きじがた場所を開発しませた。	(すり <b>役</b> : 無難 あり がある	物を見る	<u>5</u> ユ 特注 エ		製造所	·製品名
	・ボリマーセメータイルの形に タイルの形に 施工箇所 ※施工策り 見本焼き	大、寸法、 形状・寸法 (mm) か下線は、・ ・行う・・	きじがた場所を開発しませた。	(すり <b>役</b> : 無難 あり がある	物を見る	<u>5</u> ユ 特注 エ		製造所	
	・ボリマーセメータイルの形に タイルの形に 施工箇所 ※施工策り 見本焼き	大、寸法、 形状・寸法 (mm) か下線は、・ ・行う・・	きじがた場所を開発しませた。	(すり <b>役</b> : 無難 あり がある	物を見る	<u>5</u> ユ 特注 エ		製造所	製品 名
	・ボリマーセメータイルの形に タイルの形に 施工箇所 ※施工策り 見本焼き	大、寸法、 形状・寸法 (mm) か下線は、・ ・行う・・	きじがた場所を開発しませた。	(すり <b>役</b> : 無難 あり がある	物を見る	<u>5</u> ユ 特注 エ		製造所	製品名
	・ボリマーセメータイルの形に タイルの形に 施工箇所 ※施工策り 見本焼き	大、寸法、 形状・寸法 (mm) か下線は、・ ・行う・・	きじがた場所を開発しませた。	(すり <b>役</b> : 無難 あり がある	物を見る	<u>5</u> ユ 特注 エ		製造所	製品を

	⊙薄付け仕上塗材	・ 外とう海外装簿達材 ら ・ 外とう海学材 三 ・ 外とう海学材 三 ・ 内とう海外装簿 連挙材 に ・ 内と 一 ・ 内装 海湾 塗材 ら ・ 内装 海湾 塗材 し ・ 内装 海塗 塗材 に ・ 内装 海塗 塗材 に ・ 内装 海塗 塗材 に ・ 内装 海塗 塗材 に ・ 内装 海塗 塗材 に	世上げの形状・工法等 世上げの形状・砂壁状 ・	大型理						
	・厚付け仕上塗材	・ 外球等   ・ 外球   ・ 水球   ・ ・ 水球   ・ ・ 水球   ・	・ ゆすぎ。 ・ ゆすぎ。 ・ 中す。 ・ 中では、 ・ 中では、 ・ 中では、 ・ 中では、 ・ 中では、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	大型理						
	・厚付け仕上塗材	・外球 大学	・平たん状・凹凸をさきない。 中心を さき を できます できます できます できます できます できます できます できます	大型理						
		・可比 を	・ さ色 数 は いっぱい かき が は か は か は か は か か ま か か ま か け か ら く	· 大						
		・ 防外装 ・ 外外装 ・ 外外装 ・ 外外装 ・ 外外装 ・ 外外装 ・ 内外 ・ 内外 ・ 内外 ・ 内外 ・ 内外 ・ 外外 ・ 外外 ・ 内央 ・ 外外 ・ 内央 ・ 日 ・ 日 ・ 日 ・ 日 ・ 日 ・ 日 ・ 日 ・ 日	・着壁壁状 ・砂壁壁状 ・砂壁壁 じゅらく 工法 ・吹付け ・ローラー塗 ・こで多数 ・吹放し ・吹放し ・吹む 起起し ・ひき 起こし ・かき デ ・吹付け ・ローラー塗	D.理						
		・ 外京 を	・砂壁状じゅらく ・京壁じゅらく エ法 ・吹付け ・ワーラー塗 ・こて塗り 仕上げの形状 ・平たん状 ・吹放し ・ひき起こし・かきえ ・吹付け ・ローラー塗	D.理						
		- 内央 ・内装体 ・内装体 ・内装体 ・内装板 ・内装装 ・内装装 ・内装装 ・外 ・外 ・外 ・外 ・大 ・内 ・内 ・内 ・内 ・内 ・内 ・内 ・内 ・内 ・内	工法 ・吹付け ・ローラー塗 ・こて塗り 仕上げの形状 ・平たん状 ・吹放し ・ひき起こし ・かき列 エ法 ・吹付け ・ローラー塗	D.理						
		- 内央等準 - 内央装 - 内央装 - 内央装 - 外外表 - 外外表 - 外外表 - 外外表 - 内央装 - 原生 - 中央 - 中 - 中 - 中 - 中 - 中 - 中 - 中 -	・吹付け (コーラー塗・こて塗り 仕上げの形状 ・平たん状 ・凹凸は ・吹放し ・ひき起こし ・かき系 ・吹付け ・ローラー塗	D.理						
		- 内央   ・ 内装   ・ 内装   ・ 内装   ・ 内装   ・ 内装   ・ 外   ・ 外   ・ 外   ・ 外   ・ 外   ・ 内   ・ 根   ・ 市   ・ 根   ・ 市   ・ 根   ・ 市   ・ 根   ・ ・ 根   ・ ・ 根   ・ ・ 根   ・ ・ 根   ・ ・ 根   ・ ・ 根   ・ ・ 根   ・ ・ 根   ・ ・ 根   ・ ・ 根   ・ ・ 根   ・ ・ 根   ・ ・ 根   ・ ・ 根   ・ ・ 根   ・ ・ ・ 根   ・ ・ 根   ・ ・ 根   ・ ・ 根   ・ ・ ・ 根   ・ ・ 根   ・ ・ 根   ・ ・ 根   ・ ・ 根   ・ ・ 根   ・ ・ 根   ・ ・ 根   ・ ・ 根   ・ ・ 根   ・ ・ 根   ・ ・ 根   ・ ・ ・ 根   ・ ・ ・	○ローラー塗     ・こて塗り     仕上げの形状     ・平たん状     ・吹放し     ・ひき起こし     ・次き起こし     ・次付け     ・ローラー塗	D.理						
		<ul> <li>外装厚塗材C</li> <li>外装厚塗材S</li> <li>外装厚摩塗材C</li> <li>内装装厚塗塗材I</li> <li>内装装厚厚塗塗材I</li> <li>内内装要厚塗域材E</li> <li>被層塗材C</li> </ul>	世上げの形状 ・平たん状 ・凹凸丸・吹放し ・凸部枠・ひき起こし ・かき系工法 ・吹付け・ローラー塗	D.理						
		<ul> <li>外装厚塗材Si</li> <li>外装厚塗材C</li> <li>内装厚塗材I</li> <li>内装要厚塗材I</li> <li>内装要厚塗材I</li> <li>内装厚塗材I</li> <li>内接厚塗材I</li> <li>複層塗材CE</li> </ul>	・平たん状 ・凹凸st ・吹放し ・凸部が ・ひき起こし ・かき系 工法 ・吹付け ・ローラー塗	D.理						
	<b>(</b> 類層仕上塗材	<ul> <li>外装厚塗材E</li> <li>内装厚塗材C</li> <li>内装厚塗材I</li> <li>内装厚塗材G</li> <li>内装厚塗材Si</li> <li>内装厚塗材E</li> <li>複層塗材CE</li> </ul>	・吹放し ・凸部を ・ひき起こし ・かき 列 工法 ・吹付け ・ローラー塗	D.理						
	<b>○</b> 旗層仕上塗材	<ul> <li>内装厚塗材L</li> <li>内装厚塗材G</li> <li>内装厚塗材Si</li> <li>内装厚塗材E</li> <li>複層塗材CE</li> </ul>	・ひき起こし ・かき エ法 ・吹付け ・ローラー塗	客とし						
	€複層仕上塗材	<ul><li>内装厚塗材G</li><li>内装厚塗材Si</li><li>内装厚塗材E</li><li>複層塗材CE</li></ul>	・吹付け ・ローラー塗							
	○綾層仕上塗材	<ul><li>内装厚塗材Si</li><li>内装厚塗材E</li><li>複層塗材CE</li></ul>	・ローラー塗							
	●複層仕上塗材	・内装厚塗材E ・複層塗材CE								
	○複層仕上塗材		・こし坐り							
		•複層塗材Si	仕上げの形状							
		/ ht 尿涂++-C	(・)ゆず肌状 ・凹凸植 ・凸部処理	<b>莫様</b>						
		<ul><li>◆複層塗材E</li><li>・複層塗材RE</li></ul>	工法							
		・可とう形複層塗材CE	<ul><li>吹付け</li></ul>							
		・防水形複層塗材CE	○ローラー塗							
		●防水形複層塗材E ・防水形複層塗材RE	耐候性 ・耐候形 1 種							
		・防水形複層塗材RS	○耐候形 2 種							
			上塗材の種類							
			樹脂							
			<ul><li>●アクリル系 ・シリカ</li><li>・アクリルシリコン系</li></ul>							
			外観	いノボボ						
			⊙つやあり ・つやな	なし ・メタリック						
		・こて塗用軽量塗材	触媒 家刻玄 記念女	niz Onk∞						
	・可とう形改修用	・可とう形改修塗材E	・溶剤系 ・弱溶剤 仕上げの形状	型章 ①小术						
	仕上げ塗材	・可とう形改修塗材RE	・ゆず肌状							
		・可とう形改修塗材CE								
			・さざ波状工法							
			・吹付け ・ローラ	ラー塗						
4. 3. 4>										
計能注入工法	1	3の注入状況の検査:	方法							
	・コア抜取		コア抜取り部補修え	方法 )						
	(200-11-2									
4. 4. 4>										
4. 4. 4./ 孚き部改修一般事!	亅 項 アンカービ	シニングの工法種類	5I)							
	○単独コ		・注入併用工法							
	<ul><li>単独コ</li></ul>	[法(注入口付)	<ul><li>注入併用工法()</li></ul>	注入口付)						
いび割れ概算数量	クラック補	i修 (0.2~1mm)		A-36, 37						
	エポキシ	による								
	クラック補	A-36, 37								
		Uカットシール材充填工法 によ モルタル欠損部処理 A-30								
	エポキシ	/樹脂モルタル充填	工法	A-36,37 による						
	モルタル浮		ポキシ樹脂注入工法	A-36,37 による						
				•						
	71型のグラ	ッソ寺の調宜を付い	ハ、監督職員に報告す	າ <b>ຜ</b> ∟ ⊂ 。						
	5	章 建具改修	を 工 事							
5. 1. 3>	<b>1</b> 乗 □ · ·									
<b>女修工法</b>	■ 種別 • かぶも	ナエ法								
	○撤去□		よる撤去 ・油圧工具	具等による撤去)						
5. 2. 2>										
生能及び構造	外部に面す	るアルミニウム製	建具の性能等級							
5. 2. 4> ×++ 15.78++ + 1+	性能等級	⊙A種	• B種	• C種						
/ 状及び仕上げ	耐風圧性	Ō8-4	• S-5	• S-6						
	気密性	⊙A-3		• A-4						
	水密性		)	• W-5 • 100						
		ان ۱۱۰۰ مرر	,	100						
	表面処理									
	建具	- Z 油目 。D 1採								
	7ト部1〜田子	· B-2種	(・ブラウン系 ・ブラック	・ ステンカラー)						
				//						
	屋内の油目	. C_1##								
	屋内の建具		(・プラウン系 ・プラック	・ ステンカラー)						

	鈴 鹿 工 業 高 等 専 門 学 校					図面名称	特記仕様書	2		縮尺 _	
工事名称	T事名称 鈴 鹿 工 業 高 専 学 生 支 援 セ ン タ ー 改 修 工 事					業務名称	鈴鹿工業高専学生支援センター改修設計業務				
Toge	<b>独绘</b> ト ク オ	検	図	製	Z	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	図面番号
	- 銀建築士事務所 愛知県知事登録(い-23)7407号 - 銀建築士(第285977号) 中村 知矢										特一 0 2

<5. 3. 3>	防虫網 • 合成檢	指製	・ガラ	ス結	<b>継入り</b> 台	3成樹	指製							
材料	⊙ステン	レス(8	SUS316)	製										
	線径(mm)		<b>⊙</b> 0. 2	25以.	Ŀ			_						
	網目(メ													
<5. 3. 2>														
性能及び構造 (5.3.4)	外部に面す			の性										
形状及び仕上げ	性能等級 耐風圧性		A種 S-4		• Bi			C種 S-6						
	気密性		A-4 W-4		- W-	-								
	<u>水密性</u> 枠の見込みす	法(mm)・	60	• 70										
	外部に面す	る樹脂	製建具	の遮	音性能等	級								
	種別		T−A種		• T-	-B種								
	<u>遮音性</u>		S-4		• S-	-5								
	外部に面す	る樹脂	製建具	の断	熱性能等	級								
	種別		H-A種 H-4		• H-	-B種 -5								
	<u>遮熱性</u>		п-4		• п-	-5								
<5.4.2> <del>性能及び構造</del>	外部に面す	る鋼製	建旦の	周标	圧性									
111111111111111111111111111111111111111	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	03/100				. – – .		-						
<5. 6. 3>														
材料	ステンレス ・SUS304		\$430.11		. 91194	13.11	. 9119	3/30						
	000004	00	040001	_	0004-	1001	000	7400						
<5.6.4> <del>形状及び仕上げ</del>	表面仕上げ													
	<ul><li>H L 仕</li></ul>	:上げ												
〈5. 6. 5〉 工法	曲げ加工													
		1げ・	角出し	曲け	゜(補強は	あり)								
(5. 7. 2)	*************													
材質、形状及び寸法	延具用金物 スイングドア、ス		この全物の	番箱	ո* ա հետ և /	(mm) (#1	<i>//</i> ⊏ 11F							
	・モノロッ	ク		/住規	77675	(IIIII) <del>28</del>	ПЕП							
	<ul><li>本締り付</li><li>・シリンダ</li></ul>													
	(レバー	ハンド	ルを含	む)										
	<u>⊙</u> シリンダ ⊙空錠		椞			以上 身	<b>€和ロッ</b> <b>€和ロッ</b>	ク(株)						
	<ul><li>押棒,押</li></ul>	板			_	ī	「販品(見	本に	:よる)					
<5. 7. 4>														
鍵	マスターキ ①作製す		<ul><li>作製</li></ul>	lı +	-1.									
	グランドマ		117-428	. 0 - 6										
	●作製す		・作製	しな	il)									
	マスターキ	一は既	存グラ	ンド	マスター	-に合ネ	つせるこ	٤.						
	強化ガラス													
	強化ガラス材料板ガラ						フロート強化ガラス ・							
	材料板ガラ		ス ①:	70-	ートガラ									
	材料板ガラ	化ガラ	ス ①:	70-	ートガラ									
	材料板ガラ フロート強 板強化ガラ 熱線吸収板	化ガラ ス <del>ガラス</del>	ス ①: ・原	70-	ートガラ 坂ガラス	• *								
	材料板ガラフロート強 板強化ガラ 熱線吸収板 材料板ガラ	化ガラ ス <del>ガラス</del> スの種	ス ①: ・原 類	フロ- 語き	ートガラ 仮ガラス 厚さ(mm	· 索 ) 色調		磨き						
	材料板ガラ フロート強 板強化ガラ 熱線吸収板	化ガラ ス <del>ガラス</del> スの種	ス ①: ・原 類	フロ- 語き	ートガラ 仮ガラス 厚さ(mm	・   色調 ・ ブル	热線吸収	磨き グレ	仮ガラ - -					
	材料板ガラフロート強 板強化ガラ 熱線吸収板 材料板ガラ・熱線吸収 ・熱線吸収	化ガラ ス <del>ガラス</del> スロー <del>ガラス</del>	ス ・ り 類 ト板ガ	フロ-	ートガラ 仮ガラス 厚さ(mm	・熱 色調・ブル・ブル	や線吸収!	磨き グレ・グ	仮ガラ					
	材料板ガラフロート強 板強化ガラ 熱線吸収板 材料板ガラ・熱線吸収	化 ガラ ス ガラス フロー ガラ科 料料	ス ・ 類 ト 板 ガ ラス	ラス	ートガラ 反ガラス 厚さ(mm	・ <b>熱</b> ) 色調 ・ ブロ	や線吸収!	磨き グレ・グ	仮ガラ					
	材料板ガラフロート強 板強化ガラ 熱線吸収板 材料板ガラ・熱線吸収 ・熱線吸収	化 ガラス ス ガラス オスフロー ス 料 の種	ス ・ 類 ト 板 ガ ラス	フローき 日の区・1	ートガラス 反ガラス 厚さ(mm) 熱遊へい率	・熱 色調・ブル・ブル	<ul><li>表線吸収</li><li>レーンズ</li><li>も間</li><li>・ブルー</li></ul>	を グレグ・グ	仮ガラ					
	材料板ガラ 板強化ガラ 熱線吸収板 材料板が吸収 ・熱線吸収 熱線反射板 種類	化 ガラス ス ガラス オスフロー ス 料 の種	ス ・ 類 板 ガ ラス	フローを	ートガラス 反ガラス 厚さ(mm) 熱遊へい率	・ 熱 ・ 熱 ・ ガ に 反射皮脂 の使いた	表線吸収リーズ 色調 ブグブローン	磨き グレグ	反ガラ ー リーン 映像調整					
	材料板ガラフロ・ 熱線吸収板 材料板ガラ・ 熱線反射板 種類 ・熟線反射が ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	化 ガラ ス <del>ガ</del> スフロー ガラ称種 が 7 カ カ が 7 カ カ で 7 カ で 7 カ	ス ・ 類 板 ガ ラス	フロー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファ	ートガラス 反ガラス 厚さ(mm) 熱遊へい率	・	を繰吸収リーン を調けている という できます アイ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	磨き グレグ	反ガラ ー リーン 映像調整					
	材料板ガラフロート強 板強化ガラ 熱線吸収板 材料板がラ・熱線吸収 熱線反射板 ・熱線反射がラー・高性能熱線反射がラス	化 ス ガスフ ガ ガスフ ガ ガス	ス ・ 類 板 ガ ・ 板 ガ ・ が ラス	ラ 日	下	・ 条 ・ 色調 ・ ブ で 反射皮膜が ・ 外面	を繰吸収リー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	磨き グレグ	反ガラ ー リーン 映像調整					
	材料板ガラフロート強 板強化ガラ 熱線吸収板 材料板がラ・熱線吸収 ・熱線反射板 種類 ・熱線反射がラン ・高性能熱線反射がラス 素材が強化	化 ス ガスフ ガ 材種 フ は 倍	ス ・ 類 ト 板 ガ ラス ・ 強 度 ガ	フローき ス	トガラス 厚さ (mm) 熱遊へい率 発種種種	・ クラング を	を線吸収リー・・ で	磨き グレグ	反ガラ リーン 映像調整					
〈5.13.2〉 材料	材料板ガラフロート強 板強化ガラ 熱線吸収板 材料板がラ・熱線吸収 熱線反射板 ・熱線反射がラー・高性能熱線反射がラス	化 ス ガスフ ガ 材種 フ は 倍	ス ・ 類 ト 板 ガ ラス ・ 強 度 ガ	フローき ス	トガラス 厚さ (mm) 熱遊へい率 発種種種	・ クラング を	を線吸収リー・・ で	磨き グレグ	反ガラ リーン 映像調整					
材料	材料板が強化が多数線域の対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	化 ス <del>ガス</del> フ <del>ガ </del>	ス	ファラー ファラー ファラー ファラー ファラー ファラー ファー ファー ファー ファー ファー ファー ファー ファーファ ファーファ ファーファ ファース コース ファース コース コース ファース コース コース コース コース コース コース コース コース コース コ	トガラス 厚さ (mm) 熱遊へい率 発種種種	・ クラング を	を線吸収リー・・ で	磨き グレグ	反ガラ リーン 映像調整					
材料	材料板 1 分別 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1	化 ス ガラスフ ガ	スストリー	ファラー ファラー ス 射区1・2・3 ファーー	下	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	表線吸収/レーンズ 色調 ブー・ブグブルー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	グ・グ	<u>ーリーン</u> 映像調整 ・行う					
材料 〈5. 13. 3〉 ガラス溝の寸法、	村料板 1 が 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を	化 ス ガスフ ガ	スストリー	ファラーファラース 日の1・2・3 ラーー I(mm	トガラス 原さ (mm) 熟遊へい率 か種種種 の場合 の ーーーー	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	表線吸収/レーンズ 色調 ブー・ブグブルー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	グ・グ	<u>ーリーン</u> 映像調整 ・行う					
材料 〈5. 13. 3〉 ガラス溝の寸法、	材料板・ 板強・ 板強・ 大型・ 大型・ 大型・ 大型・ 大型を 大型を 大型を 大型を 大型を 大型を 大型を 大型を	化 ス ガスフ ガ	ス	ファラーファラース 日の1・2・3 ラーー I(mm	トガラス 原さ (mm) 熟遊へい率 か種種種 の場合 の ーーーー	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	表線吸収/レーンズ 色調 ブー・ブグブルー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	グ・グ	<u>ーリーン</u> 映像調整 ・行う					
材料 <b>〈5. 13. 3〉</b> ガラス溝の寸法、 形状等	村料板 1 が 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を	化 ス ガスフ ガ	ス	ファラーファラース 日の1・2・3 ラーー I(mm	トガラス 原さ (mm) 熟遊へい率 か種種種 の場合 の ーーーー	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	表線吸収/レーンズ 色調 ブー・ブグブルー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	グ・グ	<u>ーリーン</u> 映像調整 ・行う					
材料 〈5.13.3〉 ガラス溝の寸法、 形状等 〈5.13.5〉	材料板一トが 板強トが多 を放射を対して、 を放射を変更を対して、 を対する。 をがしたる。 をが	化 ス <del>ガス</del> フ <del>ガ </del>	ス 類 板類 板類 一十が ス	ファラ	下	・養養を表現しています。	レー・ブルー・ブルー・・シルバ f	磨き グレグ・グ	反ガラー リーン 映像調整・行う					
材料 〈5. 13. 3〉 ガラス溝の寸法、	材料板 ↑ 放 ・ 放 ・ 放 ・ 放 ・ 放 ・ 放 ・ 放 ・ 放 ・ 放 ・ 放	化 ス <del>ガス</del> フ <del>ガ </del>	ス 類 板類 板類 一十が ス	フロー ラ 日の・・・ 3 フーー I (mm m	下	・養養を表現しています。	表線吸収/レーンズ 色調 ブー・ブグブルー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	磨き グレグ・グ	<ul><li>反ガラ</li><li>ーリーン</li><li>映像すう</li><li>ーー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>					

15 (軽燃)								
(6.2.2)	<u> </u>	音手が発し 大学 きょう きょう きょう きょう きょう きょう はい はい はい はい はい かい	<b>閉鎖して停止</b> (1) (1) (2) (3) (4) (4) (5) (5) (5) (5) (5) (6) (7) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	こすな等 (	で、継続置に というでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	しは と意回 両の 一 の の の の の の の の の の の の の の の の の	険火 に点式 下 知ヤ イすす 部 のるる 分	せる音 ターに チがのと ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
(6.5.2)    古藤		イラスト等を	目立つよう					
古成樹脂塗床材の除去   ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		6 章	内装改	修工	事			
日本農林規格品	l			• [	目荒しエ	法		
施工箇所 樹種名 寸法 材面の品質 含水率 代用樹種の使用 ・禁止する ・禁止しない 造作用集成材 施工箇所 樹種名 寸法 見付け材面の品質 含水率 造作用単板積層材 施工箇所 対法 要面処理 防虫処理 その他のボード 種類	l		· 用	いる	・用いた	よい		
対極の品質								
村面の品質				$-\top$		$-\mathbb{T}$		
代用樹種の使用		材面の品質						
施工箇所			· 禁	止する	· 禁」	 Lしなし	۸,	
樹種名   寸法   見付け村面の品質   含水率		造作用集成材						
対法								
含水率   造作用単板積層材   施工箇所   対法   表面処理   防虫処理		寸法	56					
施工箇所 寸法 表面処理 防虫処理  その他のボード 種類 規格、区分等 厚さ (mm) ・MDF ・MDF ・位散パーティクルボード・無研館板 ・10・12・1 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			質					
施工箇所 寸法 表面処理 防虫処理  その他のボード 種類 規格、区分等 厚さ (mm) ・MDF ・MDF ・位散パーティクルボード・無研館板 ・10・12・1 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		<b>告作用</b> 単板積層	材					
表面処理   大の他のボード   現格、区分等   厚さ (mm)   10 ・12 ・1 ・3 ・7・9・21・24・30 ・30・35・4 ・化粧パーティクルボード ・単版オーバレイ ・10 ・2世 ・15 ・2世 ・15 ・2世 ・30・35・40 ・30・35・40 ・30・35・40 ・30・35・40 ・30・35・40 ・30・35・40 ・30・35・40・25 ・30・35・40・25 ・30・35・40・25 ・30・35・40・25 ・30・35 ・40・25 ・30・35 ・40・25 ・30・35 ・40・25 ・30・35 ・40・25 ・30・35 ・40・25 ・30・35 ・40・25 ・30・35 ・40・25 ・30・35 ・40・25 ・		施工箇所						
その他のポード   種類   規格、区分等   厚さ (mm)   ・M D F   ・3 ・7 ・9 ・21・24・30 ・10・12・1 ・1 ・ 別産版								
種類		防虫処理						
・MDF			:	相故 5	7公生	<b>亘 ځ (m</b>	m)	
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				DATID, E	±/) <del>寸</del>	·3 ·7	• 9 • 12	15 - 18
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		パ・単板張りパー	ティクルボート		i	· 10 ·	12 • 15	· 18 · 20
下記以外のビニル床タイルは、  「		ナ・化粧パーティ	クルボード		・バレイ			(難燃)
下記以外のビニル床タイルは、  「		クル		• 7° 53,5% 7/1	-n°-b1			(難燃) (難燃)
防腐処理 ・行う 適用範囲		ボー			,	・30 (難	燃) ・35	(難燃)
防蟻処理・行う 適用範囲 防蟻処理は、非有機リン系とする。     防腐・防蟻処理の方法 工場における加圧式とし、十分に乾燥を行う。 ただし、現場における加工が生じた場合には、加工し対し、現場にて防腐・防蟻を塗布することとする。     防虫処理・行う 適用範囲			: *=			*40 (粧	:XAS)	
工場における加圧式とし、十分に乾燥を行う。   ただし、現場における加工が生じた場合には、加工し対し、現場にて防腐・防蟻を塗布することとする。  防虫処理 ・行う 適用範囲		防蟻処理 • 行	う 適用	 範囲	 			-
(6.8.2) 材料		工場における ただし、現場	加圧式とし 場における加	エが生じ	た場合	こは、		:箇所に
する。 種類 性能 厚さ(mm) 柄 施工箇  下記以外のビニル床タイルは、厚さ2.0mmとする。 種類 厚さ(mm) 寸法(mm) 施工領 ・ホモニジアスビニル床タイル(教質) ビニル床シート及びビニル床タイル用接着剤は、ホルムド不検出のもので、有機溶剤の含有の少ないものとする	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	防虫処理 • 行	う 適用	範囲				-
種類   性能   厚さ (mm)   柄   施工簡			ル床シート	は、種類	iFS、柄に	は無地、	厚さ2.	ے Omm
厚さ2.0mmとする。  種類			性能	厚さ	(mm) 柄	j.	<b>拖工箇所</b>	
厚さ2.0mmとする。  種類								
種類				は、				
・コンボジションビニル床タイル(教質) ビニル床シート及びビニル床タイル用接着剤は、ホルムド不検出のもので、有機溶剤の含有の少ないものとする		種類			(mm) 寸;	去(mm)	施工箇月	fi
ド不検出のもので、有機溶剤の含有の少ないものとする								
種類 寸法 (mm) 厚さ (nm) 厚さ (nm) ・塩化ビニル系 ・300×300 ・20 ・レジンコンクリート系 ・300×300 ・30								ルデヒ
・塩化ビニル系 ・300×300 ・20 ・レジンコンクリート系 ・300×300 ・30					害者用名		<b>同 ナ / \</b>	
・レジンコンクリート系 ・300×300 -30 ゴム床タイル		・塩化ビニル系		· 300 × 30			厚さ(mm) ・20	
				· 300 × 30	00			
		ゴル中々イル	:					
り広(IIIII)				色柄	製造	所・製	品名	

・カットパイル ・ル・カットル・ブ・パト ・ル・ル・カットル・ブ・併用  抗菌加工の有無 ・有 ・無	・ループパイル       3KV以下         少ドカーペット       B状       小/4長さ(mm帯電圧       工法       型造所・製品名         パイル       ・人体帯電圧・全面接着・パイル・プバイル・プバイル・プバイル・プバイル・プリカーペット・コーペット・コーペット・コーペット・フィイル形状   寸法(mm)   製造所・製品名       ・人体帯電圧・3KV以下       ・名       ・適用しない         加工の有無・有・無・カーペット・アイル形状   寸法(mm)   ドラヤン・防滑仕上げ・カットパイル・クループ パイル・クループ パイル・クループ パイル・クリー・カットパイル・クループ リーリンタ 樹脂系・グラーグ   小型造成上げ・一次のや消し仕上げ・一次で消し仕上げ・一次でが消したエボキシ・技術上の・一切の種別・「早保護流し展ペエ法・(・平滑・防滑)・横脂モルタル工法・(・平滑・防滑)・横脂モルタル工法・(・平滑・防滑)・横脂モルタル工法・(・平滑・防滑)・横脂モルタル工法・(・平滑・防滑)・横脂・大変・大変・大変・大変・大変・大変・大変・大変・大変・大変・大変・大変・大変・
タフテッドカーペット	アドカーペット
バイル形状   バルモングル   ・ルーブパイル   ・ルーブパイル   ・ルーブパイル   ・ルーブパイル   ・ルーブパイル   ・ルーブパイル   ・カットパイル   ・カットパイル   ・カットパイル   ・カットパイル   ・カット   中さ (mm)   帯電性   製造所・製品名   ・人体帯電圧   3KV以下   ・大体帯電圧   3KV以下   ・大体帯電圧   3KV以下   ・大体帯電圧   3KV以下   ・大体帯電圧   ・大体・製品   ・直用しない   ・直用しない   ・一本   ・ 一本   ・ 一	下
・カットパイル ・ループパイル ・カットループ 併用       ・人体帯電圧 ・工法       ・金面接着 ・ブリッパー ・ブリッパー ・工法         抗菌加工の有無 ・有 ・無       ・有 ・無         マイルカーペット 種別 ・A 種 ・カットパイル ・A 種 ・カットパイル ・A 種 ・カットパイル ・A 種 ・カットパイル ・A 種 ・カットパイル ・A 種 ・カットパイル ・A 種 ・カットパイル ・A 種 ・カットパイル ・A 種 ・カットパイル ・ 一名種 ・カットパイル ・ 一名種 ・カットパイル ・ 一名種 ・ 一名 ・ 一名 ・ 一名 ・ 一名 ・ 一名 ・ 一名 ・ 一名 ・ 一名	A
・ハ・ル・ア 併用	カーリング   樹種
抗菌加工の有無 ・有 ・無	加工の有無 ・有 ・無
下水パンテカーペット   厚さ (mm)   帯電性   製造所・製品名	大きさ (mm)   大き
Feb (mm)   帯電性   製造所・製品名	「本電性   製造所・製品名
抗菌加工の有無 ・有 ・無   タイルカーベット   種別	AKV以下
タイルカーペット 種別 - 種・カッドパイル - A 種	カーペット
種別	************************************
A	************************************
A 種	T.   A   A   A   A   A   A   A   A   A
種別	工法・仕上げの種類
種別	工法・仕上げの種類
・厚膜型塗床材         ・弾性ウレタン・防滑仕上げ・つや消し仕上げ・つや消し仕上げ・フトスト 機能系・フトスト 機能系・原保膜流し展ペエ法・原子・防滑・・樹脂モルタル工法 (・平滑・防滑・・樹脂モルタル工法 (・平滑・防滑・・樹脂モルタル工法 (・平滑・防滑・・樹脂モルタル工法 (・平滑・防滑・・樹脂モルタル工法 (・平滑・防滑・・樹脂モルタル工法 (・平滑・防滑・・樹脂・フローリング 樹種 アローリング おち・15・303×303・技養工法・直張り工法・直張り工法・接合1種フローリング・なら・接合2種フローリング・なら・複合3種フローリング・技合3種フローリング・技会3種フローリング・技会3種フローリング・技会3種フローリング・技会3種フローリング・技会3種フローリング・技会3種フローリング・技会3種フローリング・技会3種フローリング・技会3種フローリング・技会3種フローリング・技会3種フローリング・技会3種フローリング・技会3種フローリング・技会3種フローリング・技会3種フローリング・技術工法・直張り工法・直張り工法・技術工法	型塗床材 ・弾性ウレタン・防滑仕上げ ・カペル した上げ ・カペル した上げ ・カッパ した上げ ・カッパ した上げ ・ 神臓系 し
横脂系	樹脂系
樹脂系	おいけい   おいけい
(・平滑・防滑) ・樹脂モルタル工法 (・平滑・防滑) ・薄膜型塗床材  - 薄膜型塗床材  - 薄膜型塗床材  - 薄膜型塗床材  - ブローリング 樹種 ・ ブローリング 樹種 ・ ブローリング ブロック・なら・15 ・303×303 ・接着工法  - モザ イクパーケット    複合 ブローリング   横種   横別	(・平滑・防滑) ・樹脂モルタル工法 (・平滑・防滑)  型塗床材  -リングの種別 -リング 樹種 厚さ(mm) 大きさ(mm) 工法 ・セルタル埋込工法 ・直張り工法 ・直張り工法 ・技着工法  -コーリング 樹種 種別 防湿処理 工法 ・モルタル埋込工法 ・直張り工法 ・技者工法  - 1
・薄膜型塗床材       フローリングの種別       単層フローリング   樹種	(・平滑・防滑)
・薄膜型塗床材       フローリングの種別 単層フローリング 樹種 ・7ローリング ボード・ なら     「厚さ (mm) 大きさ (mm) 工法 ・程ルタル埋込・根太張り工法・直張り工法・直張り工法・直張り工法・接着工法       ・サディタパーケット     複合フローリング 樹種 種別 防湿処理 工法 ・接合1種フローリング - なら - A種 ・接合3種フローリング - となら - A種 ・ を表張り工法 ・ 接着工法       量敷き 種別	1
単層フローリング   樹種   厚さ (mm)   大きさ (mm)   工法	ーリング 樹種 厚さ (mm) 大きさ (mm) 工法       ウプロウケ・なら・15     ・303×303       カイプロウケ・なら・15     ・303×303       コーリング 樹種 種別 防湿処理 工法       ローリング・なら・A種 ・B種 ・B種 ・日ラーリング は こでで、 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1
単層フローリング   樹種   厚さ (mm)   大きさ (mm)   工法	ーリング 樹種 厚さ (mm) 大きさ (mm) 工法       ウプロウケ・なら・15     ・303×303       カイプロウケ・なら・15     ・303×303       コーリング 樹種 種別 防湿処理 工法       ローリング・なら・A種 ・B種 ・B種 ・日ラーリング は こでで、 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1
・フローリング ブロック・なら・15     ・303×303       ・モザ・イクパーケット     複合フローリング 樹種 種別 防湿処理 工法・程令1種フローリング・なら・機合2種フローリング・なら・機合3種フローリング・複合3種フローリング・複合3種フローリング・複合3種フローリング・複合3種別	- 根太張り工法 - 直張り工法 - 直張り工法 - 接着工法 - 接着工法 - 接着工法 - 大変 - 本なら - 15 - 303×303 - 接着工法 - 接着工法 - 大変 - 本なら - A種 - モルタル埋込工法 - と種 - モルタル埋込工法 - に種 - 行う - 直張り工法 - 接着工法
・7ローリング で ロック ・ なら ・ 15 ・ 303 × 303 ・ 接着工法       ・まザイクハ・ナット ・ 複合 7 ローリング ・ 複合 1種フローリング ・ 複合 2種フローリング ・ 複合 3種フローリング ・ 複合 3種フローリング ・ 複合 3種 7 ローリング ・ とを ・ で行う ・ で で で で で で で で で で で で で で で で で で	が プロック ・なら ・15 ・303×303 ・接着工法
	M - ケット
複合フローリング 樹種 種別 防湿処理 工法 ・複合1種フローリング・なら・接音2種フローリング・なら・接音3種フローリング・	コーリング 樹種 種別 防湿処理 工法 11フローリング 12フローリング - A種 - モルタル埋込工法 12フローリング - B種 - 根太張り工法 12 - 12 - 12 - 12 - 12 - 12 - 12 - 12 -
- 複合1種フローリング ・複合2種フローリング ・複合3種フローリング ・複合3種フローリング ・ を ・ C種 ・ で程 ・ で程 ・ で程 ・ で行う ・ と ・ を着工法	#フローリング ・ なら ・ A種 ・ モルタル埋込工》 ・ B種 ・ 根水張り工法 ・ 直張り工法 ・ 直張り工法 ・ 接着工法
・複合2種フローリング ・複合3種フローリング     ・8種 ・ 0種 ・ 行う ・ でう ・ 接着工法     ・ 値張り工法 ・ 接着工法	Tun-リング
- 快着工法 - 豊敷き - 種別	・接着工法
種別	
種別	
	A種 · B種 · C種 · D種
D種の場合の畳床 ・KT-I ・KT-Ⅲ ・KT-Ⅲ ・KT-K ・KT-N	

料	せっこうボード、その他ボ	規格、区別等	厚さ(mm)
	⊕せっこうポード(GB-R)		●9.5(準不燃) ●12.5(不燃) ・9.5(準不燃) ・12.5(不燃) ・12.5(不燃) ・15.0(不燃)
	せっ		
	つ う <u>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</u>		・12.5(不燃) ◆12.5(準不燃) ・9.5
	   ・   ・   ・   ・   ・   ・   ・   ・   ・ 		・12.5(不燃) ○15.0(不燃)
	・不燃積層せっこうボード(GB-	トラバーチン	・9.5(不燃) ・9.5(不燃)
	・ 化粧せっこうボード(GB-D)	普通 ・ トラバーチン ・ 木目模様 ・ 特殊	→ 12.5(不然)
	・ロックウール吸音ボード(RW- ・グラスウール吸音ボード(GW-		・25 ・25(ガラスクロス包)
	吸・ロックウール化粧吸音板(DR)	内部用 普通	・9.0(不燃)
	吸 音 材 料	立体模様 軒天用 普通 立体模様	・12.0(不燃) ・9.0(不燃)
		□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	- 12.0(不燃)
	織セ 機メ 機メ 強ン 化ト	0	- 6. 0
	・天然木化粧合板	・なら ・しおじ	化粧単板 · 0.3未満 板 · 4.2
	殊.○特殊加工化粧合板 合 板	・メラミン化粧合板 ・メラミン化粧合板	- 4. 0
	難合 燃板 セ・木毛セメント板	・	· 15 · 20
	せい 水メ 水メ	<ul><li>・硬質木毛セメント板</li><li>・普通木毛セメント板</li></ul>	- 25 - 30
	水メ 質ン 系上・木片セメント板	<ul><li>硬質木毛セメント板</li></ul>	· 12 · 15 · 18 · 21
	板	・普通木毛セメント板 ・未研磨板 ・研磨板	· 30 · 2. 5 · 3. 5 · 5 · 7
	ハー・ケーパードボード・テーパードボード	・未研磨板 ・研磨板	· 2. 5 · 3. 5 · 5 · 7
			-2.5 -3.5 -5 -7
	. 月壮田ル蚧ューピギーピ		• 5 • 7
	ィボ · A級インシュレイションボート	*   *素板	· 9 · 12
	・	・天井仕上げ材 ・内装仕上げ材 ・押入収納内装材	· 15 · 18
	編		_
	·MDF		-3 -7 -9 -12 -15 -18
	\$ W153811 0 = 4 10 10		· 21 · 24 · 30
	パ  ・単板張りパーティクルボード	・無研磨板 ・研磨板	- 10 · 12 · 15 · 18 · 20 - 30 · 35 · 40
	ティ・化粧パーティクルボード	<ul><li>単板オーバレイ</li></ul>	•10 (難燃) •12 (難燃)
	ティクルボード クルボード	・ プラスチックオーパーレイ ・塗装	・15 (難燃) ・18 (難燃) ・20 (難燃) ・25 (難燃) ・30 (難燃) ・35 (難燃)
44.00	<del> </del>	土水	- 40 (難燃)
. 14. 2> 料	壁紙張り		
		f・製品名 ゲツ、東リ	防火性能の級別 ・1級 ⊙2級
			- 1級 - 2級
	壁紙及び接着剤は 売用	ムアルデヒド协物	・1級・2級量の少ないものとする。
. 16. 3> . 16. 4>	壁紙及び接着剤は、ホルタイルの形状、寸法、き		
磁器質 イル張り		じ うわぐすり <b>役物</b> <sup>5番 陶器 施釉 無釉 あり なし 標準</sup>	性 工法名 安 四 7 · 安 四 7
	玄関ポーチ 100角 〇		LIXIL 名古屋モザイク KYタイル
	※施工箇所の下線は、耐	凍害性があるもの	を示す。

	鈴 鹿 工 業 高 等 専 門 学 校					図面名称	特記仕様書:	3			縮尺 _
工事名称	鈴 鹿 工 業 高 専 学 生 支 援 セ ン タ 一 改 修	工事				業務名称	鈴鹿工業	高専学生	支援セン	ター改修制	设計 業 務
		検	X	製	X	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	図面番号
[[0.G]@	(株式会社 ト ク オ										
	<ul><li>一級連集士事務所 愛知県知事登録(い−23)7407号</li><li>一級連集士(第285977号) 中村 知矢</li></ul>										特一03

(7.1.3) 材料	ものとする。 防火材料の ・次屋内の ・次の筒 ・タの筒 ・タの筒 ・タの筒 ・タの筒 ・タの筒 ・タの筒 ・タの筒 ・タ	指定 壁、天井仕上I 所は防火材料。	がは防火材料 & t する。 女 修 工 事 普通:		の含有の少なし
	・屋内の・次の簡 ・次の簡 8 重 適用箇所 設計基準強 スランプ(0 気乾単位容科	壁、天井仕上I 所は防火材料。 	とする。 ・ 文修 工 事 普通=	:する。	
	摘要 適用箇所 設計基準強度 スランプ(c 気乾単位容和	種類 度 (N/mm2) m)	普通二		
	摘要 適用箇所 設計基準強度 スランプ(c 気乾単位容和	種類 度 (N/mm2) m)	普通二		
	適用箇所 設計基準強原 スランプ(の 気乾単位容利	度 (N/mm2) m)			
(0.4.5)	スランプ(c 気乾単位容和	m)	補強体	コンクリー	· <b>ト</b>
(0.4.5)		貝貝里(Kg/III3)	3 0		
〈8.1.5〉 <del>鉄骨製作工場</del>	WITHOUT	面グレード		場	
<8.2.1> 鉄筋	種類の記	묵 4	圣 (mm)	i	適用箇所
	⊙SD299	5 A D 1 3 5 D 1 9	D 1 6	梁	
	· SR23	5			
〈8. 2. 2〉 溶接金網	毎日の形状	寸法	針	線の径	
II JX III JX	<u>柵 日 0 7 1 9 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7</u>	17/4		100.00	
<0.2.6\					
<8.2.6> 型枠の材料	床型枠用鋼線 使用箇所	製デッキプレー	- ト	備考	
				Prof. CO.	
	製造所				
<8. 2. 8>					
鋼材	種別 • 棒鋼	材質		備考	
	<ul><li>○平鋼</li><li>・形鋼 (HF)</li><li>・形鋼 (その)</li></ul>		0 B		
	•鋼板(中       •鋼板(薄)	• 厚)			
	・軽量形鋼 ・角形鋼管				
<8. 3. 4>					
継手及び定着	継手方法等 部位		継手方法		径 (mm)
	柱、梁の主	・溶接継		<b>式継手</b>	
	主筋又は耐に	」 <u>●</u> 重ね継 カ壁の鉄筋の動		⊕40a	d • 45d •
	柱に取り付け	筋の重ね継手の けるはりの引引	長り鉄筋の定着	長さ・40c	d 45d -
<8.3.8>	柱に取り付け	ナるはりの引引	<b>長り鉄筋以外鉄</b>	筋の定着:	長さ・
ガス圧接	圧接完了後¢ ○超音波				
<8.16.2> 耐火被覆材の種別 及び性能	種別	りモルタル塗り	.i		
XO II HE	• 耐火材	吹付け		半湿式工法	・湿式工法
	·耐火板 所要性能	張り工法			
	所要性能	構造区分	適用箇所		
<8.19.3> 既存部分の処理	目荒し				
※11 時月 V 定生	部位	平均深さ(mm)	打継ぎ面 面積の割	に対するE 合 (%)	荒らし
	既存躯体	5~10mm			
<8.19.8> コンクリートの 打込み	<ul><li>○流込みエミ</li><li>・圧入工法</li></ul>	±			
(8. 21. 5) 溶接金網巻き工法 及び 溶接フープ巻き工法	打込の工法の ・流込みエミ ・圧入工法				

	9 章	環境	配慮改修工事		
1〉 注事項	アスベスト含 工事種別 ・ ○除去処理 ・封じ込め処		の処理の工事 適用箇所		_
	・囲い込み処				
	調査結果を する。 1. アス 2. アス 3. アス	とりまる スベスト スベスト	こよる施工調査は、次の事 とめ、図面等により記録し 含有建材使用部位の確認 含有建材の厚さ等の確認 合有建材使用数量の確認 の確認		
	<del>- 公析に トスア</del>	フベスト	含有の調査		
	・行う 調査対象 調査対象	東室 東建材			
	付けアスペ 本建築セン の「3.3.3 ただし、ア 中のアスペ	スト粉し シター H 資料採取 フスベス スト含	スト含有の調査は、「改訂 じん飛散防止処理技術指針 118.10)」(以下「センタ による現地調査」に基づ ト含有の分析方法は、JIS 有率測定方法」による。そ 怪職員と協議する。	・同解説2006 ・一指針」とい き行う。 A 1481「建材!	(日 う。) 製品
	<del>アスベスト粉</del>	じん濃度	別定		
	処理作業室 置の排出吹 度の測定を	≝、処理化 なき出し口 そう。	作業室以外の室内又は室外 コ、敷地境界において、ア	'スベスト粉じ	ん濃
	1. アスペ 下表による		じん濃度の測定場所、測定	[点及び測定時	朝は
	測定時期		測定場所		備考
			処理作業室内	(各施工箇所毎) 各2点又は3点	
		測定 2 測定 3	処理作業室以外の室内又は室外 処理作業室内		大気 ※
	22	測定 4	負圧・除じん装置の排出吹出し口		
		測定 5	処理作業室 敷地境界	4方向 各1点 (敷地境界)	
	処理作業後	測定 6	処理作業室内	各2点	
	<u>(シート養生中)</u> 作業終了後	測定 7	処理作業室内	各2点又は3点	*
	シート撤去後 1週間以内	測定8	処理作業室以外の室内又は室外	計2点	大気
	じん濃度測 3.下記の	定計画	じん濃度の測定に当たって 書を作成し監督職員に提出 基づくアスペスト粉じん温	ける。	
		監督職員 事名称	員に提出する。		
	2) 測:	定結果			
		定時間 定位置(	測定高さと共に図示する。	, )	
		定時の作 ンプリン	:業内容 ・グ条件(ホルダー直径、吸引	時間、吸引空	5. 量 )
	7) マ	ウンティ	ング方法	1时间、纵力主	~~=/
			面積、計数視野数 スト繊維について		
		定時(各 の他必要	測定場所毎)の温度、湿 た事項	<b>芰、風圧</b>	
	アスベスト含 施工調査の	有建材系 )結果に基	&散防止処理施工計画書 基づき、アスベスト粉じん		
	ンター指針	⊦」の「5	スト含有建材飛散防止処理 5.3.2施工計画書の作成」	に基づき作成す	
	施工におけ よるほか、 特に次の事 措置等」に 1) 粉じんタ	るアス/ 〈9.1.3〉 ・項につい ・基づき ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	剤の使用 処理剤の使用 置の設置	登等は、関係法 <sup>。</sup> 示すもののうち	
	1. アス 「非 17年 産業 0330 関す	飛散性ア 3月30日付 廃棄物課 )10) 別況 る技術指	有成形板の撤去工事は、 スペスト廃棄物の適正処: 寸環境省大臣官房廃棄物・ 適正処理・不法投棄対策 添の「非飛散性アスペスト 針」(以下「技術指針」 び次の事項に基づき実施	理について」 リサイクル対 <sup>†</sup> 室長 環廃産発 廃棄物の取扱 という。)の「	平成 策部 第05 いに

		防・耐火性、「	防音性などを	は散布特性、浸透 考慮して適切なも 。
	方公共団体 物処理マニ:	ト廃棄物」の処 ・特定行政庁の	指導等による 日本産業廃棄	「は、関係法令、地 らほか、「建設廃棄 を物処理振興センタ
		廃棄物をやむを 所等については		□構内に保管する場 : 協議する。
		廃棄物の構外搬 事前に監督職員		こって、作業実施予
	アスベスト含有建材 1. 施工記録報行	飛散防止処理が 告書を作成し、		<b>是出する</b> 。
	1) 施工計配 2) 工事整 3) 産工事整調者 4) 施工事整調者の 6) 建物の使あ 7) 異状が可した 8) 処理理工事事 10) 免職 11) 飛散防	及物等作用の期業の処材等作用の期業の処理録録に当場名所ります。 の連邦 はいい はい	○注意事項 8先等 ~使用量等	<b>र</b> इंड
<9.1.2> 除去工事共通事項	等にかかわる指	里者は、アスベ 音導、及び管理 技術者又は監理	スト含有建材 を行う能力を 技術者の資格	飛散防止処理施工 有し、建設業法で を有する者とする。
<9. 1. 3>	ことができる。			
<del>アスベスト含有</del> 吹付け材の除去	アスベスト含有吹付 室名			示による。 有吹付け材の仕様
〈9.1.4〉 <del>アスペスト含有</del> 保温材等の除去。	アスベスト含有吹付 ・密封処理(二重 ・セメント固化 アスベスト含有保温 室名	袋梱包) 材等の処理を行		示によ <u>る。</u> 有保温材等の仕様
〈9. 1. 5〉 アスベスト含有 成形板の除去	アスベスト含有成形 室名			こよる。 有成形板の仕様
	「技術指針」の「 施する。 アスベスト含有成形	形板の集積・ 第4章 収集運 板の処分等	軍搬等は、<9 『搬」及び次の	1.5>によるほか、 )事項に基づき実 こよるほか、「技術
(0.2.2)		中間処理」、		終処分」及び次の
<9.3.2> 材料	種類	種別	厚さ(mm)	施工箇所
	<ul> <li>・ <u>L<sup>*</sup> - ス<sup>*</sup> 法未<sup>*</sup> リスチレンフォーム</u></li> <li>・ 押出法未<sup>*</sup> リスチレンフォーム</li> </ul>	• 保温板2種b		
		• 保温板3種b	- 25	
	・硬質ウレタンフォーム	701.50+1	30	屋上
<9. 5. 2>	上記保温材は、特定	ノロンを含まる	ょいものとすべ	ο <sub>0</sub>
断熱材打込み工法	断熱材現場発泡工法 種類	種別	厚さ(mm)	施工箇所
	・ ピーズ法ポリスチレンフォーム			ルピート回げ
	・押出法ポリスチレンフォーム	・保温板2種b ・保温板3種b		
	- <u>硬質ウレタンフォーム</u>			
	上記保温材は、特定	 フロンを含また		
				鈴鹿工業

<b>听熱材現場発泡工</b> 》	⊙ A 科	<b>1</b> 2 ⊙30		施工箇月	"							
	上記任	· ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	特定	フロンを	含ま	な	:11:	もの	とする	5.		
		10	章	石口	二事	Į						
10. 2. 1) ī材	天然石	ā										
	施工包	節所 二	工法		頁(産		、名	3称)	)			の種類
	<u>玄関</u> 男子		<u>湿式</u> 湿式	汚	歯岩垂れ	石				水	研き処	理
				(1	OTO :	/\·	<b>イド</b> I	ロセラ	707)			
		21₫	<b>章</b>	排水	I	事						
21. 2. 2)	146 -1. 44	<b>4 - 4</b>										
<b> 塊、排水桝等</b>	排水板種類	形式		適用荷重	(安全	荷!	重(kg	gf))	鍵の有	無	施工包	<b>動所</b>
	コンクリ-	- 卜羡							無		外構	
		チング	=									
	種類	形式		用途		ĭ	適用	荷重	<b>並</b> 大化			備考
	鋼製	・受枠付	<ul><li>溝。</li></ul>	、た(横脚	折用)	Ŀ	歩行	亓用		通	細目	
			· 溝ふ	いた (側)	構用)		T-2 T-6		+	+		
				「ふた用 ≧溝用		Ŀ	T-1	4用 0用				
	ステンレス製	・受枠付	<ul><li>溝ぶ</li></ul>			Ŀ	歩行	亍用			$\overline{A}$	
						Ŀ	T-6	用		$\neq$		
				「ふた用 『溝用				4用 0用	$\angle$			
		221	——— 章	舗装	I ?	事						
22. 2. 3) 対料  22. 2. 5) <del>1数</del> 22. 4. 4) 26 その他  22. 4. 5) <del>23 は 6</del> <del>22. 5. 3)</del> <del>24 は</del> 22. 5. 6) <del>22 は 6</del> 22 も 2) 間接の構成 なび仕上げ	・	た た た で 大 で で に で に で に で に で に で に で に に で に で に に に に に に に に に に に に に	D L L 度度度	合物の種 フフフフ 行 加 使 式 物 は す	験 類混混混 験 る・・・ 油	合合合 行 由極	物物物・	(20) 行う	(13)			_
(22. 7. 6) <del>式験</del>	• 塗右	指系混合物 5工法 ±アスファ			二一				• 行	う		
22. 9. 3) <del>オ≭≒</del>		マーロッキ				ŧ						
	材質、	種類	形	状、寸	去	_	_	_	表面	面加:	I	

	鈴 鹿 工 業 高 等 専 門 学 校					図面名称	特記仕様書	4			縮尺 _
工事名称	鈴 鹿 工 業 高 専 学 生 支 援 セ ン タ 一 改 修	工事				業務名称	鈴鹿工業	高専学生	支援セン	ター改修記	设計 業 務
Toge	<b>概念</b> ト 夕 オ	検	Ø	製	Ø	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	図面番号
	一級建築士事務所 愛知県知事登録(いー23)7407号 一番建築士(第285977号) 由最 初年										特一04

	表 示 略 号
(塗装工事)	
S O P	合成樹脂調合ペイント塗り
V E	塩化ビニル樹脂エナメル塗り
E P- I	合成樹脂エマルションペイントI種塗り
EP-G-A	つや有合成樹脂エマルションペイントA種塗り
EP-G-B	つや有合成樹脂エマルションペイントB種塗り
C L	クリヤラッカー塗り
F E	フタル酸樹脂エナメル塗り
<fe>-3</fe>	フタル酸樹脂エナメル塗り(2種素地こしらえ)
	常温乾燥形フッ素樹脂エナメル塗り
D P	耐候性塗装塗り
OSCL	オイルステインクリヤラッカー塗り
(吹付工事)	LEEU LAU
F T- 1	複層仕上塗材
F T- 2	薄付け仕上塗材
F T- 3	軽量骨材仕上塗材
F T- 4	内装用仕上塗材
(コンクリート工事)	
既CON	既設コンクリート
CON	新設コンクリート
CON-T	床コンクリートこで仕上
L-CON	軽量コンクリート
CON-Z	雑用コンクリート
CON-FA	コンクリート面処理A種
既製コンクリート工事)	
既CB	既設空洞コンクリートブロック積み 厚さは特記による
СВ	新設空洞コンクリートブロック積み 厚さは特記による
( R÷ \	※ W=2~3は、スラブ底又は梁底まで、それ以外は天井面までとする。
(壁)	* LGS65
LGS-W1	軽量鉄骨壁W65下地+せっこうボード厚12.5+せっこうボード厚9.5(両面)
LGS-W2	軽量鉄骨壁W65下地+強化せっこうボード厚15+15(両面)(耐火構造)
1.65-80	軽量鉄骨壁W65下地(千鳥配置)+グラスウール24K厚50充填
LGS-W3	+強化せっこうボード厚12.5+12.5(両面)(耐火構造・遮音壁)
LGS-W4	軽量鉄骨壁W50下地+せっこうボード厚12.5+せっこうボード厚9.5(片面)
W 5	既設モルタル下地調整
W 6	外壁: ALC厚100一部防火サイディング厚16
W 7	軽量鉄骨壁下地メ外ラスの上もルタル 厚30(両面)
W 8	せっこうボード厚12.5(片面)(GL工法)
(干井下桝)	
(天井下地) LGS-C	轻量鉄帶天井下地 屋内19型 屋外25型
	轻量鉄帶天井下地 屋内19型 屋外25型
LGS-C	経量鉄骨天井下地 屋内19型 屋外25型 シート防水(合成高分子ルーフィングシート)加陸ゴム系シート
LGS-C (防水工事)	
LGS-C (防水工事) VWPA	シート防水(合成高分子ルーフィングシート)加破ゴム系シート
LGS-C (防水工事) VWPA PWP	シート防水(合成高分子ルーフィングシート)加硫ゴム系シート 塗製防水
LGS-C (防水工事) VWPA PWP	シート防水(合成高分子ルーフィングシート)加硫ゴム系シート 塗製防水
LGS-C (防水工事) VWPA PWP	シート防水(合成高分子ルーフィングシート)加積ゴム系シート 塗製防水 シーリングを示す
LGS-C (防水工事) VWPA PWP	シート防水(合成高分子ルーフィングシート)加硫ゴム系シート 塗製防水
LGS-C (防水工事) V W P A P W P  / (左官工事) M M - T	シート防水(合成高分子ルーフィングシート)加積ゴム系シート 金属防水 シーリングを示す モルタル下地
LGS-C (防水工事) VWPA PWP / (左官工事)	シート防水(合成高分子ルーフィングシート)加破ゴム系シート 塗販防水 シーリングを示す モルタル下地 モルタル塗り 塗り厚さは特配による
LGS-C	シート防水(合成高分子ルーフィングシート)加破ゴム系シート 塗販防水 シーリングを示す モルタル下地 モルタル塗り 塗り厚さは特配による
LGS-C (防水工事) V W P A P W P  / (左官工事) M M - T	シート防水(合成高分子ルーフィングシート)加味ゴム系シート 塗板防水 シーリングを示す モルタル下地 モルタル連り 塗り厚さは特配による ブラスター塗り
LGS-C (防水工事) V W P A P W P  ク (左官工事) M M - T P - T	シート防水(合成高分子ルーフィングシート)加陸ゴム系シート 金属防水 シーリングを示す モルタル下地 モルタル産り 達り厚さは特配による ブラスター塗り せっこうボード 厚さは特配による
LGS-C (防水工事) V W P A P W P  / (左官工事) M M - T P - T (ボード類) GB-R	シート防水(合成高分子ルーフィングシート)加味ゴム系シート 塗板防水 シーリングを示す モルタル下地 モルタル連り 塗り厚さは特配による ブラスター塗り
LGS-C (防水工事) V W P A P W P  /* (左官工事) M M - T P - T (ボード類) GB-R GB-R-GL GB-NC	シート防水(合成高分子ルーフィングシート)加破ゴム系シート 塗領防水 シーリングを示す モルタル率地 モルタル塗り 塗り厚さは特配による ブラスター塗り せっこうボード 厚さは特配による せっこうボード直張リエ法 厚さは特配による 不懲積層化粧せっこうボード厚9.5突付
LGS-C (防水工事) V W P A P W P  / (左官工事) M M - T P - T (ボード類) GB-R GB-R-GL GB-NC GB-S-GL	シート防水(合成高分子ルーフィングシート)加破ゴム系シート 塗販防水 シーリングを示す モルタル下地 モルタル塗り 塗り厚さは特記による ブラスター塗り せっこうボード 厚さは特記による せっこうボード直張り工法 厚さは特記による 不感積層化粧せっこうボード厚9.5変付 シージングせっこうボード直張り工法 厚さは特記による
LGS-C (防水工事) V W P A P W P  /* (左官工事) M M - T P - T (ボード類) GB-R GB-R-GL GB-NC	シート防水(合成高分子ルーフィングシート)加破ゴム系シート 塗販防水 シーリングを示す モルタル下地 モルタル塗り 塗り厚さは特配による ブラスター塗り せっこうボード 厚さは特配による せっこうボード 原きは特配による セっこうボード直張り工法 厚さは特配による 不燃積層化能せっこうボード厚9.5変付 シージングせっこうボード直張り工法 厚さは特配による
LGS-C (防水工事) VWPA PWP  (左官工事) M M-T P-T (ボード類) GB-R GB-R-GL GB-NC GB-S-GL GB-S	シート防水(合成高分子ルーフィングシート)加破ゴム系シート 塗販防水 シーリングを示す モルタル下地 モルタル塗り 塗り厚さは特配による ブラスター塗り せっこうボード 厚さは特配による せっこうボード 原きは特配による セっこうボード直張り工法 厚さは特配による 不燃積層化能せっこうボード厚9.5変付 シージングせっこうボード直張り工法 厚さは特配による
LGS-C (防水工事) V W P A P W P  (左官工事) M M - T P - T  (ボード類) GB-R GB-R-GL GB-N-C GB-S-GL GB-S CAB	シート防水(合成高分子ルーフィングシート)加速ゴム系シート 塗展防水 シーリングを示す  モルタル下地 モルタル連り 塗り厚さは特配による ブラスター塗り  せっこうボード 厚さは特配による セっこうボード直接リ工法 厚さは特配による 不思想層化能せっこうボード厚3.5変付 シージングせっこうボード 厚きは特配による 原さは特配による カージングセっこうボード 原子に 厚さは特配による
LGS-C (防水工事) V W P A P W P  (左官工事) M M - T P - T  (ボード類) GB-R GB-R-GL GB-N-C GB-S-GL GB-S CAB	シート防水(合成高分子ルーフィングシート)加速ゴム系シート 塗展防水 シーリングを示す  モルタル下地 モルタル連り 塗り厚さは特配による ブラスター塗り  せっこうボード 厚さは特配による セっこうボード直接リ工法 厚さは特配による 不思想層化能せっこうボード厚3.5変付 シージングせっこうボード 厚きは特配による 原さは特配による カージングセっこうボード 原子に 厚さは特配による
LGS-C (防水工事) VWPA PWP  (左官工事) M M-T P-T (ボード類) GB-R GB-R-GL GB-S-GL GB-S-GL GB-S-GL GB-S-GL	シート防水(合成高分子ルーフィングシート)加速ゴム系シート 塗展防水 シーリングを示す  モルタル下地 モルタル連り 塗り厚さは特配による ブラスター塗り  せっこうボード 厚さは特配による セっこうボード直接リ工法 厚さは特配による 不思想層化能せっこうボード厚3.5変付 シージングせっこうボード 厚きは特配による 原さは特配による カージングセっこうボード 原子に 厚さは特配による
LGS-C (防水工事) VWPA PWP  (左官工事) M M-T P-T (ボード類) GB-R GB-R-GL GB-S-GL	シート防水(合成高分子ルーフィングシート)加速ゴム系シート 塗販防水 シーリングを示す  モルタル本地 モルタル塗り 塗り厚さは特配による ブラスター塗り  せっこうボード 厚さは特配による サっこうボード直張リ工法 厚さは特配による 不趣積層化粧せっこうボード直張リ工法 厚さは特配による ージングせっこうボード直接リ工法 厚さは特配による カージングせっこうボード 厚さは特配による 最石鍋けい酸カルシウム板 厚さは特配による ロックウール化粧吸音板 厚さは特配による
LGS-C (防水工事) VWPA PWP  (左官工事) M M-T P-T (ボード類) GB-R GB-R-GL GB-S-GL GB-S CAB DR (床) VT	シート防水(合成高分子ルーフィングシート)加破ゴム系シート 塗限防水 シーリングを示す モルタル定り モルタル塗り を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1
LGS-C (防水工事) V W P A P W P  (左官工事) M M - T P - T (ボード類) GB-R GB-R-GL GB-NC GB-S-GL GB-S CAB D R ( 床 ) V T V S	シート防水(合成高分子ルーフィングシート)加速ゴム系シート 塗展防水 シーリングを示す  モルタルで地 モルタル連り 塗り厚さは特配による ブラスター塗り  せっこうボード 厚さは特配による セっこうボード画領リエ法 厚さは特配による エを観層化能せっこうボード厚3.5変付 シージングせっこうボード原3.5変付 シージングせっこうボード 厚き以下は 厚さは特配による 加くカージングセっこうボード 原とは特配による 加くカール化粧吸音板 厚さは特配による ロックウール化粧吸音板 厚さは特配による ロックウール化粧吸音板 厚さは特配による
LGS-C (防水工事) V W P A P W P  (左官工事) M M - T P - T  (ボード類) GB-R GB-R-GL GB-N-C GB-S-GL GB-S CAB D R  ( 床 ) V T V S FVSD	シート防水(合成高分子ルーフィングシート)加陸ゴム系シート 金展防水 シーリングを示す  モルタルで地 モルタル産り 塗り厚さは特配による ブラスター塗り  せっこうボード 厚きは特配による せっこうボード厚り、突付 ・シッグせっこうボード厚り、実付 ・シージングせっこうボード原り、実付 ・カージングせっこうボード 厚きは特配による 最石縮けい酸カルシウム版 厚さは特配による カックウール化粧吸音板 厚さは特配による ロックウール化粧吸音板 厚さは特配による
LGS-C (防水工事) V W P A P W P  (左官工事) M M - T P - T  (ボード類) GB-R GB-R-GL GB-S-GL GB-S-GL GB-S-GL CB-S-GL CB-S-GL CB-S-CAB DR	シート防水(合成高分子ルーフィングシート)加陽ゴム系シート 金属防水 シーリングを示す  モルタル塗り 塗り厚さは特配による ブラスター塗り  せっこうボード 厚きは特配による せっこうボード 厚きは特配による オ悪精層化配せっこうボード厚り。突付 シージングせっこうボード 厚きは特配による 無石線けい酸カルシウム板 厚さは特配による 無石線けい酸カルシウム板 厚さは特配による ロックウール化粧吸音板 厚さは特配による ビニル床タイル 厚2.0 ビニル床シート 厚2.0(治接工法) ビニル床シート 厚2.0(治接工法) ビニル床シート(デザイン) 抗菌性ビニル床シート
LGS-C (防水工事) VWPA PWP  (左官工事) M M-T P-T (ボード類) GB-R GB-R-GL GB-S-GL GB-S-GL GB-S-GL CB-S-GL CB-S-CL	シート防水(合成高分子ルーフィングシート)加速ゴム系シート 金属防水 シーリングを示す  モルタルを地 モルタルをリ 塗り厚さは特配による ブラスター塗り  せっこうボード 厚さは特配による オの監視層化能せっこうボード厚9.5変付 シージングせっこうボード 厚さは特配による 不受視層化能せっこうボード 厚さは特配による 和名線付い能力ルンツム板 厚さは特配による ロックウール化粧吸音板 厚さは特配による ロックウール化粧吸音板 厚さは特配による ビニル床タイル 厚2.0( 浩接工法 ) ビニル床シート 厚2.0( 浩接工法 ) ビニル床シート 「デザイン) 抗菌性ビニル床シート
LGS-C (防水工事) VWPA PWP  (左官工事) M M-T P-T (ボード類) GB-R GB-R-GL GB-S-GL GB-S CAB DR (床) VT VS FVSD FVS1 T C SPF	シート防水(合成高分子ルーフィングシート)加破ゴム系シート 塗領防水 シーリングを示す  モルタル塗り モルタル塗り せっこうボード 厚さは特記による ブラスター塗り  せっこうボード直接リエ法 原さは特記による オ宏積層化能せっこうボード第9、9変付 シージングせっこうボード直接リエ法 原さは特記による 毎石縮けい酸カルシウム板 厚さは特記による ロックウール化粧吸音板 原さは特記による にアクウール化粧吸音板 原さは特記による にアクウール化粧吸音板 原さは特記による にアクウール化粧吸音板 原さは特記による にアクウール化粧吸音板 原さは特記による にアクウール化粧吸音板 原さは特記による にエル床タイル 原2.0 ビニル床シート 原2.0(溶接工法)  ビニル床シート 原3.0(溶接工法)
LGS-C (防水工事) VWPA PWP  (左官工事) M M-T P-T (ボード類) GB-R GB-R-GL GB-S-GL GB-S CAB DR (床) VT VS FVSD FVS1 T C SPF T 1	シート防水(合成高分子ルーフィングシート)加破ゴム系シート 塗領防水 シーリングを示す  モルタル塗り モルタル塗り せっこうボード 厚さは特記による ブラスター塗り  せっこうボード直接リエ法 原さは特記による オ宏積層化能せっこうボード第9、9変付 シージングせっこうボード直接リエ法 原さは特記による 毎石縮けい酸カルシウム板 厚さは特記による ロックウール化粧吸音板 原さは特記による にアクウール化粧吸音板 原さは特記による にアクウール化粧吸音板 原さは特記による にアクウール化粧吸音板 原さは特記による にアクウール化粧吸音板 原さは特記による にアクウール化粧吸音板 原さは特記による にエル床タイル 原2.0 ビニル床シート 原2.0(溶接工法)  ビニル床シート 原3.0(溶接工法)
LGS-C (防水工事) V W P A P W P P P (左官工事) M M - T P - T (ボード類) GB-R GB-R-GL GB-S-CAB D R ( 床 ) V T V S FVSD FVS1 T C SPF T 1 (巾木) V H	シート防水(合成高分子ルーフィングシート)加速ゴム系シート 塗展防水 シーリングを示す  モルタル定り 塗り厚さは特配による ブラスター塗り  せっこうボード 厚さは特配による セっこうボード直張リ工法 厚さは特配による 不思想層化粧せっこうボード厚3.5変付 シージングせっこうボード厚9.5変付 シージングせっこうボード 厚きは特配による 無右続けい酸カルシウム板 厚さは特配による ロックウール化粧吸音板 厚さは特配による ロックウール化粧吸音板 厚さは特配による ビニル床シート 厚2.0(溶接工法) ビニル床シート 厚2.0(溶接工法) ビニル床シート (デザイン) 抗菌性ビニル床シート タイルカーベット 厚6.5mm 防塵塗装 磁器質タイル 100角
L G S - C (防水工事) V W P A P W P P (左官工事) M M - T P - T (ボード類) G B - R G B - R - G L G B - S - G L G B - S - G L T - C S P F V S D F V S D F V S 1 T C S P F T 1 (巾木) V H W B	シート防水(合成高分子ルーフィングシート)加陸ゴム系シート 金属防水 シーリングを示す  モルタル下地 モルタル産り 塗り厚さは特配による ブラスター塗り  せっこうボード 厚さは特配による せっこうボード厚り、突付 ・シージングせっこうボード厚り、実付 ・アジングせっこうボード原り・実付 ・アジングせっこうボード 厚さは特配による 無石鍋けい酸カルシウム板 厚さは特配による ロックウール化粧吸音板 厚さは特配による ロックウール化粧吸音板 厚さは特配による ビニル床タイル 厚2.0 ビニル床シート 厚2.0 溶接工法 ビニル床シート (デザイン) 抗菌性ビニル床シート タイルカーベット 厚6.5mm 防塵塗装 温器質タイル 100角 ビニルホ 1+60
LGS-C (防水工事) VWPA PWP  /**  (左官工事) M M-T P-T (ボード類) GB-R GB-R-GL GB-S-GL GB-	シート防水(合成高分子ルーフィングシート)加陽ゴム系シート 金属防水 シーリングを示す  モルタル産り 達り厚さは特配による ブラスター造り  せっこうボード 厚さは特配による せっこうボード 厚きは特配による センニシボード直張リ工法 厚さは特配による 不思精層化粧せっこうボード厚9.5次計 シージングせっこうボード 厚きは特配による 無石綿けい酸カルシウム板 厚さは特配による 加石綿けい酸カルシウム板 厚さは特配による ロックウール化粧吸音板 厚さは特配による ロックウール化粧吸音板 厚さは特配による ビニル床シート 厚2.0(治接工法) ビニル床シート 厚2.0(治接工法) ビニル床シート 厚4.0(治接工法) ビニル床シート 厚5.5mm 防塵塗装 磁器質タイル 100角
LGS-C (防水工事) VWPA PWP  (左官工事) M M-T P-T (ボード類) GB-R GB-R-GL GB-S-GL GB-S-GL GB-S CAB DR (床) VT VS FVSD FVSD T 1 (巾木) V H W B 花崗岩 (雑)	シート防水(合成高分子ルーフィングシート)加速ゴム系シート 塗領防水 シーリングを示す  モルタル率り モルタル率り せっこうボード 厚さは特記による ブラスター塗り  せっこうボード 厚きは特記による セっこうボード直張り工法 厚さは特記による 不受精層化能せっこうボード事の。突付 シージングせっこうボード車の場上法 厚さは特記による 用きは特記による ロックウール化粧吸音板 厚さは特記による ロックウール化粧吸音板 厚さは特記による にニル床シート 厚2.0(溶接工法) ビニル床シート 厚2.0(溶接工法) ビニル床シート 厚2.0(溶接工法) ビニル床シート 厚3.0(溶接工法) ビニル床シート 厚4.0(溶接工法) ビニルホシート 厚5.5mm 防塵塗装 磁器質タイル 100角
LGS-C (防水工事) V W P A P W P  (左官工事) M M - T P - T (ボード類) GB-R GB-R-GL GB-S-GL GB-S-GL GB-S C A B D R ( 床 ) V T V S F V S D F V S 1 T C S P F T 1 (巾木) V H W B 花崗岩 ( 雑 ) C R S	シート防水(合成高分子ルーフィングシート)加速ゴム系シート 塗展防水 シーリングを示す  モルタル定り 塗り厚さは特配による ブラスター塗り  せっこうボード 厚さは特配による セっこうボード直接リ工法 厚さは特配による 不思想層化粧せっこうボード厚3.5変付 シージングせっこうボード厚5.5変付 シージングせっこうボード 厚きは特配による 最右続けい酸カルシウム板 厚さは特配による の リールル・ 超数音板 厚さは特配による ロックウール化粧数音板 厚さは特配による レニル床シート 厚2.0(溶接工法) ビニル床シート (デザイン) 抗菌性ビニル床シート (デザイン) 抗菌性ビニル床シート タイルカーペット 厚6.5mm 防塵塗装 磁器質タイル 100角  ビニル巾木 H=60 木製巾木 H=90 厚20
LGS-C (防水工事) V W P A P W P  (左官工事) M M - T P - T  (ボード類) GB-R GB-R-GL GB-N-C GB-S-GL GB-S C A B D R  ( 床 ) V T V S FVSD FVS1 T C SPF T 1 (巾木) V H W B 花崗岩 ( 雑 ) CRS UF-F	シート防水(合成高分子ルーフィングシート)加速ゴム系シート
L G S - C (防水工事) V W P A P W P P P (左官工事) M M - T P - T (ボード類) G B - R G B - R - G L G B - S C A B D R ( 床 ) V T V S F V S D F V S 1 T C S P F T 1 (巾木) V H W B 花崗岩 ( 雑 ) C R S U F - F V P	シート防水(合成高分子ルーフィングシート)加陸ゴム系シート 金属防水 シーリングを示す  モルタルをリ モルタルをリ 達り厚さは特配による ブラスター塗り  せっこうボード 厚さは特配による せっこうボード 厚さは特配による センニラボード画張り工法 厚さは特配による 不感積層化粧せっこうボード 厚きは特配による カージングせっこうボード 厚きは特配による 細石輪けい酸カルシウム版 厚さは特配による ロックウール化粧吸音板 厚さは特配による ロックウール化粧吸音板 厚さは特配による レニル床シート 厚2.0 (浴接工法) ビニル床シート 厚2.0 (浴接工法) ビニル床シート (デザイン) 抗菌性ビニル床シート (デザイン) 抗菌性ビニルほシート ライルカーベット 厚6.5mm 防塵塗装 磁器質タイル 100角 ビニルホ 1+50 厚20 カーテンレール (シングル) 断熱材現場次付工法 厚30 硬質塩化ビニル管
L G S - C (防水工事) V W P A P W P (左官工事) M M - T P - T (ボード類) G B - R G B - R - G L G B - S - G L G B - S - G L T - C S - C S P F V S D	シート防水(合成高分子ルーフィングシート)加速ゴム系シート 金属防水 シーリングを示す  モルタルを明 モルタルを明 モルタルをリ 達り厚さは特配による ブラスター塗り  せっこうボード 厚きは特配による オード 厚きは特配による 不受精層化能せっこうボード直鳴り工法 厚さは特配による 不受精度化能せっこうボード 厚きは特配による 和名橋けい能力ルンツム板 厚さは特配による ロックウール化粧吸音板 厚さは特配による ロックウール化粧吸音板 厚さは特配による にニル床タイル 厚2.0 ビニル床タイル 厚2.0 清接工法 ビニル床シート 厚2.0 清接工法 ビニル床シート 厚4.0 ボタイル 100角  ビニルホンート 「デザイン」 抗菌性ビニル様シート タイルカーベット 厚6.5mm 防意塗装 磁器質タイル 100角  ビニルホ 1+60 木製巾木 1+60 木製巾木 1+50 厚20
L G S - C (防水工事) V W P A P W P P P (左官工事) M M - T P - T (ボード類) G B - R G B - R - G L G B - S C A B D R ( 床 ) V T V S F V S D F V S 1 T C S P F T 1 (巾木) V H W B 花崗岩 ( 雑 ) C R S U F - F V P	シート防水(合成高分子ルーフィングシート)加陸ゴム系シート 金属防水 シーリングを示す  モルタルをリ モルタルをリ 達り厚さは特配による ブラスター塗り  せっこうボード 厚さは特配による せっこうボード 厚さは特配による センニラボード画張り工法 厚さは特配による 不感積層化粧せっこうボード 厚きは特配による カージングせっこうボード 厚きは特配による 細石輪けい酸カルシウム版 厚さは特配による ロックウール化粧吸音板 厚さは特配による ロックウール化粧吸音板 厚さは特配による レニル床シート 厚2.0 (浴接工法) ビニル床シート 厚2.0 (浴接工法) ビニル床シート (デザイン) 抗菌性ビニル床シート (デザイン) 抗菌性ビニルほシート ライルカーベット 厚6.5mm 防塵塗装 磁器質タイル 100角 ビニルホ 1+50 厚20 カーテンレール (シングル) 断熱材現場次付工法 厚30 硬質塩化ビニル管
LGS-C (防水工事) VWPA PWP (左官工事) M M-T P-T (ボード類) GB-R GB-R-GL GB-S-GL GB-S CAB DR (床) VT VS FVSD FVS1 T C SPF T 1 (巾木) V H W B 花崗岩 (雑) CRS UF-F V P SGP P L	シート防水(合成高分子ルーフィングシート)加速ゴム系シート 金属防水 シーリングを示す  モルタルを明 モルタルを明 モルタルをリ 達り厚さは特配による ブラスター塗り  せっこうボード 厚きは特配による オード 厚きは特配による 不受精層化能せっこうボード直鳴り工法 厚さは特配による 不受精度化能せっこうボード 厚きは特配による 和名橋けい能力ルンツム板 厚さは特配による ロックウール化粧吸音板 厚さは特配による ロックウール化粧吸音板 厚さは特配による にニル床タイル 厚2.0 ビニル床タイル 厚2.0 清接工法 ビニル床シート 厚2.0 清接工法 ビニル床シート 厚4.0 ボタイル 100角  ビニルホンート 「デザイン」 抗菌性ビニル様シート タイルカーベット 厚6.5mm 防意塗装 磁器質タイル 100角  ビニルホ 1+60 木製巾木 1+60 木製巾木 1+50 厚20
L G S - C (防水工事) V W P A P W P  (左官工事) M M - T P - T (ボード類) G B - R G B - R - G L G B - S - G L G B - S - T C S P F T 1 (巾木) V H W B 花崗岩 ( 雑 ) C R S U F - F V P S G P P L	シート防水(合成高分子ルーフィングシート)加速ゴム系シート 塗膜防水 シーリングを示す  モルタルで地 モルタルで地 モルタルでは せっこうボード 厚さは特配による ガラスター塗り  せっこうボード原のでは、原子は特配による セっこうボード原のでは、原子は特配による エの世のでは、アージングせっこうボード原のでは、原子は特配による 日のアウール化粧吸音板 厚さは特配による ロックウール化粧吸音板 厚さは特配による ロックウール化粧吸音板 厚さは特配による ロックウール化粧吸音板 厚さは特配による ビニル床シート 厚2.0 (溶接工法) ビニル床シート (デザイン) 抗菌性ビニル床シート (デザイン) 抗菌性ビニル床シート (デザイン) 抗菌性ビニルホシート (アングル) 防密全装  磁器質タイル 100角  ビニルホ 1+90
L G S - C (防水工事) V W P A P W P  (左官工事) M M - T P - T  (ボード類) G B - R G B - R - G L G B - N C G B - S C A B D R  ( 床 ) V T V S F V S D F V S 1 T C S P F T 1 (巾木) V H W 崗 花(雑) C R S U F - F V P S G P P L (その他) V C	シート防水(合成高分子ルーフィングシート)加陸ゴム系シート 金属防水 シーリングを示す  モルタルで地 モルタルをリ 塗り厚さは特記による ブラスター塗り  せっこうボード 厚さは特記による せっこうボード原り、実対 レージングせっこうボード原り、実対 原さは特記による 無石錦付い酸カルシウム板 厚さは特記による ロックウール化粧吸音板 厚さは特記による ロックウール化粧吸音板 厚さは特記による レ・ジングセンこうボード 原2・0 (溶接による ニュールボシート 原2・0 (溶接による ビニル床シート 月2・0 (溶接に法) ビニル床シート (デザイン) 抗菌性ビニル味シート タイルカーベット 厚8・5mm 防塵塗装 温器質タイル 100角 ビニル市 1+50 末製巾木 1+50 東2・0 カーテンレール(シングル) 断熱材現場次付工法 厚3の 硬度塩化ビニル管 配管用鋼管 ビクチャーレール
L G S - C (防水工事) V W P A P W P  (左官工事) M M - T P - T (ボード類) G B - R G B - R - G L G B - S - G L G B - S - T C S P F T 1 (巾木) V H W B 花崗岩 ( 雑 ) C R S U F - F V P S G P P L	シート防水(合成高分子ルーフィングシート)加速ゴム系シート 塗膜防水 シーリングを示す  モルタルで地 モルタルで地 モルタルでは せっこうボード 厚さは特配による ガラスター塗り  せっこうボード原のでは、原子は特配による セっこうボード原のでは、原子は特配による エの世のでは、アージングせっこうボード原のでは、原子は特配による 日のアウール化粧吸音板 厚さは特配による ロックウール化粧吸音板 厚さは特配による ロックウール化粧吸音板 厚さは特配による ロックウール化粧吸音板 厚さは特配による ビニル床シート 厚2.0 (溶接工法) ビニル床シート (デザイン) 抗菌性ビニル床シート (デザイン) 抗菌性ビニル床シート (デザイン) 抗菌性ビニルホシート (アングル) 防密全装  磁器質タイル 100角  ビニルホ 1+90

改作	多後	外部仕上表
屋上	屋根	断熱材 t = 30+ VWPA ( 絶縁断熱工法 )
		笠木:高圧洗浄+ PWP
	立上り	M-T+VWPA立上げ
	鳩小屋	屋根:M+PWP 壁:CON-FA+FT-1 立上り:VWPA
	立てどい	硬質塩化ビニルパイプ (カラー) 100φ
	飾桝	硬質塩化ビニル (カラー)
	ドレン	改修ドレン1000 月
外壁		既設リシン吹付面高圧洗浄+下地処理+防水型複層塗材E(低汚染型塗料)
	靴洗場	人造石研出しH=950 ケレンRA種
	縦樋	硬質ポリ塩化ビニル管製縦樋φ100新設(カラー)(飾枡共)
バルコニー	-	床:高圧洗浄+PWP
		上裏:高圧洗浄+可とう形外装薄塗材Si
		手摺: ケレンR B種+D P
玄関庇		既設特殊防水モルタル 高圧洗浄+VWPA(立上り共)
		パラペット天端: 既設特殊防水モルタル ケレン+VWPA+端部アングル押え
玄関ポーラ	£	床:M+タイル貼り 段鼻:段鼻タイル貼り
外部鉄骨間	静段	ケレンR B種+D P

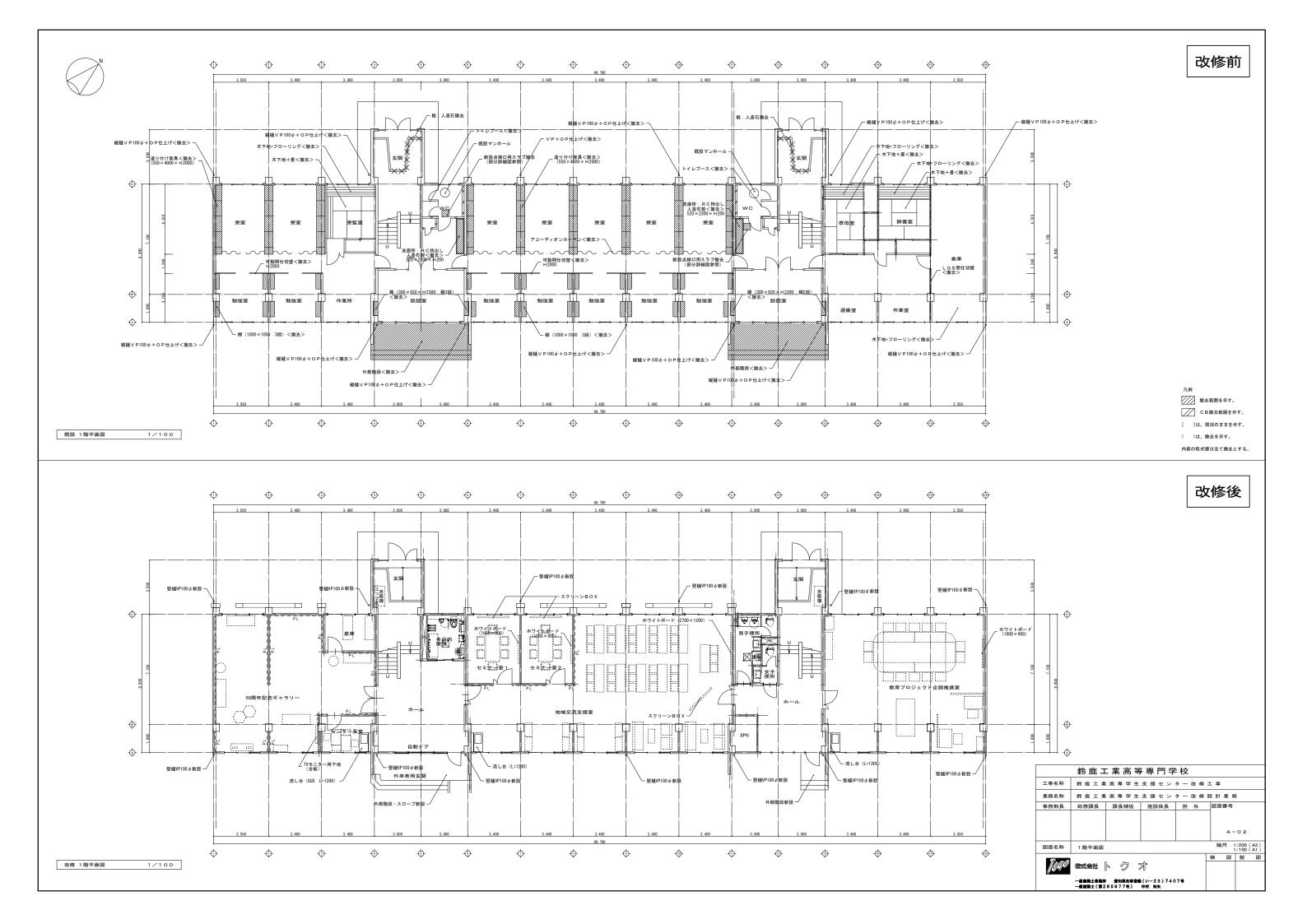
改任	修前	外部仕上表						
屋上	屋根	[M-T]+アスファルト防水<撤去>+砂利敷き30<砂利のみ犬走りに再利用撤去>						
	パラペット	[アスファルト防水層立上付防水モルタル塗り]						
		庇鼻:M-T+リシン吹付仕上げく撤去> 庇裏:[M-T+VP塗装]						
	玄関庇	特殊防水モルタル塗り 庇鼻:コンクリート打ち放し 庇裏:M-T+VP塗装						
外壁		「M-T+ガンリシン吹付仕上げ]						
77至	靴洗場	[M-1+カンサンンの特征エリ] [人造石研出しH=950]						
	縦樋	VP+OP仕上げ<撤去>						
バルコニ-	_	床:[防水モルタル塗り]						
		上裏:[コンクリート打ち放しの上、白セメント吹付]						
		手摺:[スチール手摺+CP塗装]						
玄関ポー	F	[M-T金コテ押え]						
		段鼻:タイル貼り<撤去>						
外部鉄骨牌	<b> </b>	[鉄骨造+OP塗装]						

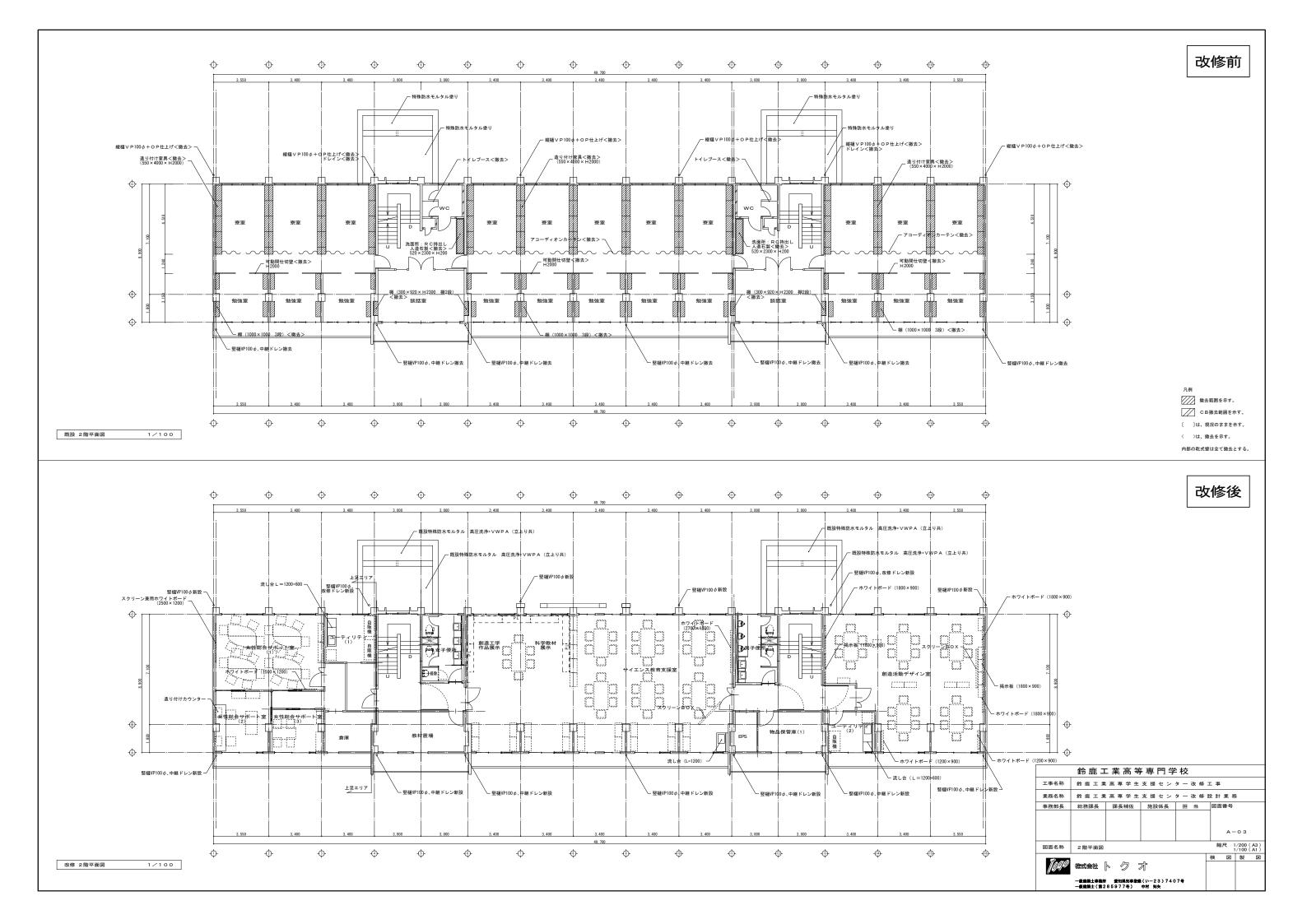
タイル								
記号	施工箇所	部 位	寸法(呼称)	生 地	うわぐすり	役 物	備考	
T 1	玄関・ポーチ	床	100角	磁器質	無	有		

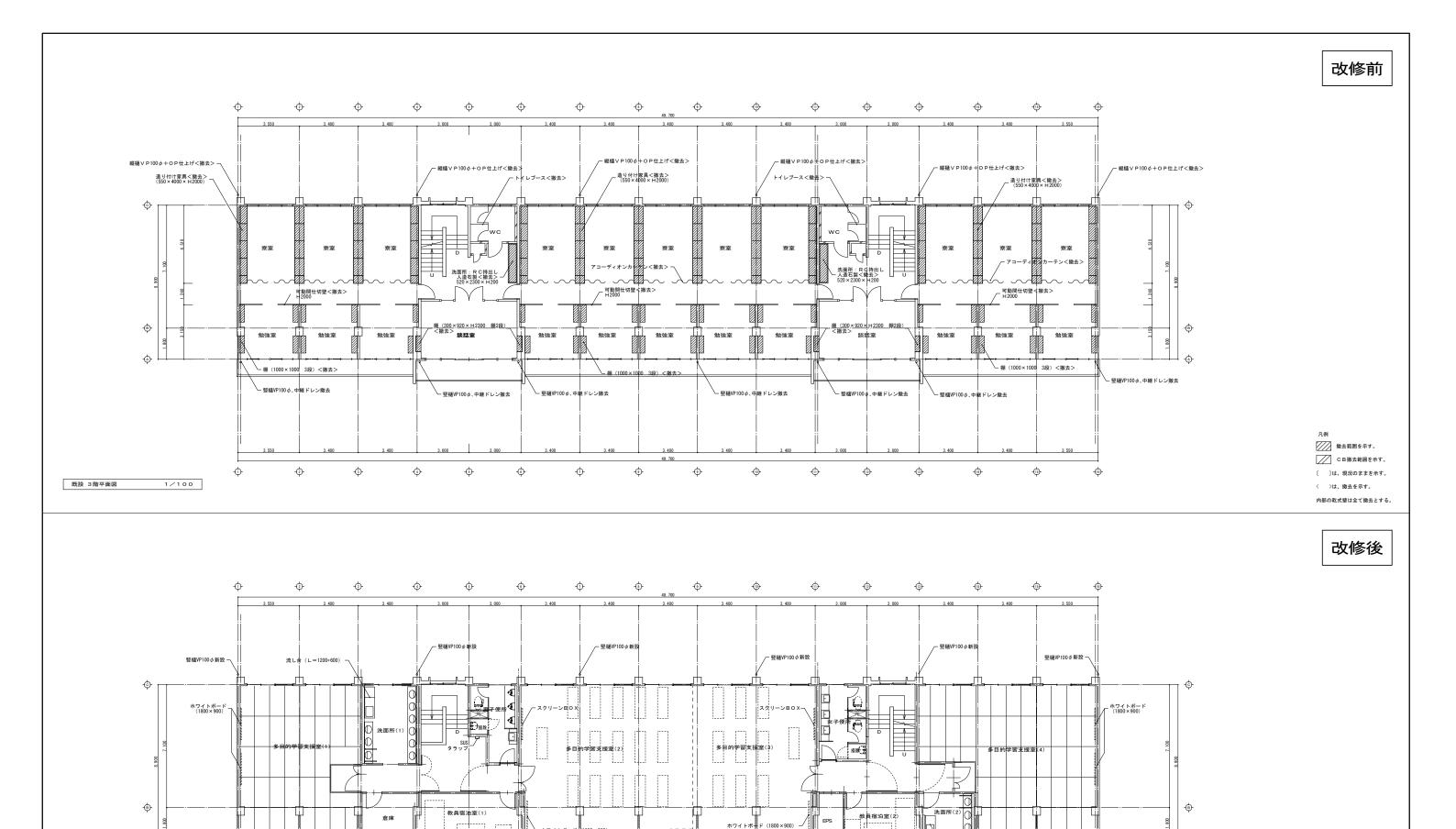
	改修後	内部仕上表						1	
階	室名	床	巾木	壁	壁仕上	天井	天井高	室名札	備考
1	玄関	M+T1	花崗岩	LGS-W4	EP-G	GB-NCF9.5	2 2 5 0		
	ホール	M-T+VS	VH	M-T , LGS-W3 , W4 , W5	EP-G	GB-NC厚9.5 梁型:Y方向 GB-R-GL厚9.5、X方向 部分補修の上 EP	2 2 5 0		
	50周年記念ギャラリー	M-T+VS(木目)	VH	LGS-W1,W4,GB-R-GL9.5	EP-G	GB-NC厚9.5 梁型: Y方向 GB-R-GL厚9.5、X方向 部分補修の上 EP	2 2 5 0	0	PL、TV用下地合板
	センター長室	M-T+VS	VH	LGS-W4, W5	EP-G	GB-NC厚9.5 梁型:Y方向 GB-R-GL厚9.5、X方向 部分補修の上 EP	2 2 5 0	0	流し台、ライニング
	倉庫	M-T+VS	VH	LGS-W1,W4	EP-G	GB-NC厚9.5 梁型: Y方向 GB-R-GL厚9.5、X方向 部分補修の上 EP	直天	0	
	地域交流支援室	M-T+VS	VH	LGS-W1,W4	EP-G	GB-NC厚9.5 梁型: Y方向 GB-R-GL厚9.5、X方向 部分補修の上 EP	2 2 5 0	0	流し台、ライニング、ホワイトボード、スクリーンBOX
	セミナー室 1	M-T+VS	VH	LGS-W1,W4	EP-G	GB-NC厚9.5 梁型: Y方向 GB-R-GL厚9.5、X方向 部分補修の上 EP	2 2 5 0	0	ホワイトボード、スクリーンBOX
	セミナー室 2	M-T+VS	VH	LGS-W1, W4	EP-G	GB-NC厚9.5 梁型: Y方向 GB-R-GL厚9.5、X方向 部分補修の上 EP	2 2 5 0	0	ホワイトボード、スクリーンBOX
	教育プロジェクト 企画推進室	M-T+VS	VH	LGS-W2,W4,GB-R-GL9.5	EP-G	GB-NC厚9.5 梁型: Y方向 GB-R-GL厚9.5、X方向 部分補修の上 EP	2 2 5 0	0	流し台、ライニング、ホワイトボード
	多目的便所	M-T+VS	VH	LGS-W3、W4	EP-G	GB-NC厚9.5 梁型: Y方向 GB-R-GL厚9.5、X方向 部分補修の上 EP	2 2 5 0	0	
2	女性総合サポート室 (1)(2)(3)	M-T+TC	VH	LGS-W1, W4, GB-R-GL9.5	EP-G	GB-NC厚9.5 梁型: Y方向 GB-R-GL厚9.5、X方向 部分補修の上 EP	2 2 5 0	0	家具B、ホワイトボード
	倉庫	M-T+VS	VH	L G S - W 4	EP-G	GB-NC厚9.5 梁型: Y方向 GB-R-GL厚9.5、X方向 部分補修の上 EP	2 2 5 0	0	
	サイエンス教育支援室	M-T+VS	VH	LGS-W4、GB-R-GL9.5	EP-G	GB-NC厚9.5 梁型: Y方向 GB-R-GL厚9.5、X方向 部分補修の上 EP	2 2 5 0	0	流し台、ライニング、ホワイトボード、スクリーンBOX、PL
	創造活動デザイン室	M-T+VS	VH	LGS-W2、W4、GB-R-GL9.5	EP-G	GB-NC厚9.5 梁型: Y方向 GB-R-GL厚9.5、X方向 部分補修の上 EP	2 2 5 0	0	流し台、ライニング、ホワイトボード、掲示板、スクリーンBOX
	ユーティリティ (1)(2)	M-T+VS	VH	LGS-W1,W4,W5	EP-G	GB-NC厚9.5 梁型: Y方向 GB-R-GL厚9.5、X方向 部分補修の上 EP	2 2 5 0	0	流し台、ライニング
	教材置場・物品保管庫	M-T+VS	VH	LGS-W2,W4,W5	EP-G	GB-NC厚9.5 梁型: Y方向 GB-R-GL厚9.5、X方向 部分補修の上 EP	直天	0	
						M2. ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (			
3	多目的学習支援室 (1)(4)	M+根太45角+合板 t 12+スタイロ畳	畳寄せ	LGS-W1, W4, GB-R-GL9.5	vc	GB-NC厚9.5(木目調) 梁型: Y方向 GB-R-GL厚9.5、X方向 部分補修の上 EP	2150	0	ホワイトボード
	多目的学習支援室 (2)(3)	M-T+VS	VH	LGS-W2,W4,GB-R-GL9.5	EP-G	GB-NC厚9.5 梁型: Y方向 GB-R-GL厚9.5、X方向 部分補修の上 EP	2 2 5 0	0	移動間仕切壁、ホワイトボード、スクリーンBOX
	教員宿泊室(1)(2)	M-T+VS	VH	LGS-W2、W4	EP-G	GB-NC厚9.5 梁型: Y方向 GB-R-GL厚9.5、X方向 部分補修の上 EP	2 2 5 0	0	
	洗面所(1)(2)	M-T+VS	VH	LGS-W1,W4	EP-G	GB-NC厚9.5 梁型: Y方向 GB-R-GL厚9.5、X方向 部分補修の上 EP	2250	0	流し台、ライニング
	倉庫	M-T+VS	VH	LGS-W1,W4	EP-G	EP	直天	0	
$\neg$									
共通部分	ホール	M-T+VS	VH	LGS-W1, W2, W3	EP-G	GB-NC厚9.5 梁型: Y方向 GB-R-GL厚9.5、X方向 部分補修の上 EP	2 2 5 0		
	便所	M-T+VS	VH	LGS-W3,W4	EP-G	GB-NC厚9.5 梁型: Y方向 GB-R-GL厚9.5、X方向 部分補修の上 EP	2 2 5 0	0	トイレブース、汚垂れ石(男子便所)
	階段	M-T+VS	VH	M-T	EP-G	GB-NC厚9.5 梁型: Y方向 GB-R-GL厚9.5、X方向 部分補修の上 EP	2 2 5 0	0	
	EPS	M-T+SPF	-	LGS-W3,W4,W5	EP	EP	直天	0	
1									
$\dashv$									
_	共 通 事 項			1				1	-
1 2 3	梁型は、既設プラスタ 既存建具は、特記以外 せっこうボード目地処 ・吹付下地、塗装下地 ・上記以外:突付けエ	理の区分 :ジョイントエ法	ル補修をするものとする	5 .					

	改修前	内部仕上表								
階	室名	床	巾木		壁	壁仕上	天井	天井高	室名札	備考
	玄関	人造石研出し<撤去>	[人研]	90	M-T<撤去>	腰VP、壁P-T	プラスター塗り、梁型共 <y方向梁部撤去></y方向梁部撤去>	2550		
	ホール	[M-T]+VT<撤去>	<b>モルタル+ V P &lt;撤去&gt;</b>	100	M-T < 撤去>	腰 V P 、壁 P-T	プラスター塗り、梁型共 <y方向梁部撤去></y方向梁部撤去>	2550		
	談話室	[M-T]+VT<撤去>	[ラワン含板+0P]	100	[M-T]	多彩模様塗料	プラスター塗り、梁型共 <y方向梁部撤去></y方向梁部撤去>	2550		
١.	寮母室・静養室	木下地+畳、フローリング<撤去>	豊寄せく撤去>	-	[M-T]	砂混入樹脂塗料	プラスター塗り、梁型共 <y方向梁部撤去></y方向梁部撤去>	2 4 0 0		
'	倉庫	[M-T]+VS<撤去>	[ラワン含板+OP]	100	[M-T]	コテ研き	プラスター塗り、梁型共 <y方向梁部撤去></y方向梁部撤去>	2550		
	談話室	[M-T]+VT<撤去>	[ラワン合板+OP]	100	[M-T]	多彩模様塗料	プラスター塗り、梁型共 <y方向梁部撤去></y方向梁部撤去>	2階 2550 3階 2300		棚<搬去>
	寮室	[M-T]+VT ;1F一部TC、2F一部カーペット<撤去>	[ラワン含板+OP]	100	[M-T]	腰 V P 、壁 P-T	プラスター塗り、梁型共 <y方向梁部撤去></y方向梁部撤去>	2階 2550 3階 2300		棚・アコーディオンカーテン<撤去>
	勉強室	[M-T]+VT<撤去>	[ラワン含板+OP]	100	[M-T]	腰VP、壁P-T	プラスター塗り、梁型共 <y方向梁部撤去></y方向梁部撤去>	2階 2550 3階 2300		棚・スチールパーティション<撤去>
各階	廊下	[M-T]+VT<撤去>	[ラワン含板+OP]	100	[M-T]	腰VP、壁P-T	プラスター塗り、梁型共 <y方向梁部撤去></y方向梁部撤去>	2階 2550 3階 2300		
共通	階段	[M-T]+特殊ペンキ塗り<撤去>	[もりル+VP]	100	M-T<撤去>	腰VP、壁P-T	有孔ブラスター目透し貼り+VP	2階 2550 3階 2300		
	便所	M+モザイクタイル<撤去>	モザイクタイル<撤去>	_	[M-T]	モザイクタイル<撤去>	耐水ボード目透し貼り+VP	2階 2550 3階 2300		
1			1					1		

	鈴 鹿 工 業 高 等 専 門 学 校					
	工事名称	鈴鹿工業	高專学生	支援セン	ター改修	工事
	業務名称	鈴鹿工業	高專学生	支援セン	ター改修	設計業務
	事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	図面番号
凡例						
[ ]は、現況のままを示す。						A-01
< >は、撤去を示す。	図面名称	仕上表				縮尺 _
						拾 図 製 図







ф-

ф-

─ 竪樋VP100φ、中継ドレン新設

-(12)-

-(13)-

─ 竪樋VP100 ø、中継ドレン新設

4

竪樋VP100φ、中継ドレン新設 ー

1/100

改修 3階平面図

<del>(</del>2)-

4

4

- 竪樋VP100φ、中継ドレン新設

\$

**(** 

─ 竪樋VP100φ、中継ドレン新設

Ф

鈴鹿工業高等専門学校

工事名称 鈴鹿工業高専学生支援センター改修工事

- 根連集士事務所 ・ 愛知県知事登録(いー23)7407号 - 銀連集士(第285977号) ・ 中村 知矢

図面名称 3階平面図

DOP WELSELL ► 9 才

 業務名称
 鈴 鹿 工 業 高 専 学 生 支 援 セ ン タ ー 改 修 設 計 業 務

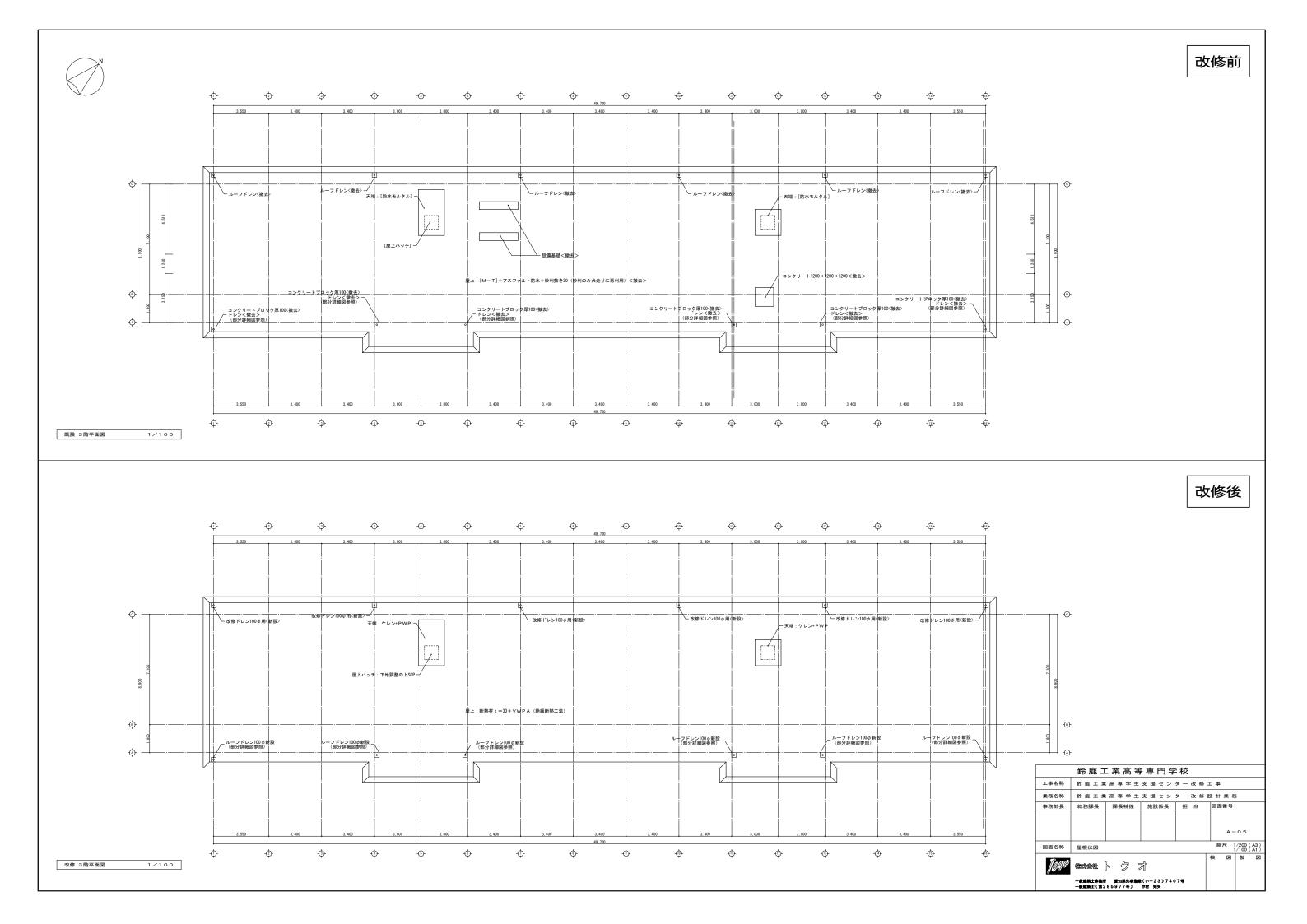
 事務部長
 総務課長
 課長補佐
 施設係長
 担 当
 図面番号

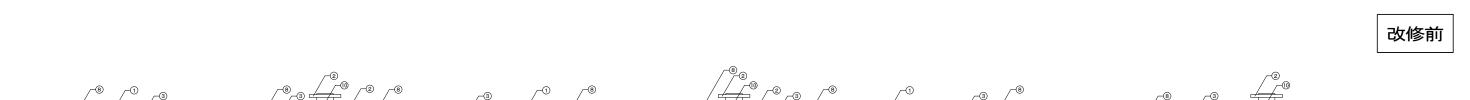
縮尺 1/200 (A3) 1/100 (A1)

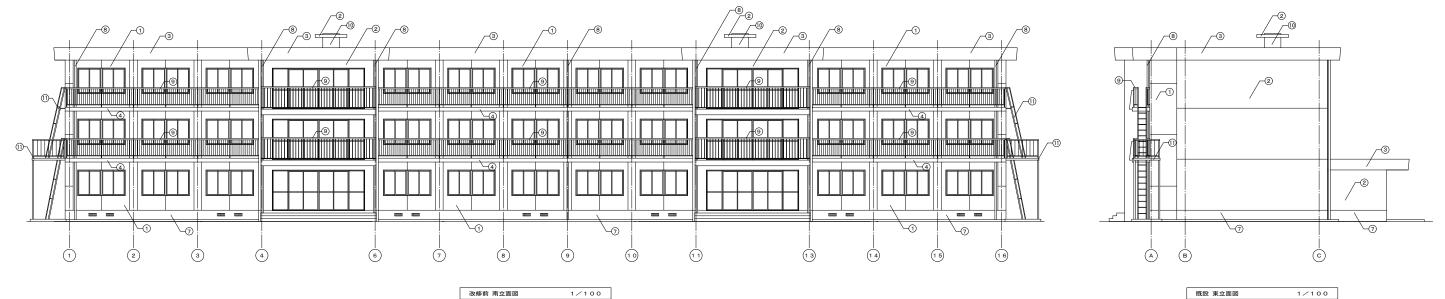
検 図 製 図

竪樋VP100 φ、中継ドレン新設 △

<del>-(15)-</del>



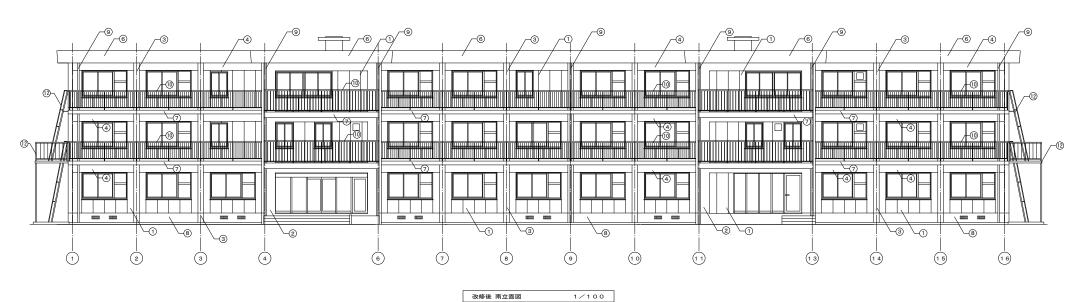


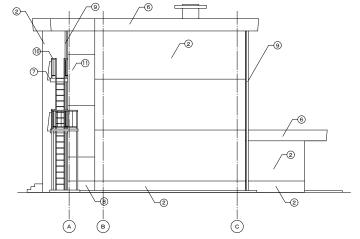


凡例 〈 〉撤去 [ ]現況のま

改修前	改修前 凡例								
1	外壁 ラスシート+M+T+リシン吹付〈撤去〉	6	外壁梁 [M-T+ガンリシン吹付]	11)	スチール OP				
2	外壁 [M-T+ガンリシン吹付]	7	巾木 M-T 刷毛引 (撤去(南面のみ))	12	-				
3	庇鼻 [M-T+リシン吹付]	8	竪樋 VP100 φ 0P 〈撤去〉	13	-				
4	庇見付 [M-T+リシン吹付]	9	手摺 [スチール製手摺 OP]	(14)	-				
(5)	<b>外壁柱 [M-T+ガンリシン吹付]</b>	(10)	M-T	(15)	-				

## 改修後





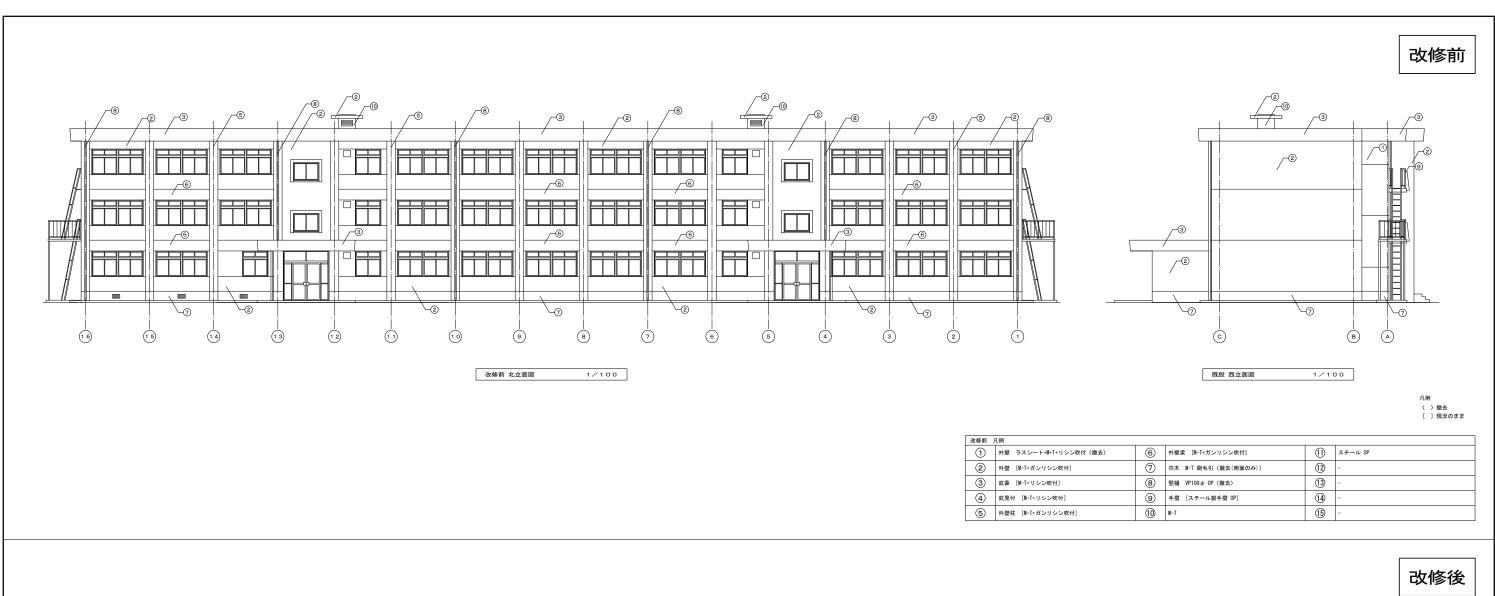
既設 東立面図 1/100

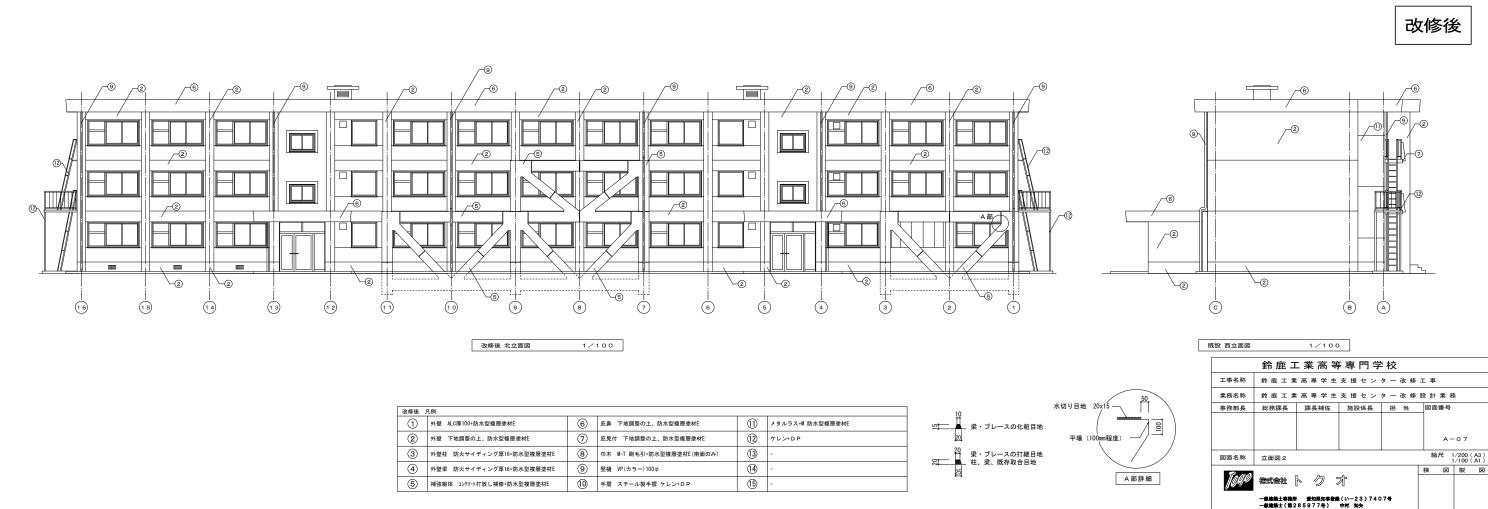
	Tigge
	図面名称
	事務部長
	A-100 to 115

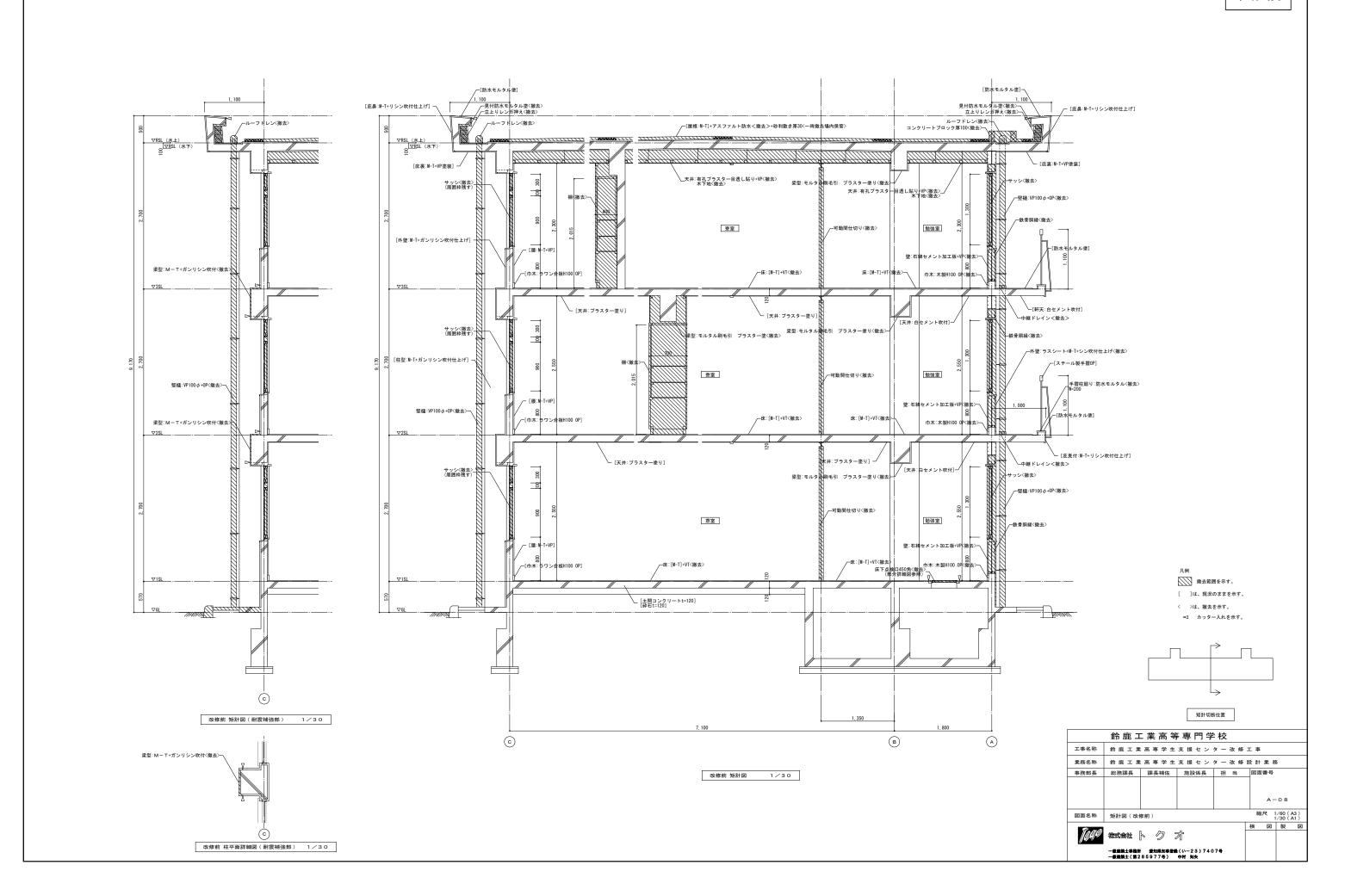
	鈴鹿コ	業高等	事門学	单校	
工事名称	鈴鹿工業	高專学生	支援セン	ター改修コ	事
業務名称	鈴鹿工業	高專学生	支援セン	ター改修記	设計業務
事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	図面番号
					A-06
図面名称	立面図 1				縮尺 1/200 (A3) 1/100 (A1)
					te (20) (84) (27)

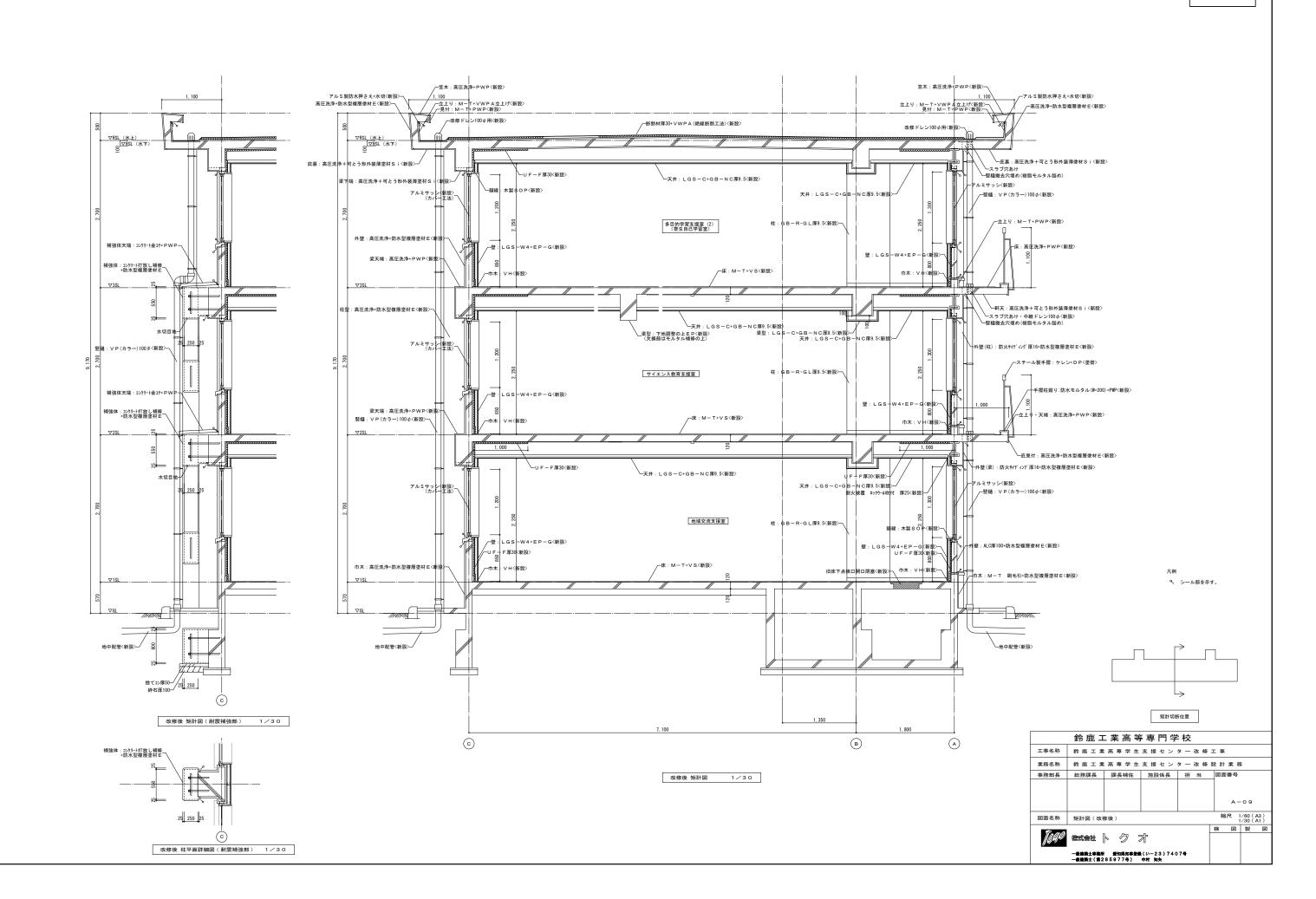
		- 銀建築士事務所 - 愛知県知事登録(いー23)7407号 - 銀建築士(第285977号) - 中村 - 知矢				
	[[0]Q]@	株式会社 ► 夕 才				
ſ			検	X	20U 20U	-
	図面名称	立面図1	縮尺		/200 (	

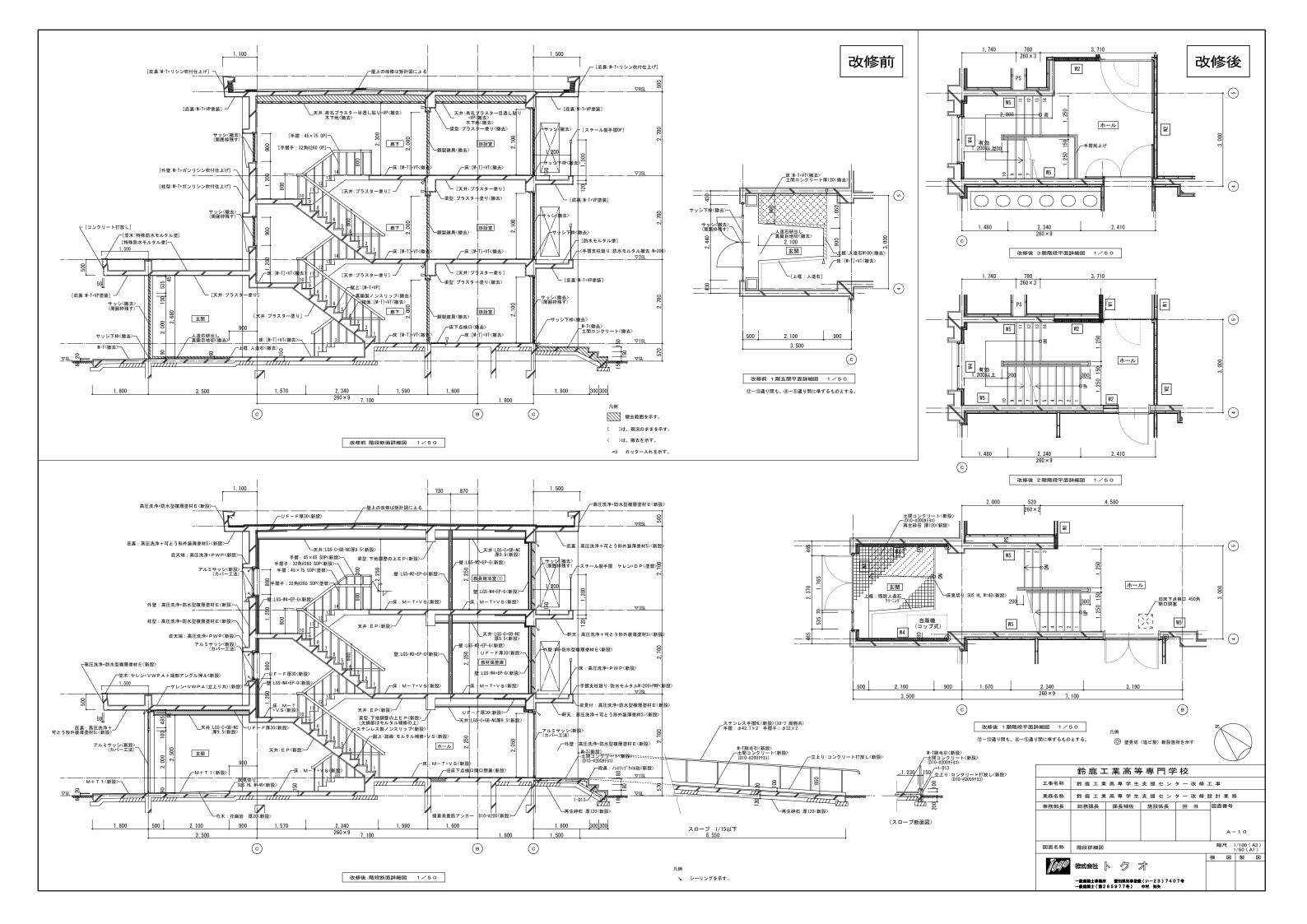
改修後	改修後 凡例								
1	外壁 ALC厚100+防水型複層塗材E	6	庇鼻 下地調整の上、防水型複層塗材E	11	メタルラス+M 防水型複層塗材E				
2	外壁 下地調整の上、防水型複層塗材E	7	庇見付 下地調整の上、防水型複層塗材E	12	ケレン+DP				
3	外壁柱 防火サイディング厚16+防水型複層塗材E	8	巾木 M-T 刷毛引+防水型複層塗材E(南面のみ)	13	-				
4	外壁梁 防火サイディング厚16+防水型複層塗材E	9	竪樋 VP(カラー)100φ	14)	-				
(5)	補強躯体 コンクリート打放し補修+防水型複層塗材E	10	手摺 スチール製手摺 ケレン+DP	15	-				

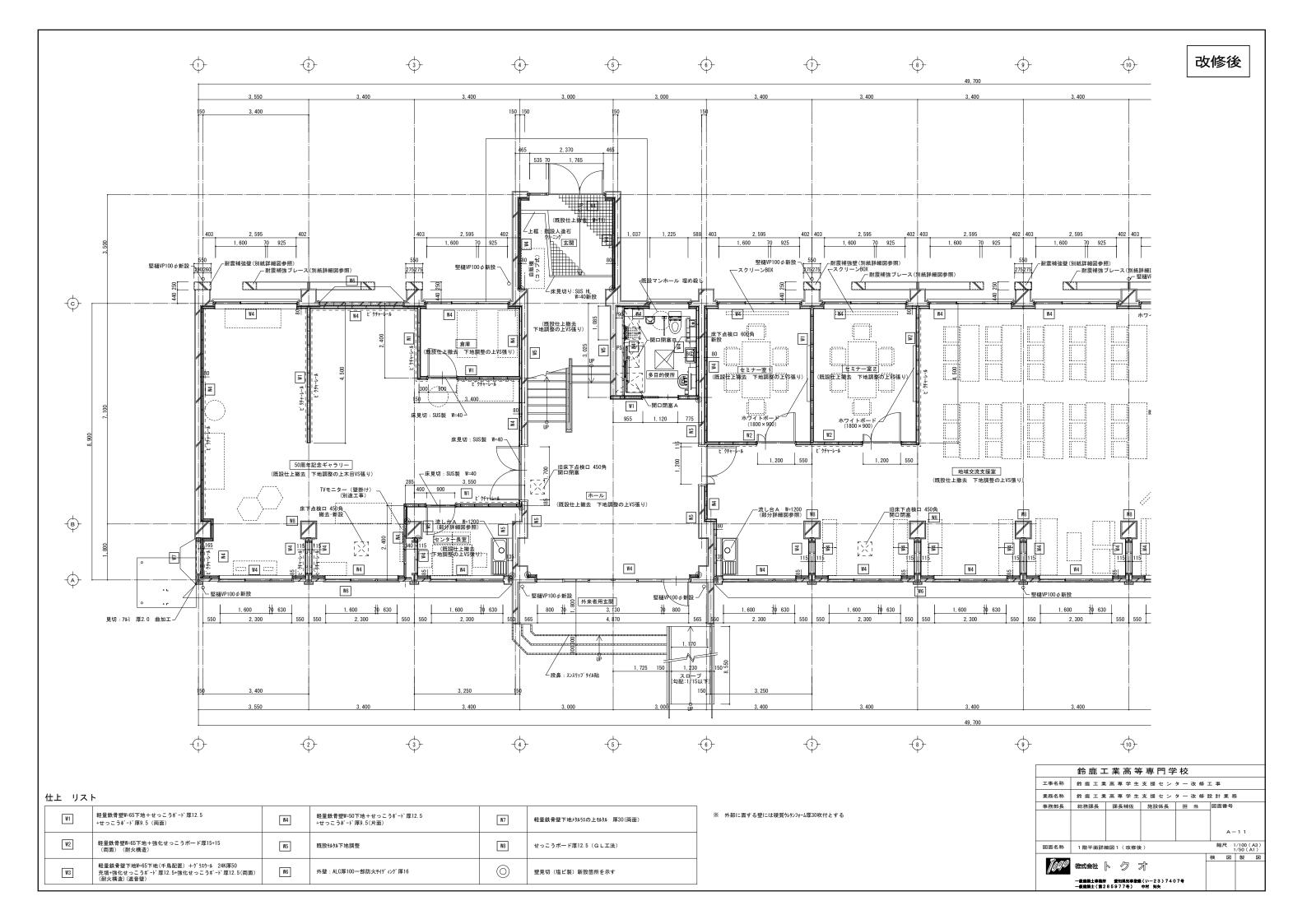


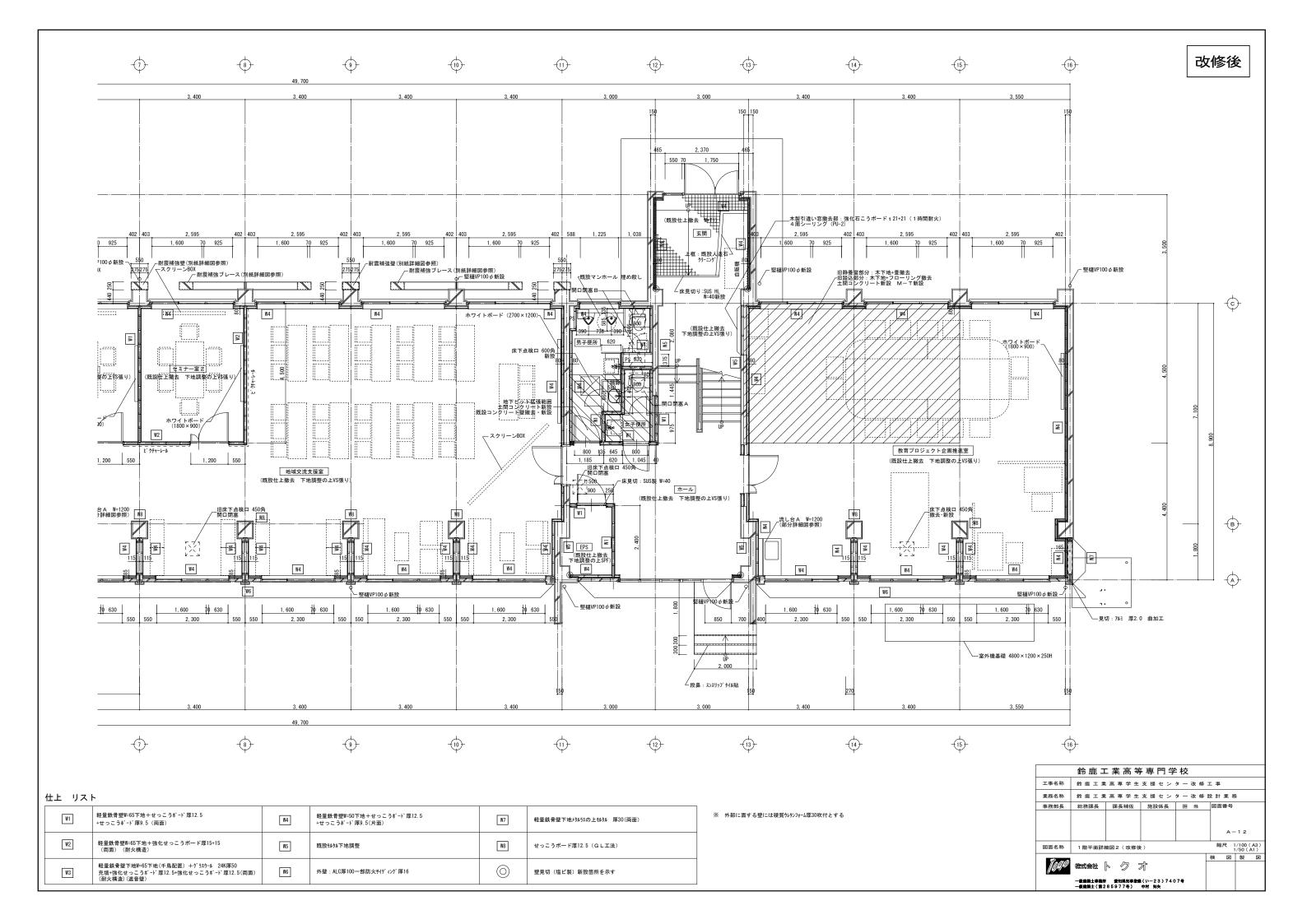


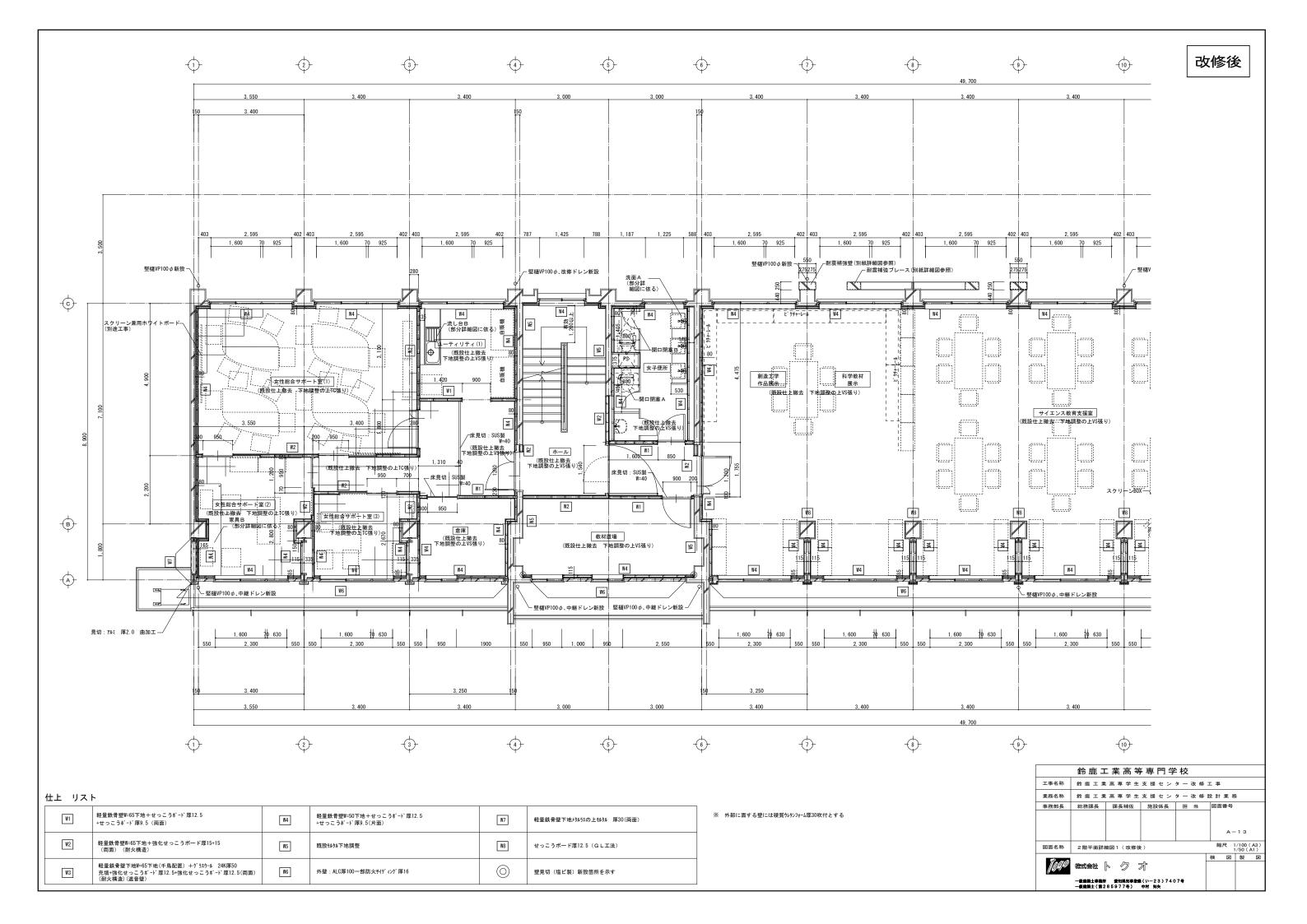


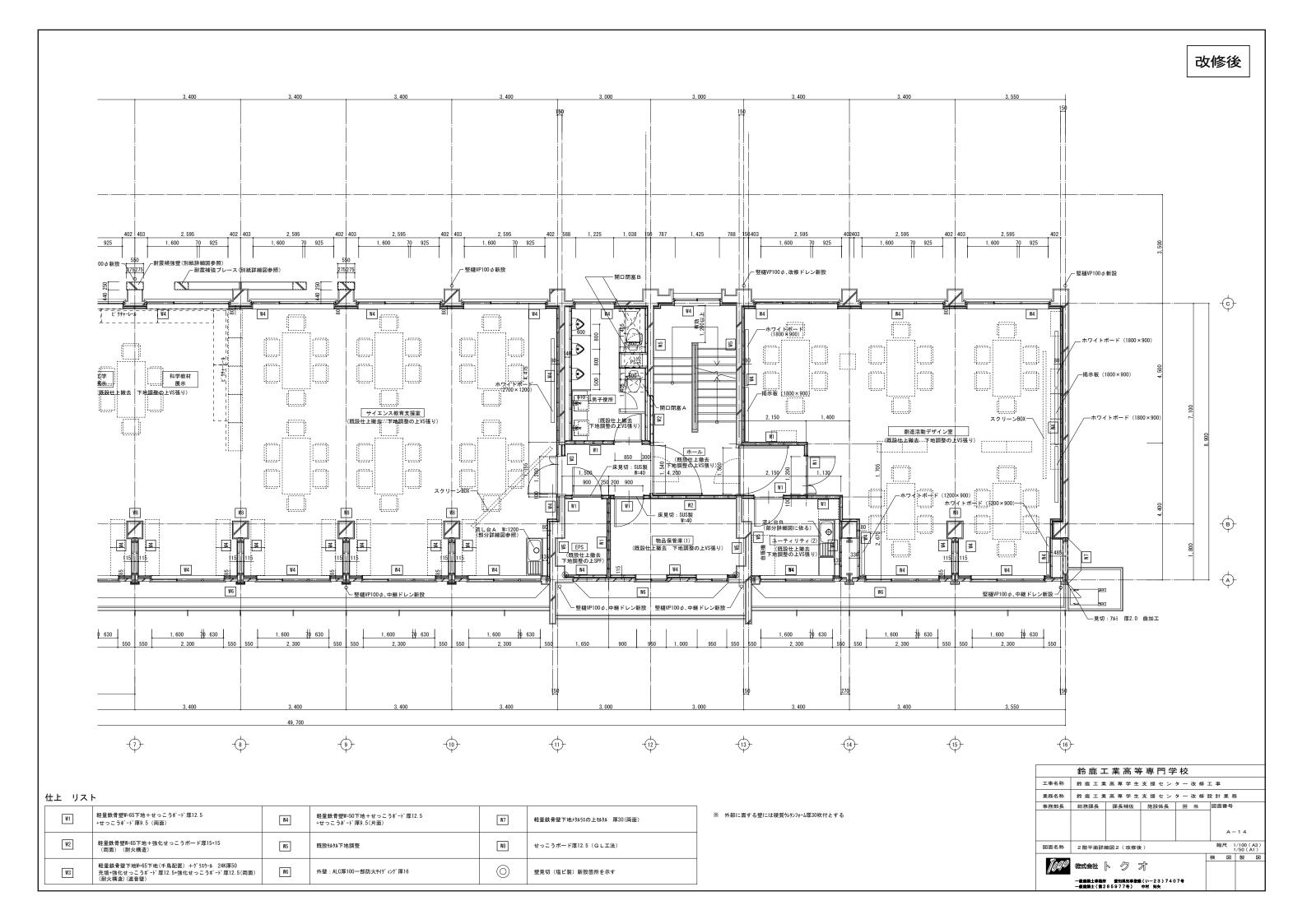


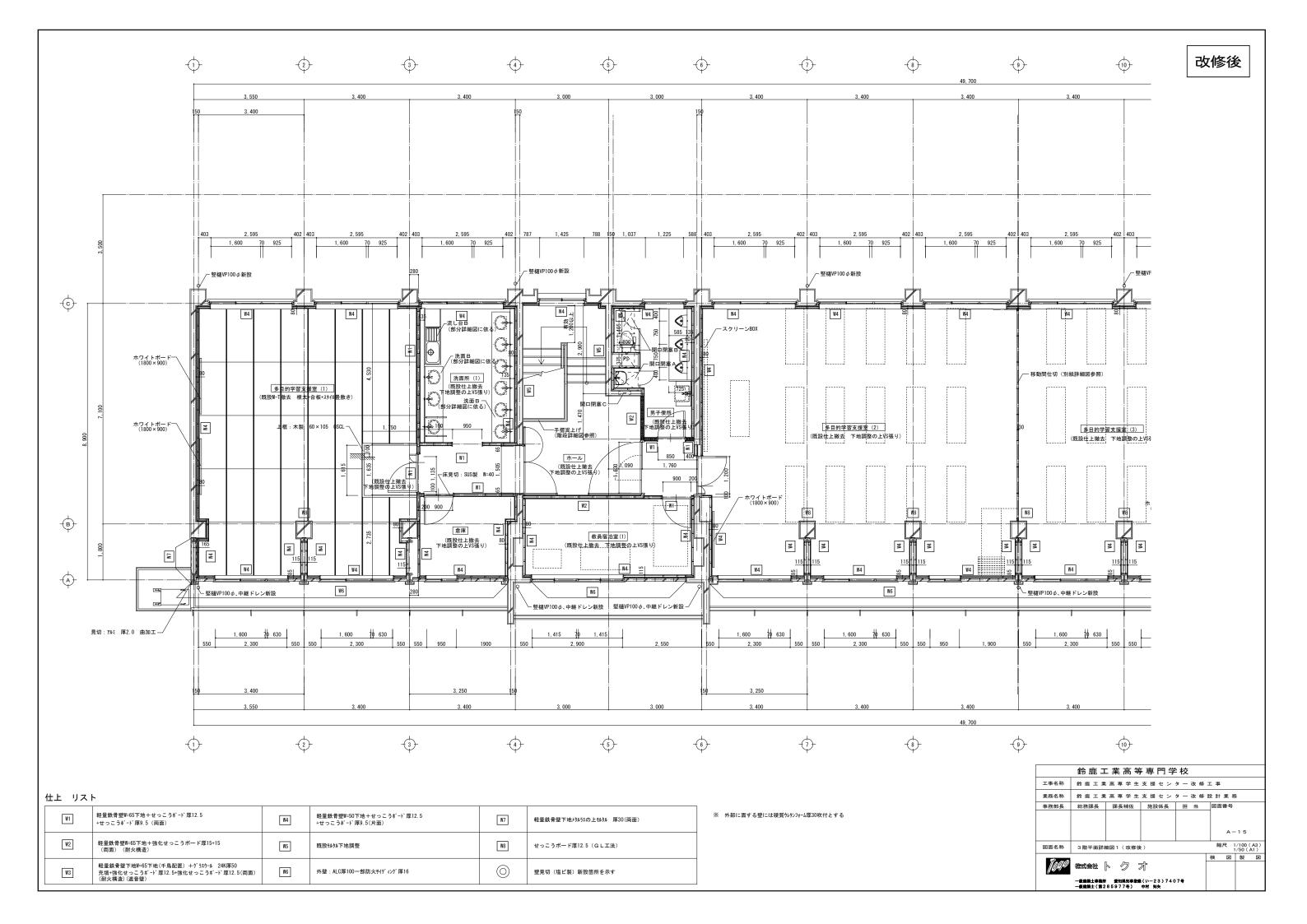


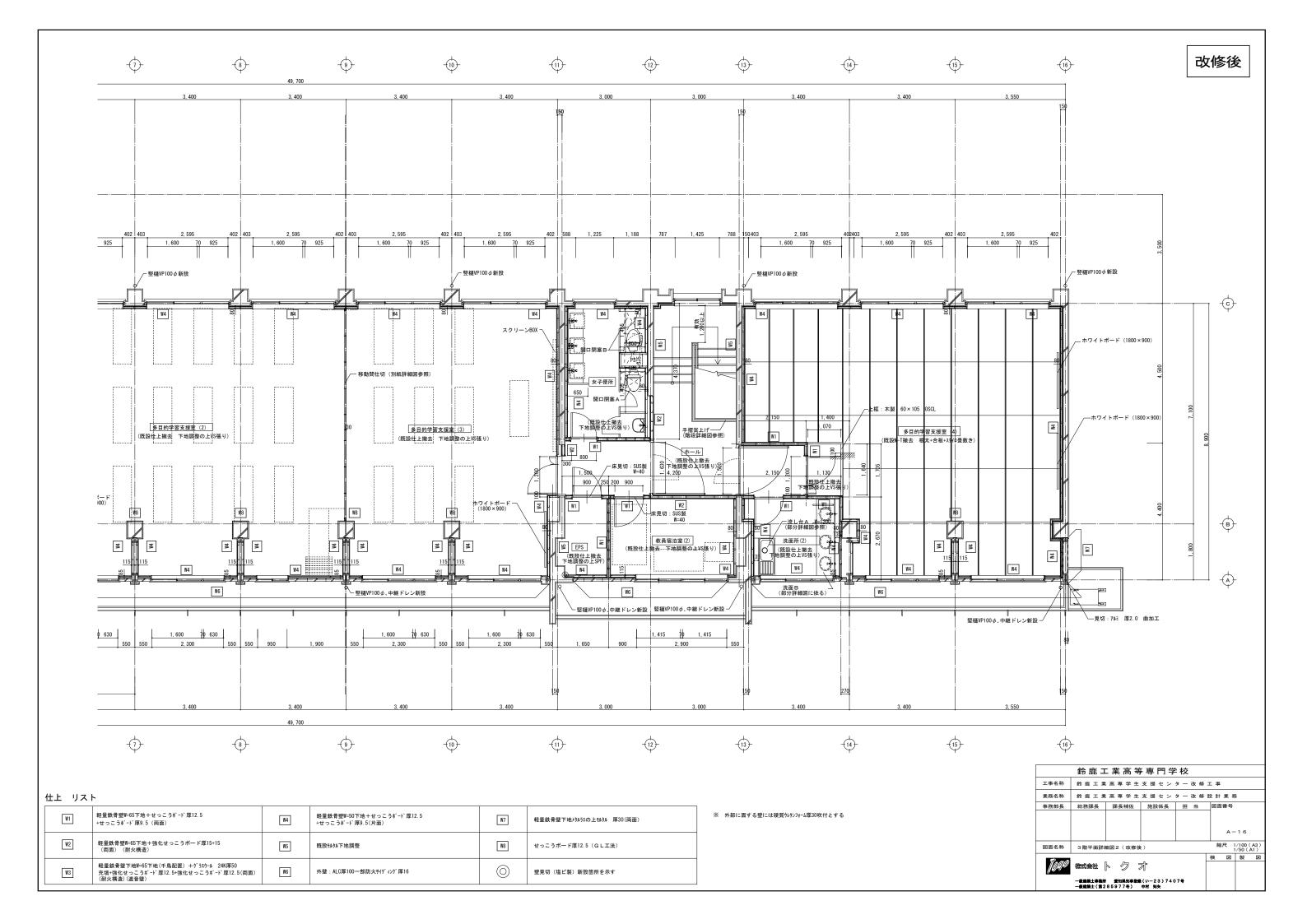


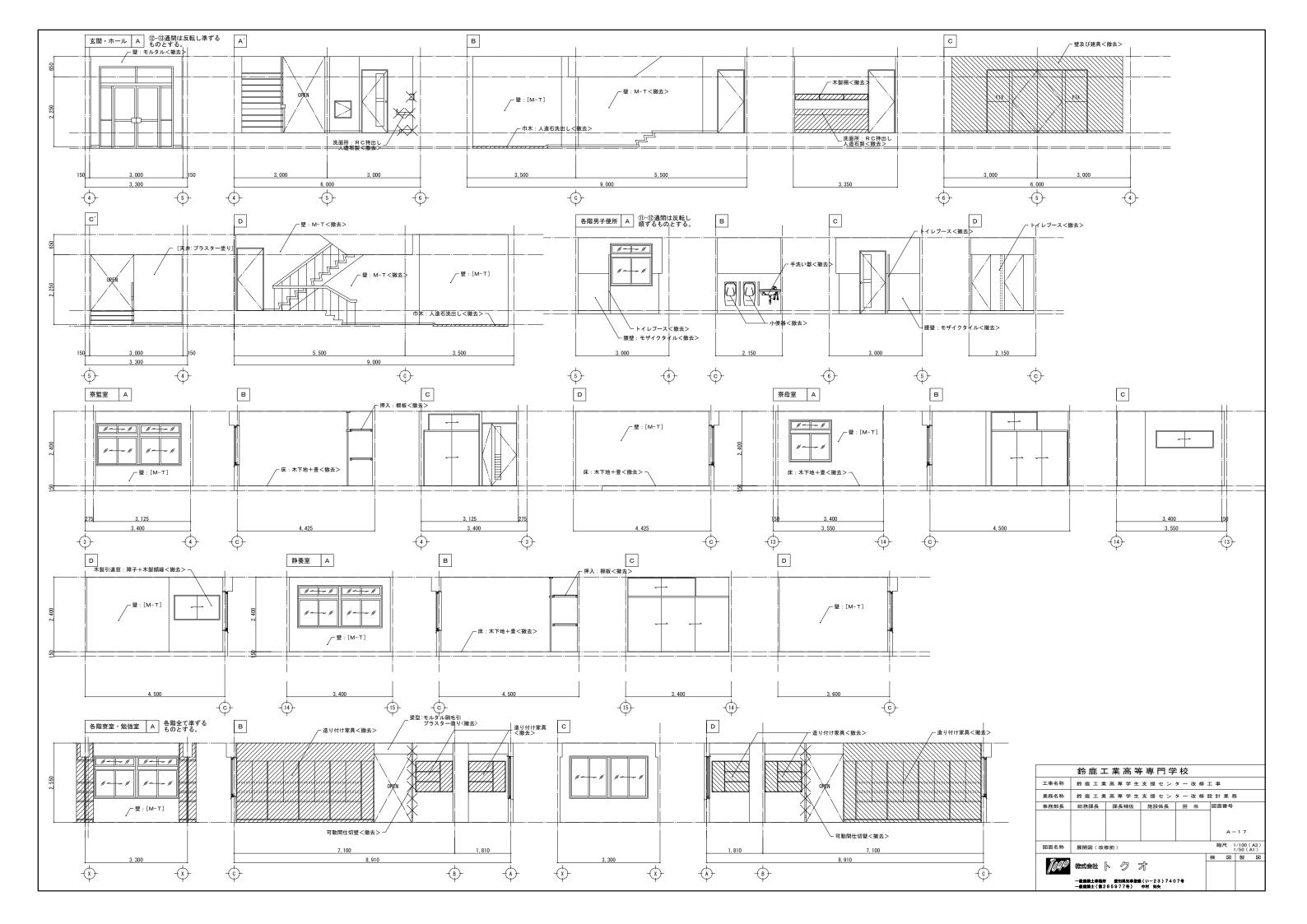


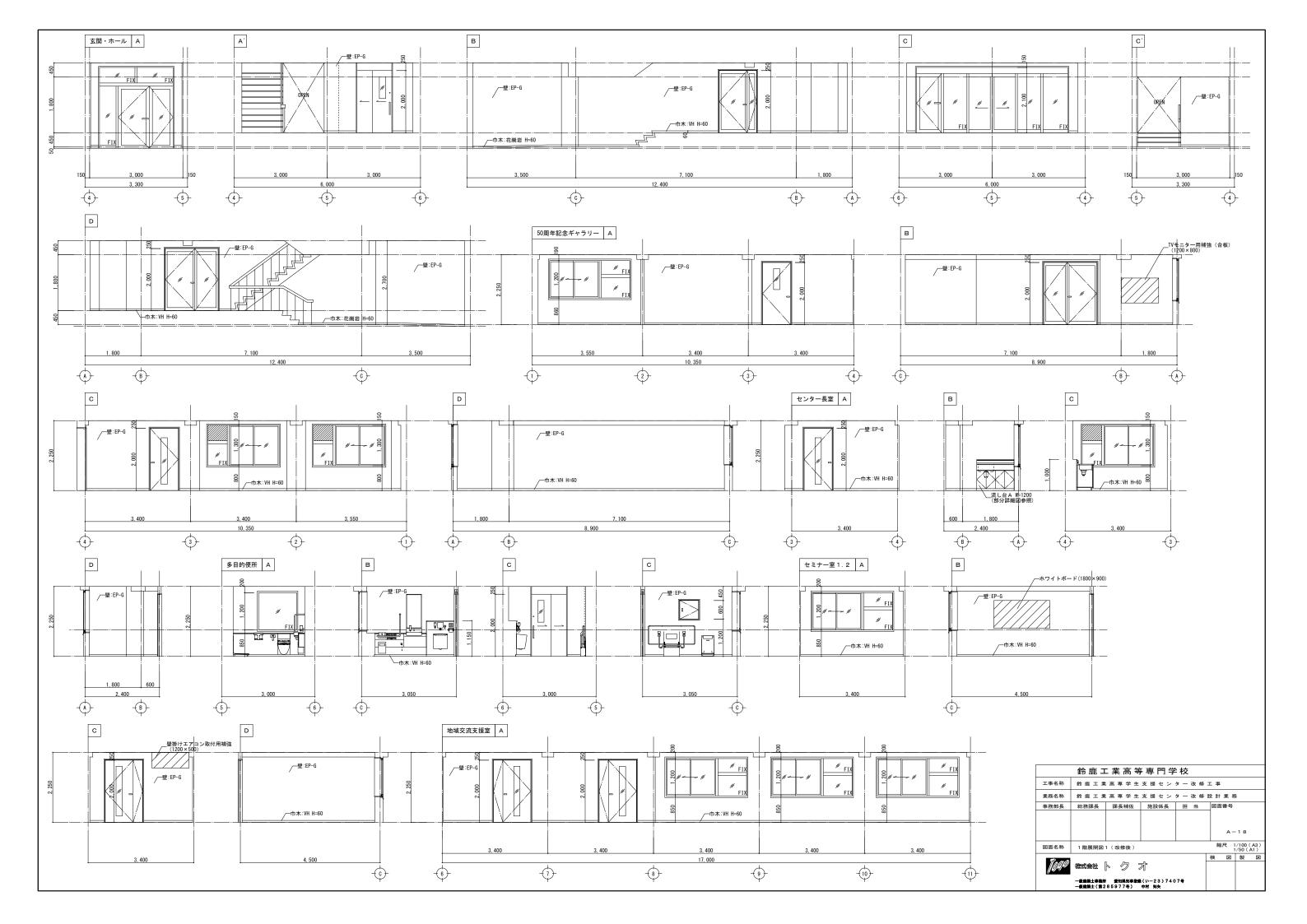


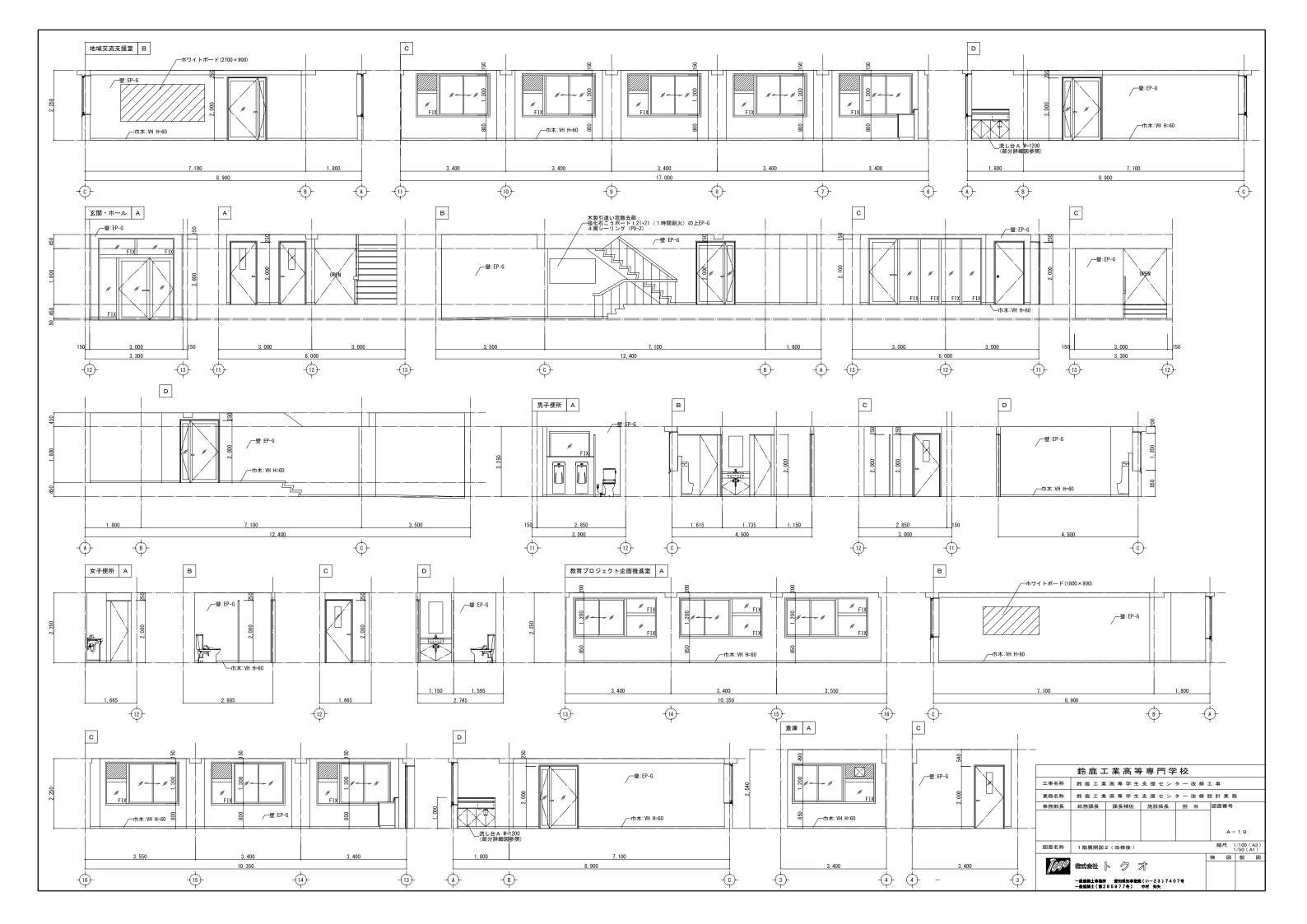


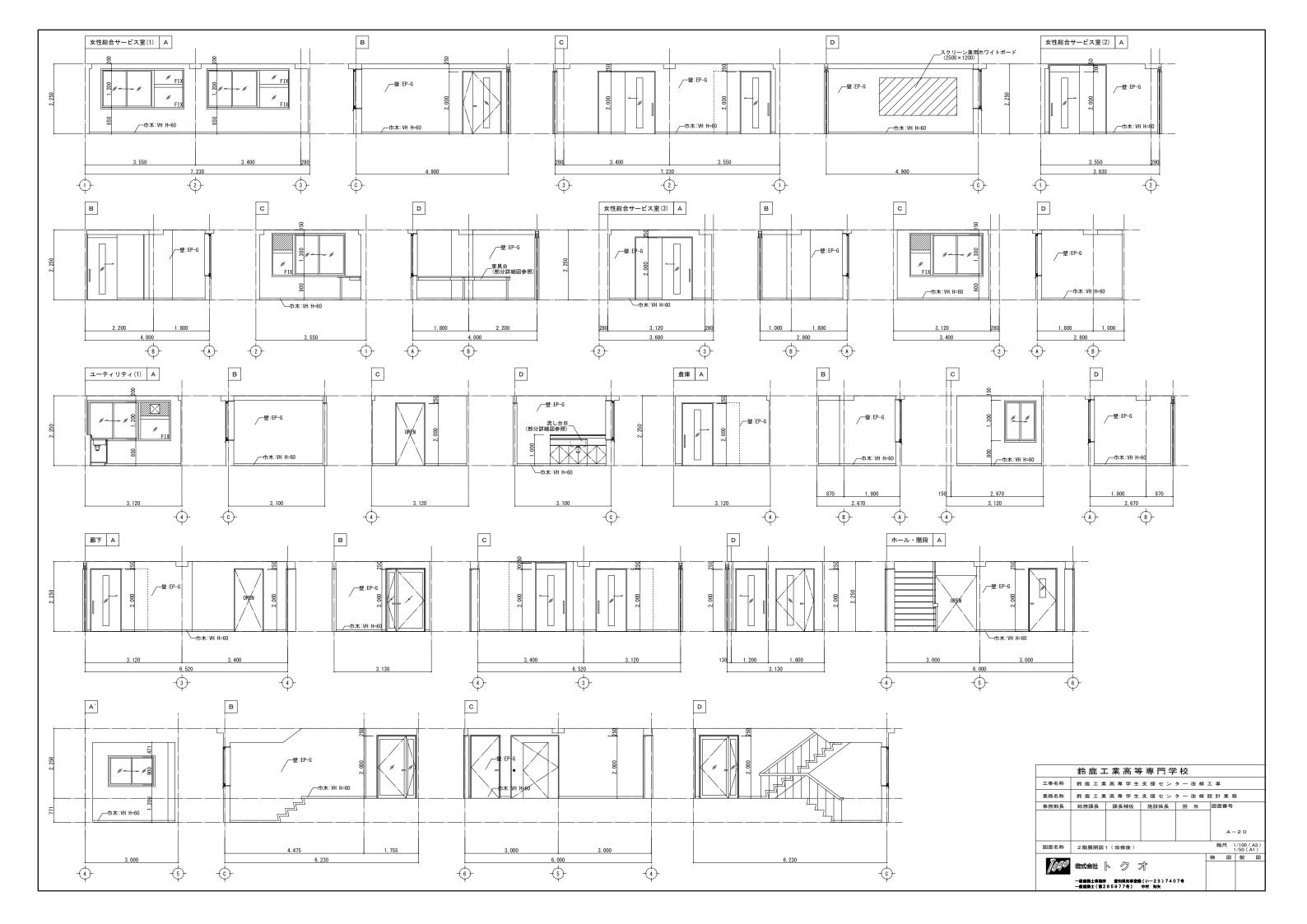


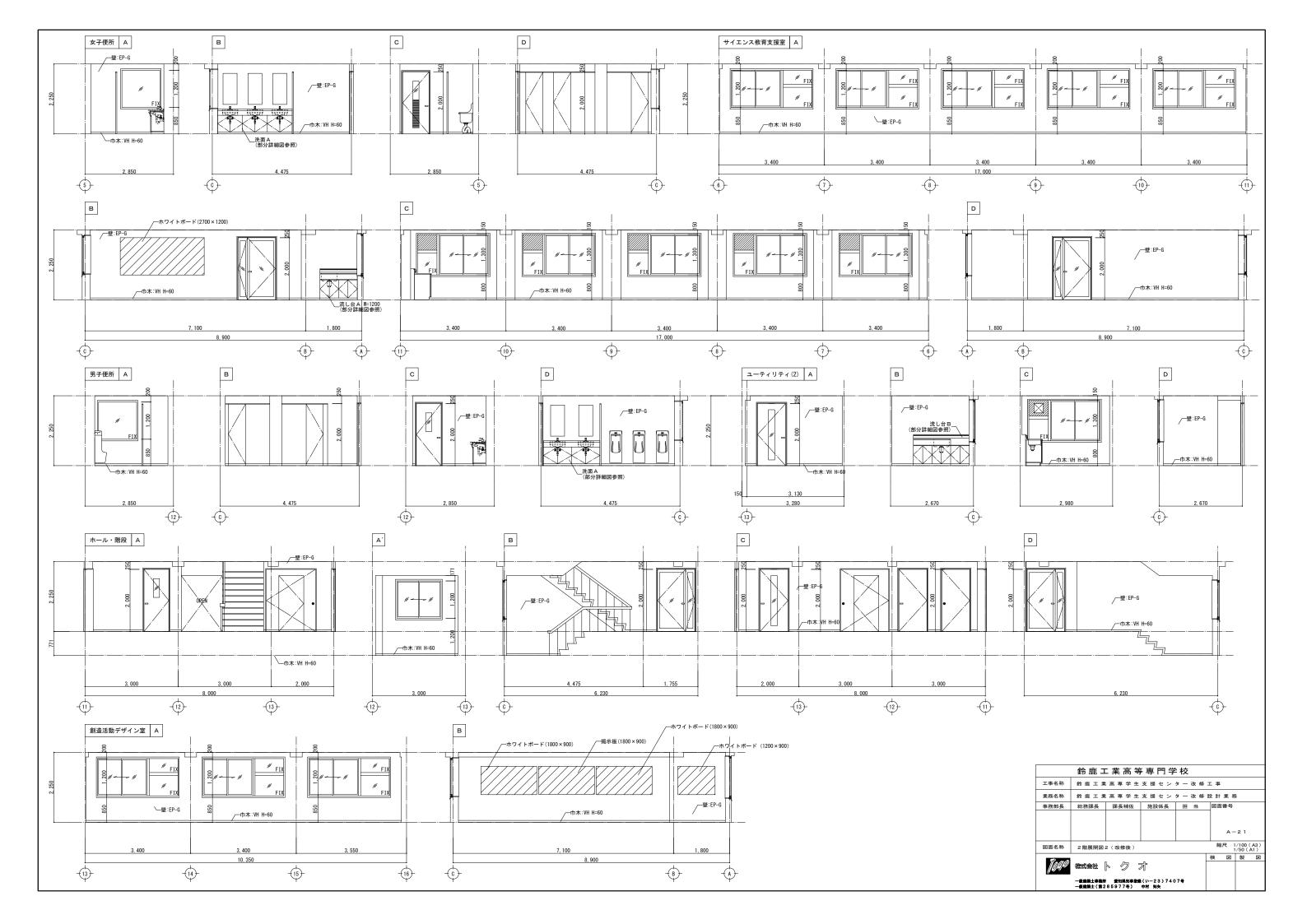


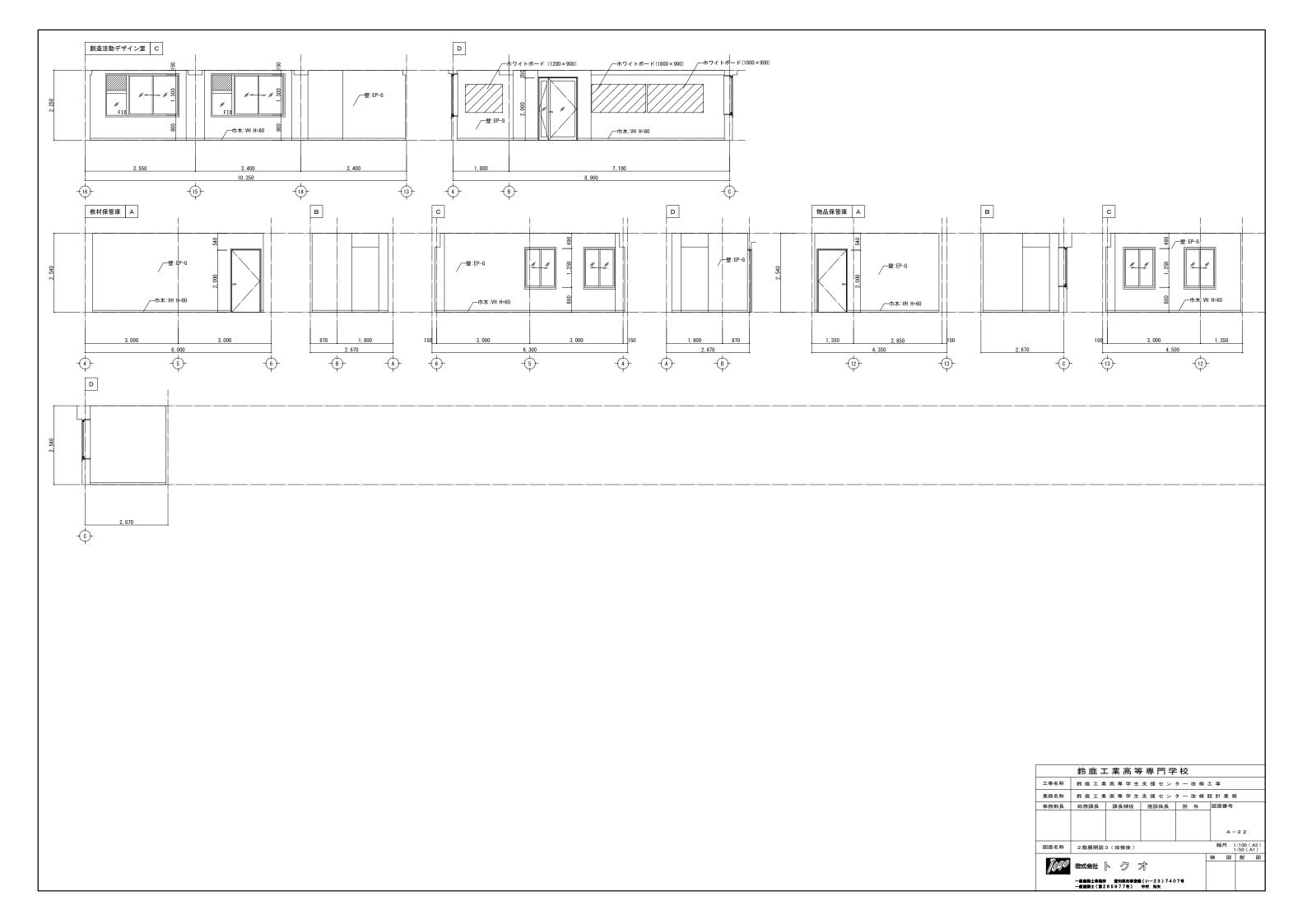


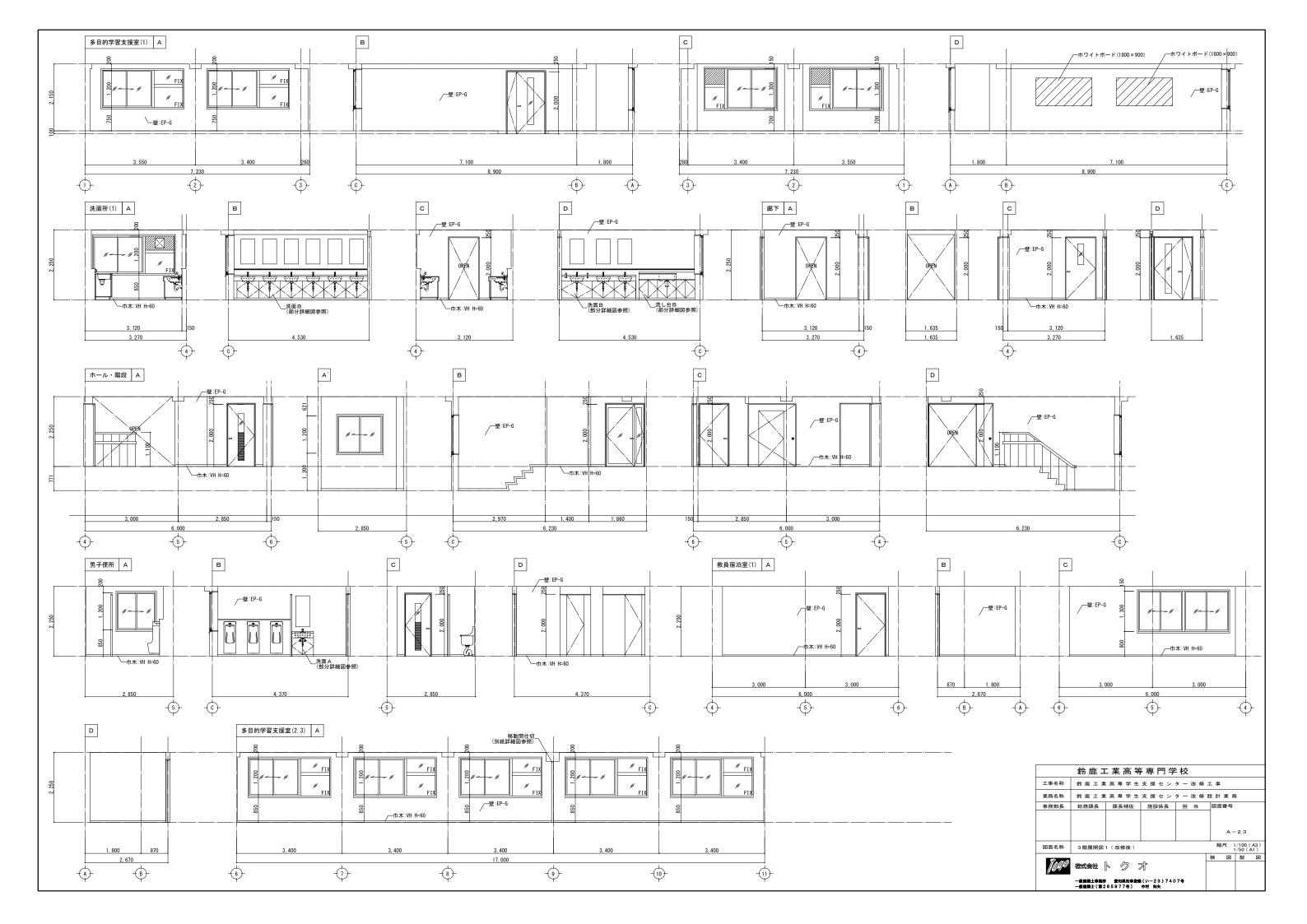


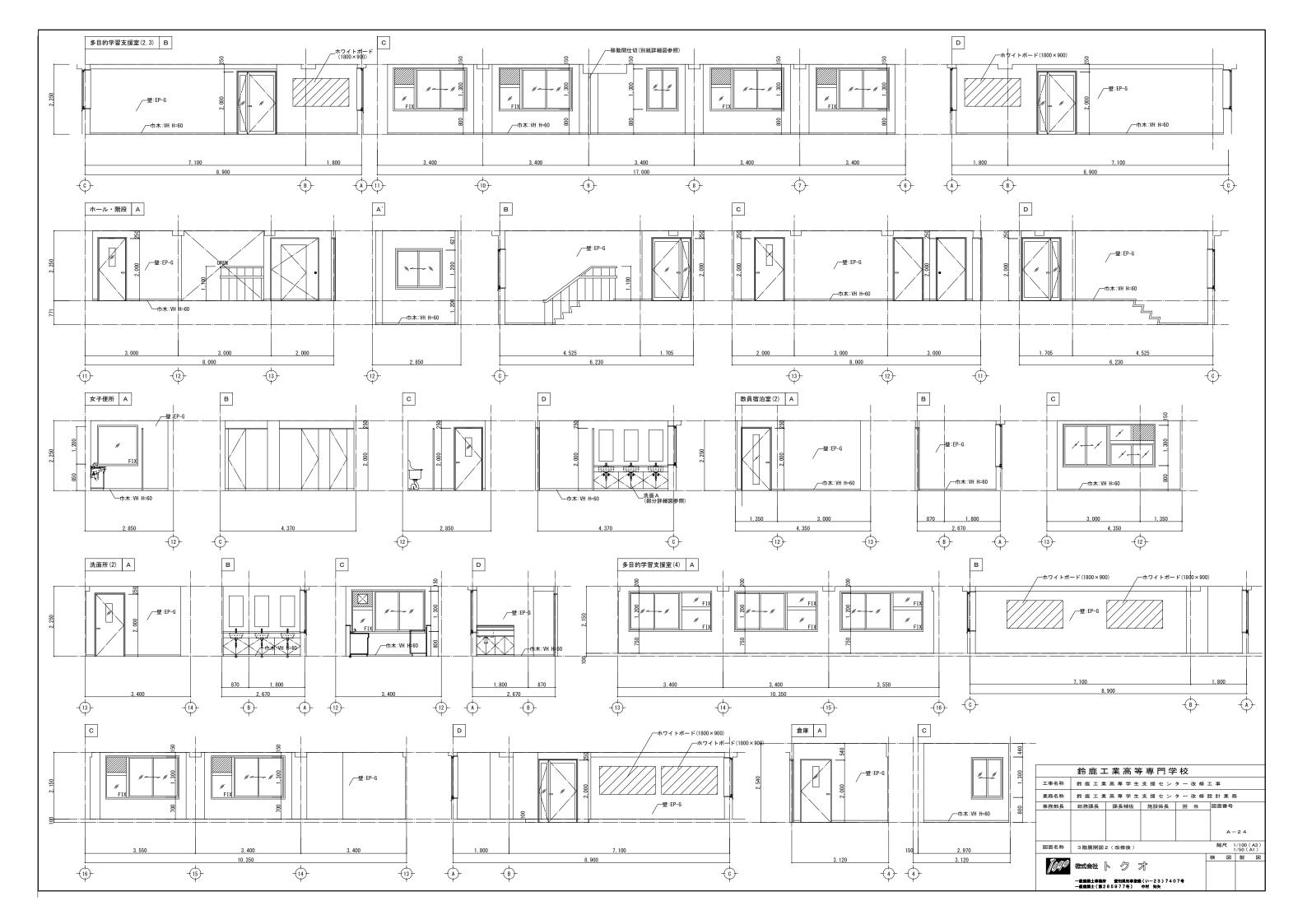


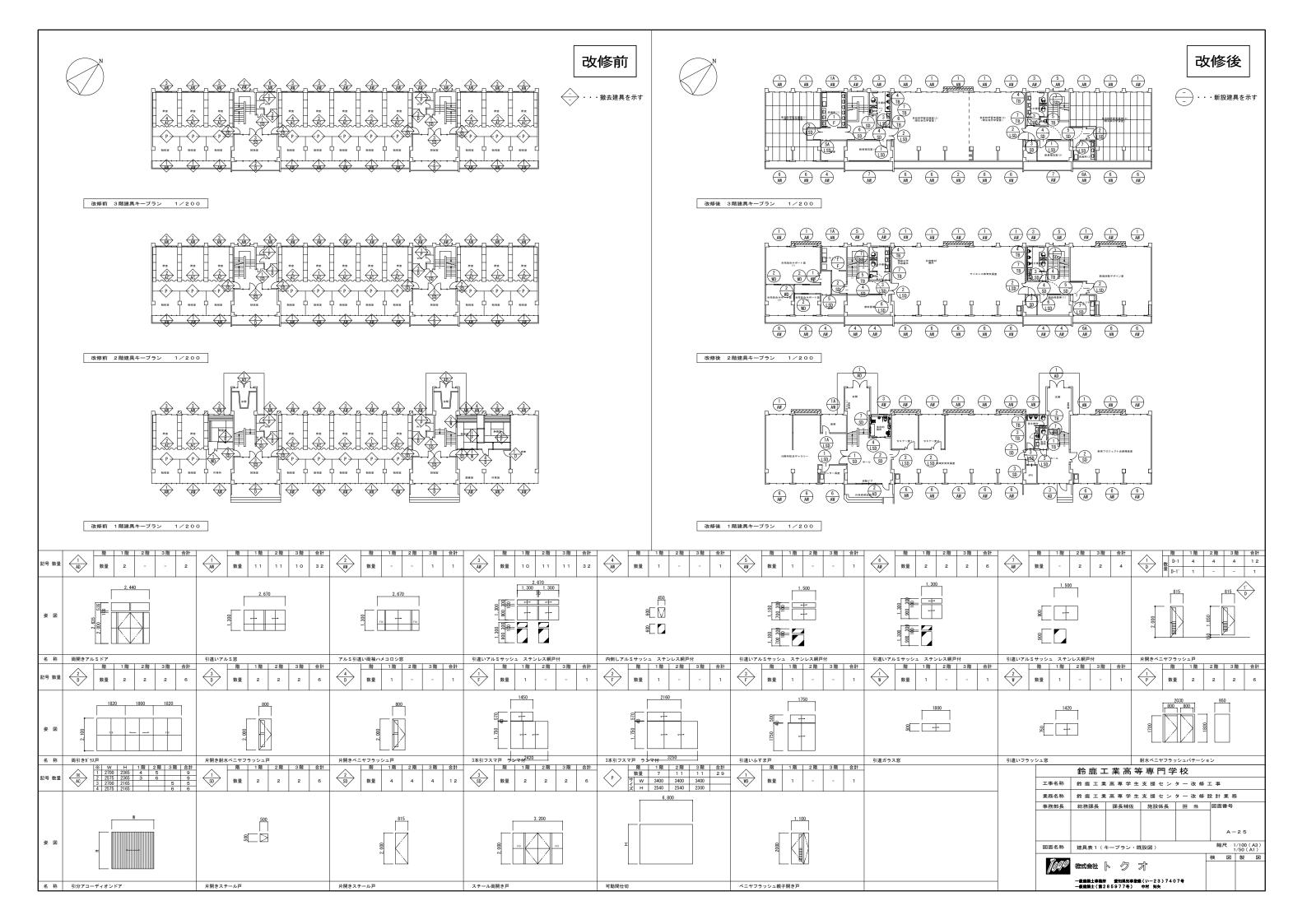


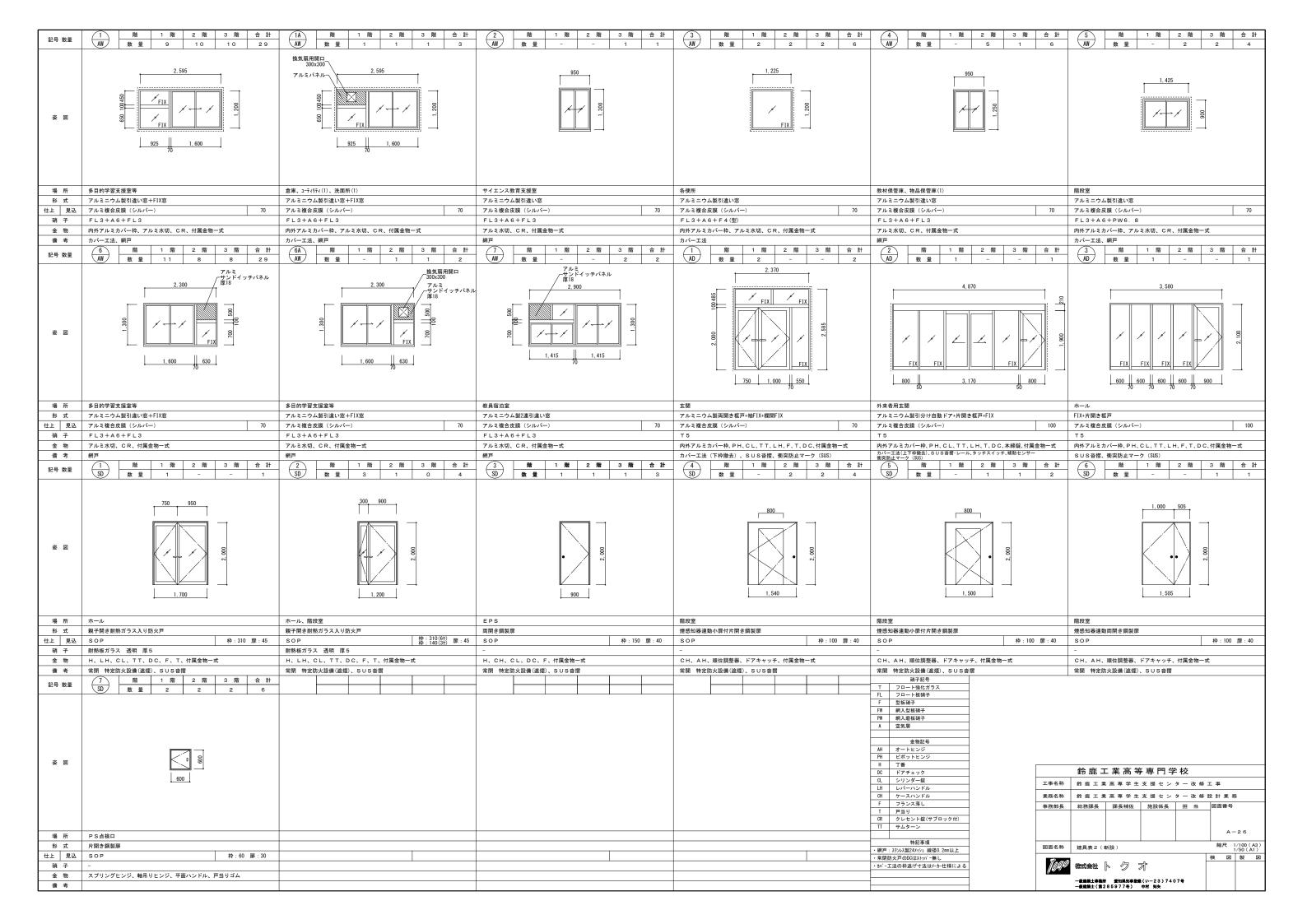


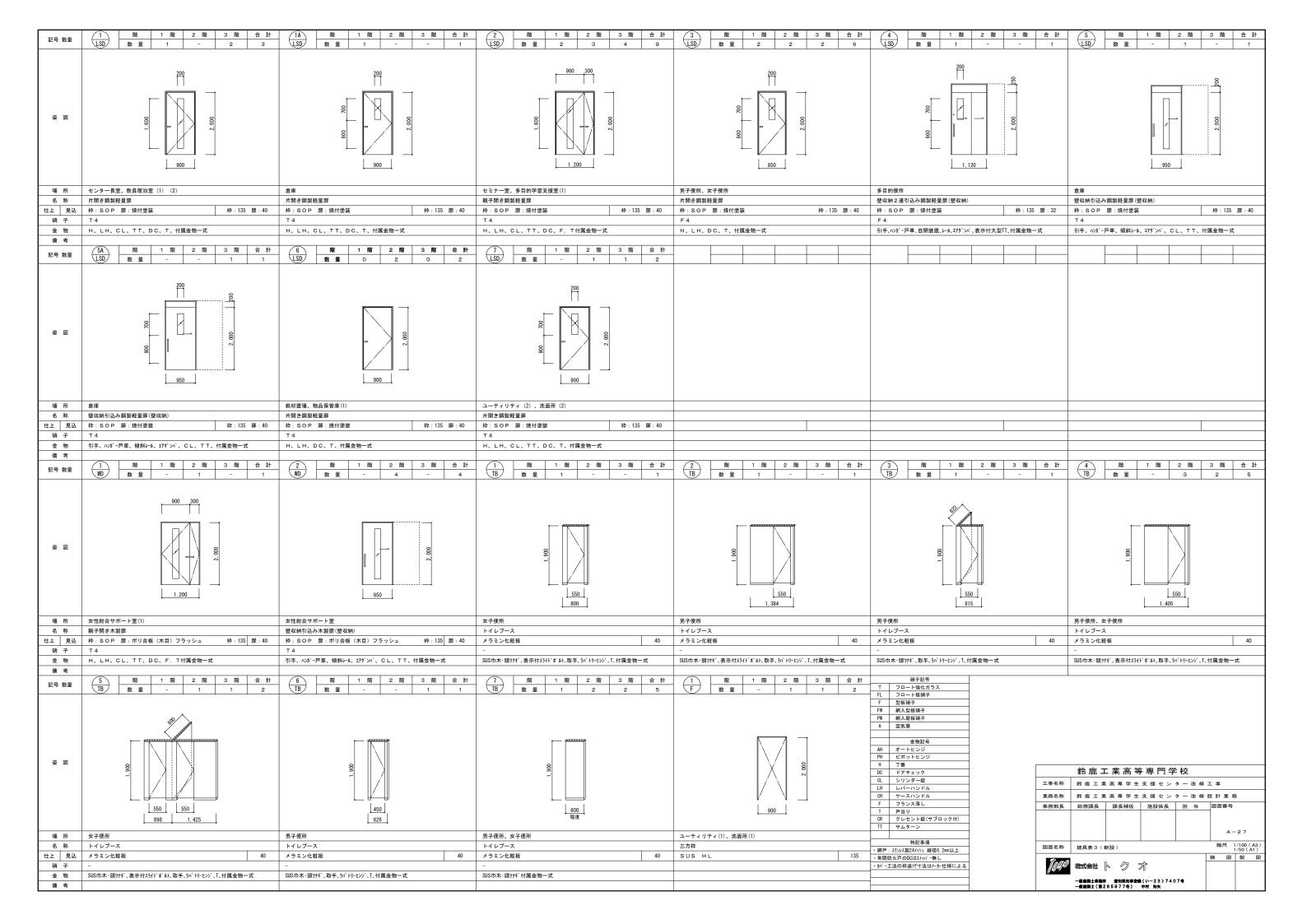


















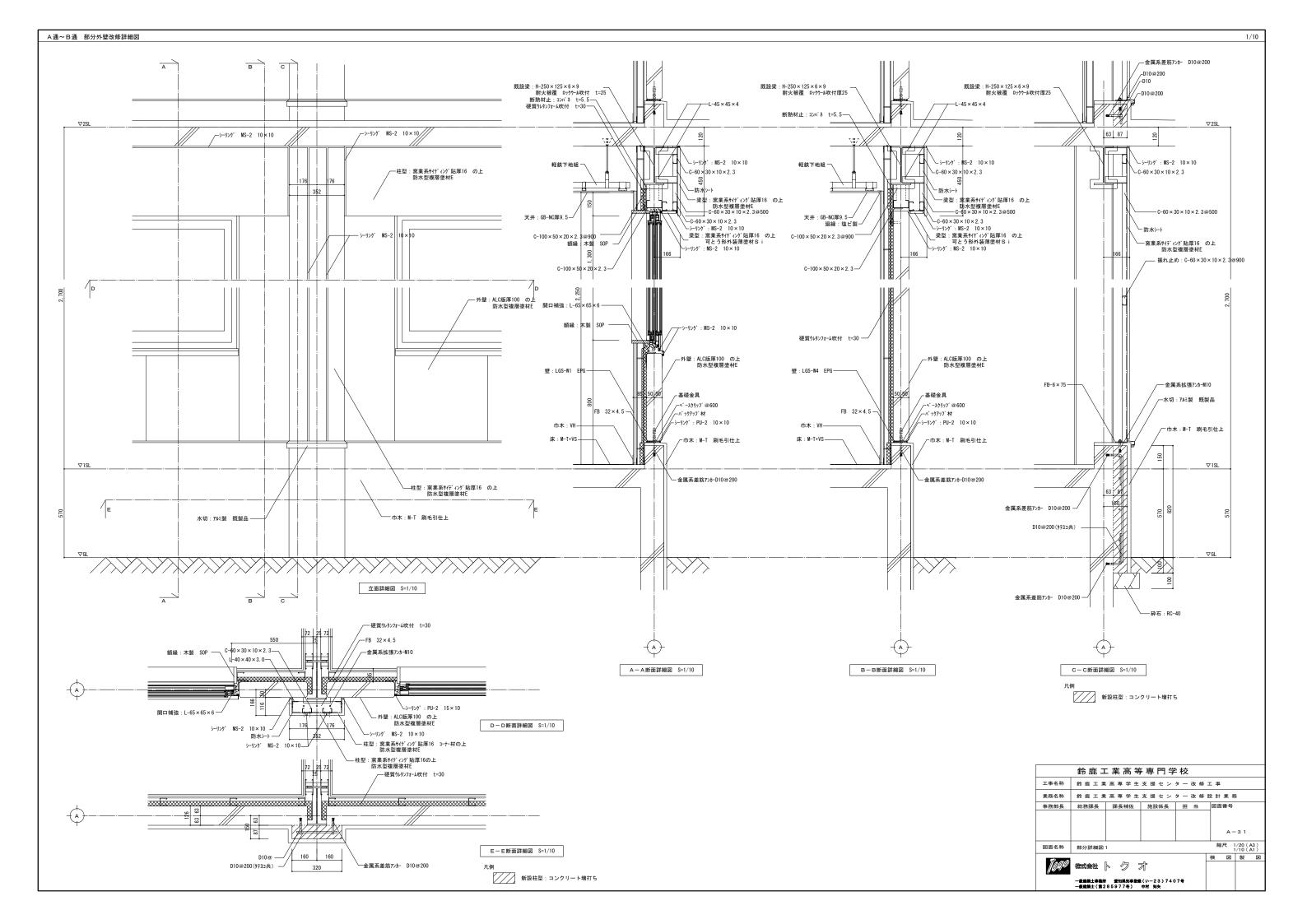
改修後 3階天井伏図

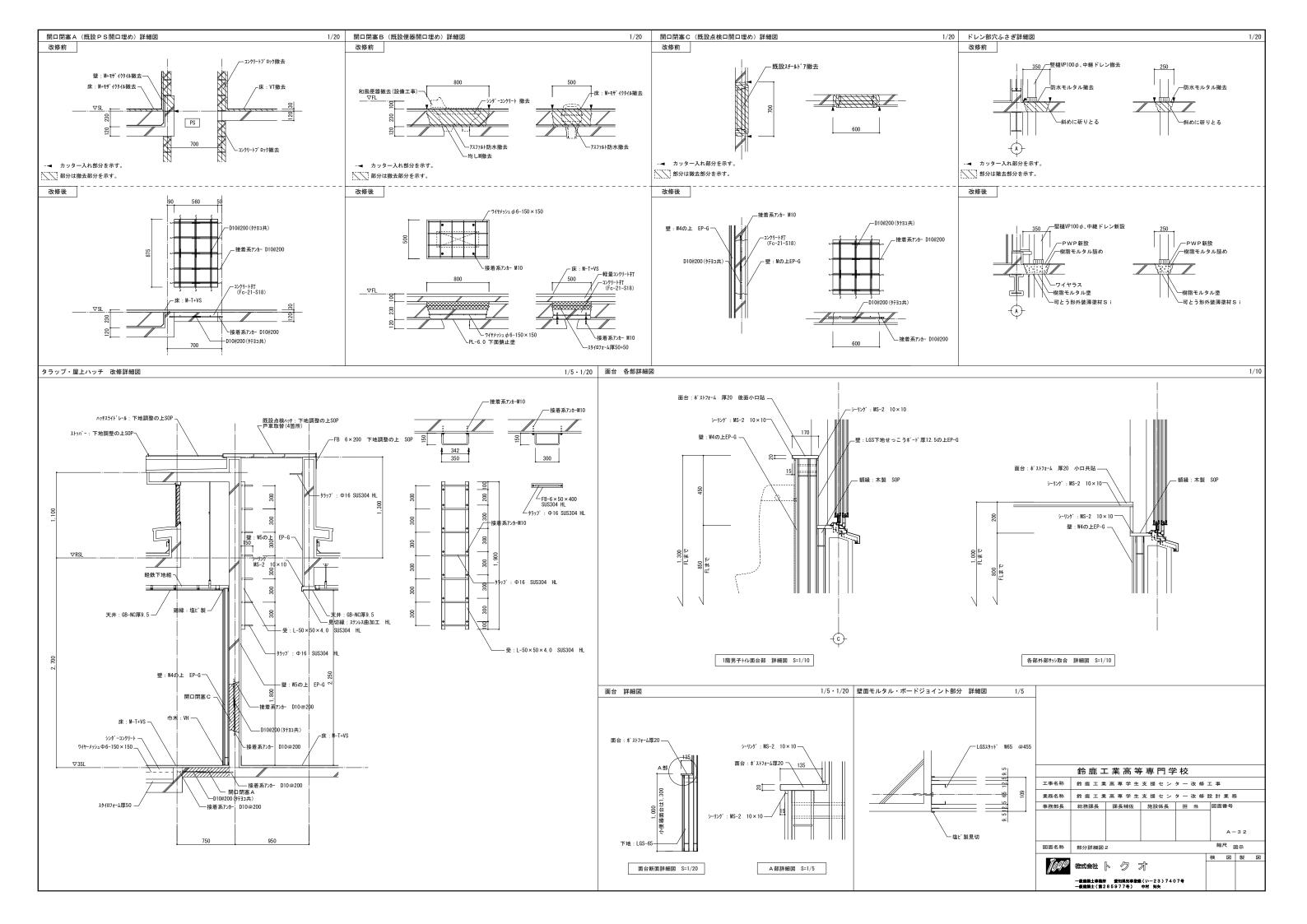
1/100

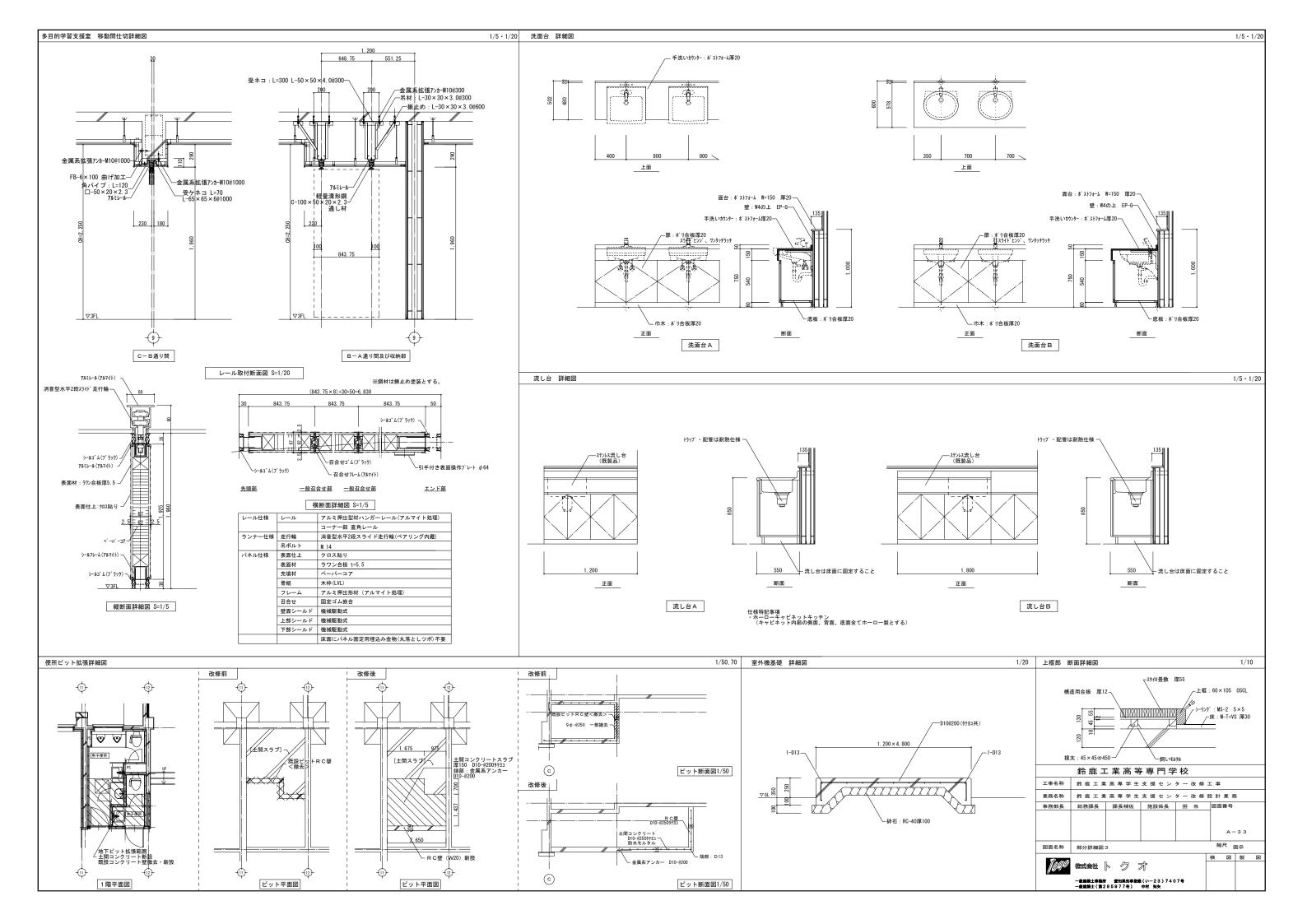
検 図 製 図

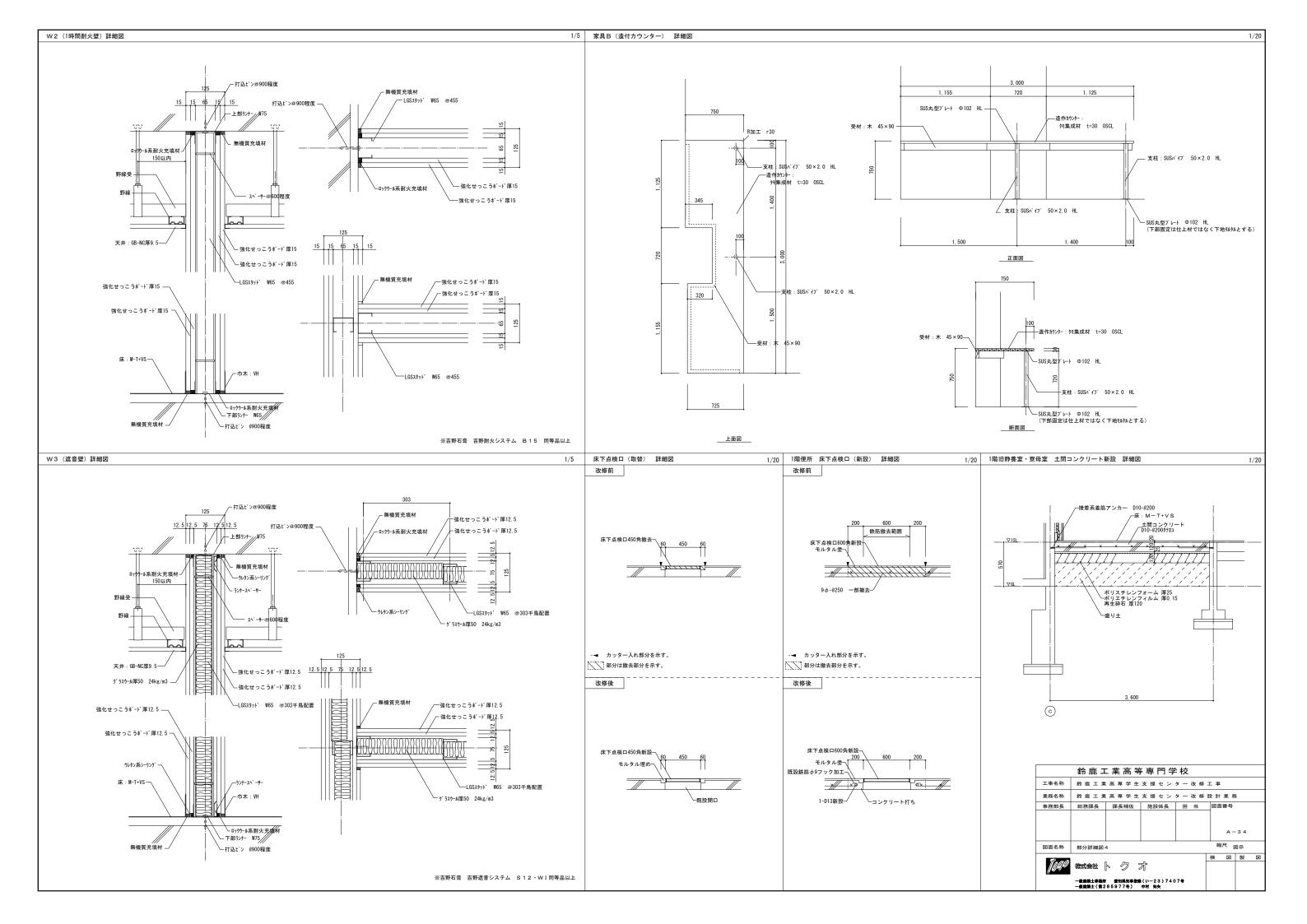
TOGGO WELLEY P 9 7

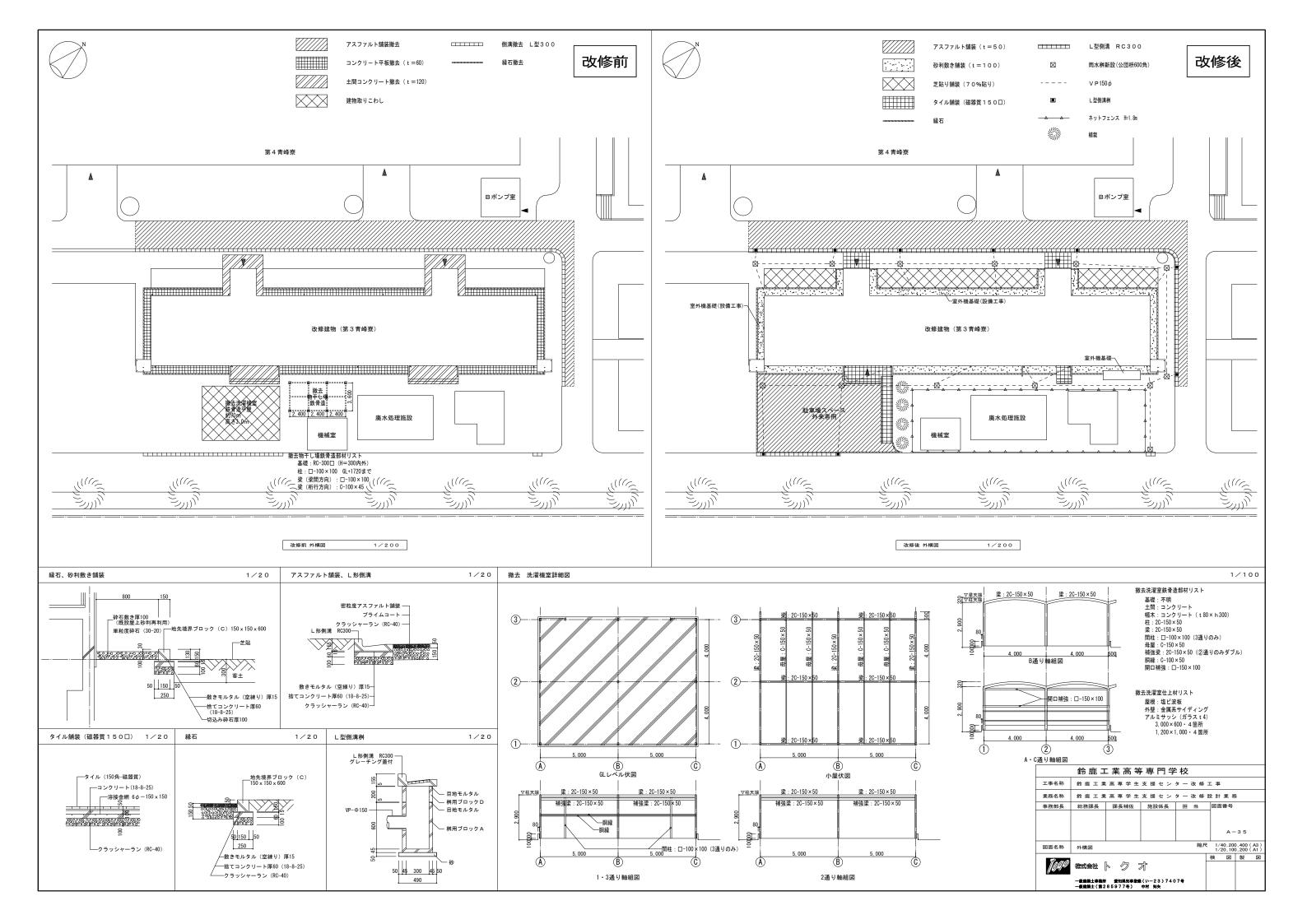
- 根連集士事務所 ・ 愛知県知事登録(いー23)7407号 - 銀連集士(第285977号) ・ 中村 知矢

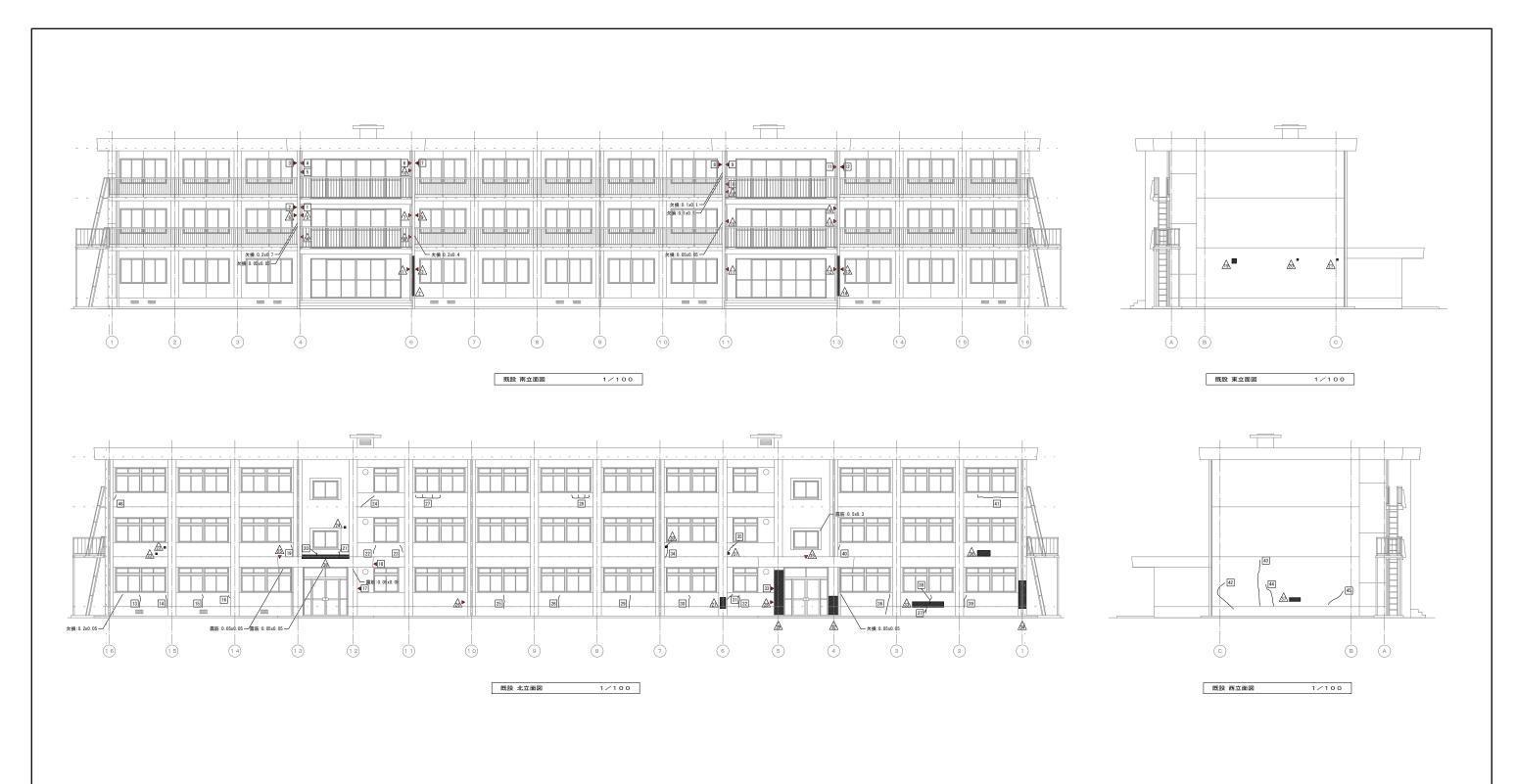












				モルタ	ル浮き									ひび割れ				
			一般部	狭幅部				一般部	狭幅部		0.2mm以上	1.0mm以上		0.2mm以上	1.0mm以上		0.2mm以上	1.0mm以上
	縦	横	m <sup>*</sup>	m		縦	横	m³	m		m	m		m	m		m	m
1	0.8	1.5	1. 2		21	0. 3	0. 3			1	0.8		21	0.4		41	2. 2	
2	0. 2	2.8			22	0. 3	0. 3			2	0.8		22	0.7		42	2. 2	
3	0.3	0.3			23	0. 2	0. 2			3	0. 1		23	0.8		43	2. 7	
4	0. 5	0.7	0. 35		24	0. 3	0. 3	0.09		4	0. 3		24	0.9		44	1. 7	
5	0.4	0.4	0.16		25	0. 2	0. 5			5	0. 1		25	1		45	1. 8	
6	1. 2	0.8			26	0. 2	0. 1	0. 02		6	0. 1		26	1		46	0. 2	
7	0.3	0. 2			27	0. 5	1	0. 5		7	0. 3		27	1.5				
8	0. 5	1.8			28	0. 3	0. 3	0.09		8	0. 8		28	1.5				
9	0.6	0.8			29	0. 5	2. 4			9	0.4		29	1				
10	0.3	0.6			30	0. 3	0. 3			10	0. 2		30	1				
11	0. 9	2			31	0. 2	0. 2	0. 04		11	0. 6		31	0.4				
12	0. 7	0.6			32	0. 5	1	0. 5		12	1		32	1				
13	0. 5	0.5			33	1. 7	0. 3			13	1		33	2				
14	0. 2	2. 8			34	0. 5	1. 5			14	0. 9		34	0.7				
15	0.3	0. 2			35	0. 2	1. 6			15	1		35	0.4				
16	0. 5	0.4	0. 2		36	0. 7	0. 3			16	0. 2		36	1.8				
17	0.6	1.8			37	0. 6	0. 2	0. 12		17	0. 7		37	0.5				
18	0. 2	0.1	0. 02		38	2. 5	0. 4	1		18	1		38	0.9				
19	0. 5	0.5								19	0.4		39	0.8				
20	0.4	0.3	0. 12							20	0.4		40	0.3				
			9. 7	0				5. 76	0		10. 3	0		18. 6	0		10. 8	
ät			<b>V.</b> 7	-	計			15. 46			10.0			10.0	合計		39. 7	

- 特 記 事 項

  1. 足場掛け後クラック、浮き欠損部分の調査を行い調査報告書を監督員に提出すること。
  又、調査にあたりモルタルの厚さも調査すること。

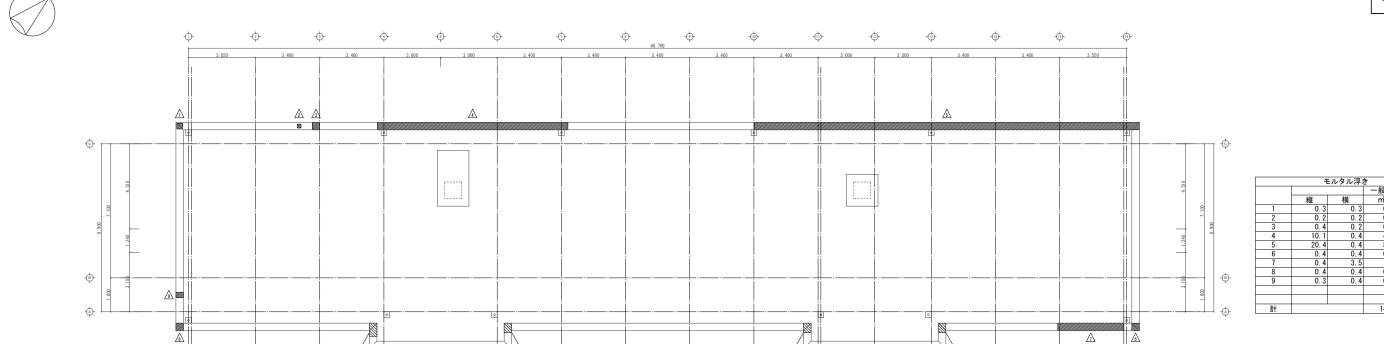
  2. 施工方法は国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書」に準拠し、施工計画書を監督員に提出し承諾を得ること。

  3. 外壁補修出来型施工報告書を提出すること。

外壁・内壁 モルタル浮き補修								
アンカーピンニングエポキシ樹脂注入工法 (全面)								
外壁・内壁 クラック補修	外壁・内壁 クラック補修							
ひびわれ 1 mm以上 Uカットシーリング材充填工法								
ひぴわれ0.2mm以上1mm未満	自動低圧式エポキシ樹脂注入工法							

	鈴鹿工業高等専門学校									
工事名称	鈴鹿工業	高専学生	支援セン	ター改修	工事					
業務名称	鈴鹿工業	高専学生	支援セン	ター改修	設計業	務				
事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	図面番号					
					Α-	-36				
図面名称		1/200 (A3) 1/100 (A1)								
15t ma					検 図	製図				
[[0,9]®										





4

10

12

13

-14

-(15)-

2

0

1/100

既設 3階平面図

4

\$

\$

0

4

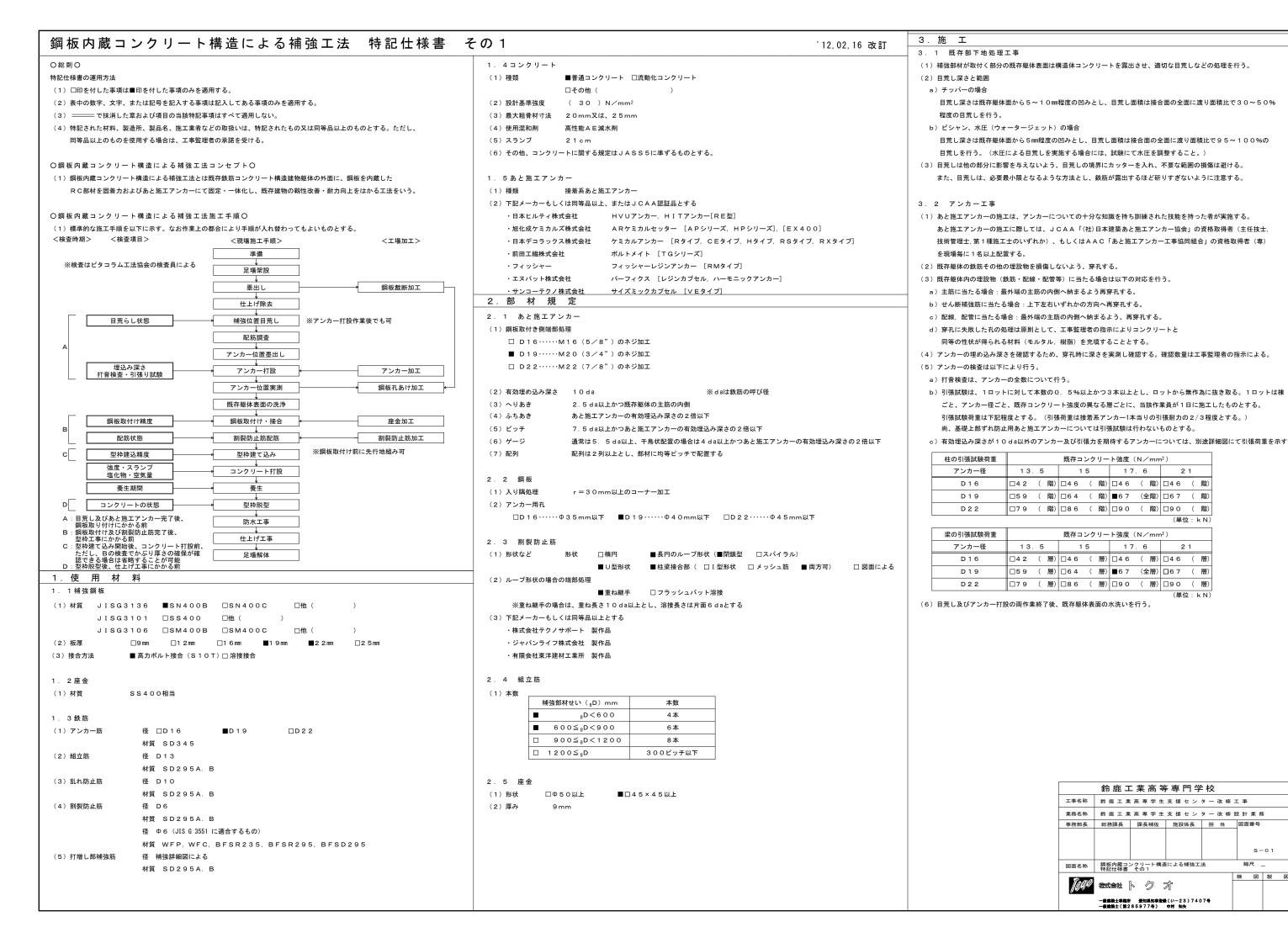
外壁・内壁 モルタル浮き補修 アンカーピンニングエポキシ樹脂注入工法(全面)

特 記 事 項
1. 足場掛け後クラック、浮き欠損部分の調査を行い調査報告書を監督員に提出すること。
又、調査にあたりモルタルの厚さも調査すること。
2. 施工方法は国土交通省人民官房官庁営結部監修「公共建築改修工事標準仕様書」に準拠し、施工計画書を監督員に提出し承諾を得ること。
3. 外壁補修出来型施工報告書を提出すること。

鈴鹿工業高等専門学校 工事名称 鈴 鹿 工 業 高 専 学 生 支 援 セ ン タ 一 改 修 工 事 業務名称 鈴 鹿 工 業 高 専 学 生 支 援 セ ン タ ー 改 修 設 計 業 務 事務部長 総務課長 課長補佐 施設係長 担 当 図面番号 縮尺 1/200 (A3) 1/100 (A1) 図面名称 屋根伏図(モルタル浮き・クラック補修図) 検 図 製 図



- 銀建築士事務所 愛知県知事登録(ルー23)7407号 - 銀建築士(第285977号) 中村 知矢



縮尺 \_

検 図 製 図

# 鋼板内蔵コンクリート構造による補強工法 特記仕様書 その2

- (1) 鋼板の表面に付着した油膜などの、付着力を低下させる付着物は除去する。
- (2)鋼板1ピースあたり、4本以上のアンカーにより取付ける。
- (3) 鋼板の取付けは、4本以上のアンカーに対して鋼板の両側からナット・座金を用いて軸方向に対して最も外端にある アンカーを固定する。また、鋼板1ピースの長さが2.0mを越える場合は、2.0m以内に2箇所づつ追加する。 その他のアンカーは鋼板の外側にのみ、ナット・座金を使用する。
- (4) 鋼板取付けのナット締付け量はモンキーレンチなどを用い、手締めとする。締付けトルクは指定しない。
- (5) あと施工アンカーと鋼板の孔が合わない場合は、原則としてあと施工アンカーを台直しして収める。やむを得ず、鋼板の孔をふかす場合は、工事監理者の承認を得ることとし、ふかしが大きくなる場合は欠損部に相当する添え板を鋼板面に溶接補強する。
- (6) 建て入れ直しは以下による。

3.3 鋼板加工・取付け工事

a)面内方向

建て入れ直しは、レパーブロックなどにより行い、建て入れの精度は鋼板接合部が全数取付けられ、所定のかぶり厚さ が確保できる範囲であれば、支障はない。

b)面外方向

建て入れ直しは、あと施工アンカーにセットされたナットと座金を用いて行ってもよい。建て入れ直しの精度は、頂部の鋼板から下げ降りを下げるなどして、面外方向の出入りは正規の位置より±3mm以内とする。ただし、既存躯体の精度が悪いときは、工事監理者の指示による。

- 3. 4 鉄筋工事
- (1) 組立筋の継手は、位置は特に規定はしないが、鋼板接合部位置からずらすことが望ましい。組立筋は3本以上が 交差することのないよう配慮する。3本交差する場合は、梁の組立筋を切断することが望ましい。
- (2) U型割裂防止筋の定着長さはその部材に使用する標準割裂防止筋の長径+150mm以上とする。
- (3) 柱・梁共に打増しがある場合、材軸方向筋は原則として柱筋を通し配筋とし、梁筋の柱への定着は規定しない。
- 3.5 コンクリート工事
- (1)調合はJASS5による。
- (2) 発注は、レディーミクストコンクリートとする。また、工場はJIS表示許可を受けていなければならない。
- (3) コンクリートの打ち込み、締め固めはJASS5による。
- (4) 養生は以下による。
- a) 早強ポルトランドセメントおよび普通ポルトランドセメントを使用する場合は、コンクリートの圧縮強度が10N/mm²以上となることを確認すれば、せき板・支保工の撤去および以降の湿潤養生を打ち切ることができる。
- b) 湿潤養生期間中の上階へのコンクリート打設は、下階の養生状態に対して影響が少ないため連日にわたり行っても良い。 但し、直下階の養生は打ち切ってはならない。
- c) 上階に日々連続してコンクリートを打設する場合も、前日打設したコンクリートに悪影響を与えないよう、作業の管理 を行う。
- (5) 品質管理の検査項目は、JASS5に規定されている項目のうち、圧縮強度、スランプ、空気量、コンクリート温度、塩化物量とする。
- (6) 圧縮強度の試験は、コンクリート打設日毎に3台の運搬車からテストピースを採取し、標準養生の7日(4週強度推定用), 28日(「構造体コンクリート強度推定試験用」、[「使用するコンクリートの調合強度管理のための試験」を兼ねるものとする]) について各3本づつ行う。その他、型枠脱型用、予備など必要に応じて採取するものとし、目的に準じた養生方法で管理する。
- 3.6型枠工事
- (1) せき板の材料および種類はJASS5による。
- (2)型枠の加工および組立ては以下による。
- a)セパレータの取付けは鋼板を利用してもよい。
- b)補強部材には、打ち継ぎ部分には打ち継ぎ目地を設け、また適宜に化粧目地を設ける。
- c)補強部材には、目地の設置を考慮し25mm程度の打増しは可とする。
- 3.7 防水工事
- (1)シーリングを必要とする目地は以下による。
- a)既存躯体と補強体の新旧コンクリートの打ち継ぎ面の目地幅(幅25mm,深さ20mm)
- b)補強体に設けた、化粧目地(幅15mm, 深さ15mm)
- c) その他、防水上必要と認められる目地および補強体と他材料との接合部
- d) 笠木などの防護策を講じた場合の防水上必要と認められる目地
- (2) シーリング材を充填する目地
- a) 目地幅は、シーリング材がムーブメントに対する追従性を確保できる寸法とし、かつ、シーリング材を十分に充填できる寸法とする。
- b) 目地深さは、シーリング材の接着性、耐久性を十分に確保でき、硬化阻害を起こさない寸法とし、かつ、シーリング材を十分に充填できる寸法とする。
- c) その他、JASS8に準ずる。

### 3.8 打増しの規定

(1)補強部材取付けに伴う打増し部分に適用する配筋は打増し厚により以下に規定する。

打増し厚			配	筋	規	定	
	0 mm~ 5 0 mm未満	配筋不要					
	50mm以上~100mm未満	メッシュ筋(φ 6 @ 1 0 0 シングルクロス)					
	100mm以上	補強詳細図による					

### 3.9 庇・バルコニー・片持ち梁などがある場合の規定

(1)補強部材が連層で設置される場合で、庇やバルコニー・片持ち梁などのはね出し部材がある場合は、補強部材が連続するよう、 連結部分のはね出し部材を祈り取り、鋼板が連続し応力伝達が可能となるような対処を行わねばならない。

'12,02,16 改訂

- (2) 庇・バルコニー・片持ち梁等の根元を撤去・復旧する場合は、必ず支保工等で充分に養生すること。
- (3) 庇・パルコニー・片持ち梁等のはね出し部材を復旧する場合は、原則として既存鉄筋を接合復旧できる長さ(梁面から300mm以上) を残して撤去し、復旧方法の詳細は図面による。

### 3.10 検査

(1) 3. 1~3. 9の各工事について、ピタコラム工法協会の検査員の検査を受けること。ただし、3.7防水工事は除くものとする。

# 4. その他

- 4.1 既存躯体不良の処置
- (1) 既存躯体の不良については、工事監理者と処置方法を協議する。

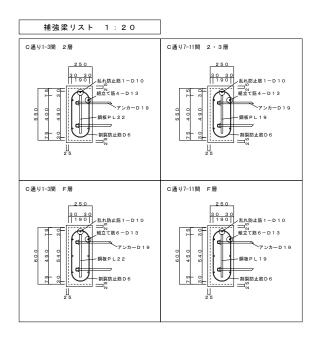
## 4.2 補強部材の仕上げ

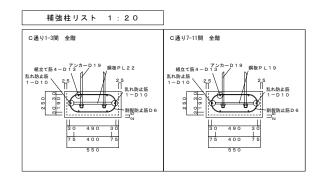
(1) 小地震時の微小変形やコンクリートの乾燥収縮によるひび割れの対応として、耐久性の確保の為に、仕上げ材は防水形複層塗材E (JISA6909)を推奨する。

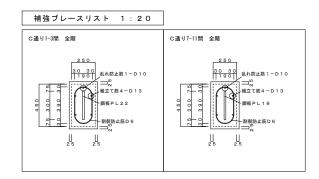
# 会の施工業高等専門学校 工事名称 第正業高専学生支援センター改修設計業務 事務部長 総務課長 課長補佐 施設係長 担当 S - 0 2 図面名称 頻板内蔵コンクリート構造による構造工法 様図 製図 図

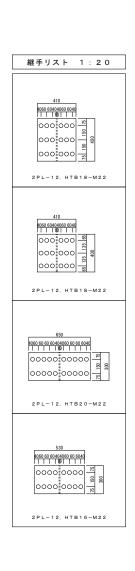
**株式会社** ▶ 夕 オ

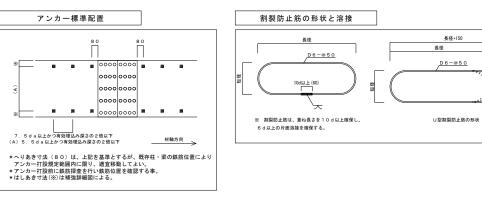
一級連絡士事務所 愛知県知事登録(いー23)7407号 一条連絡士(第285977号) 中村 知矢

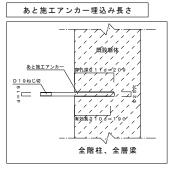


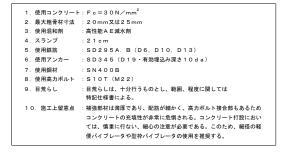


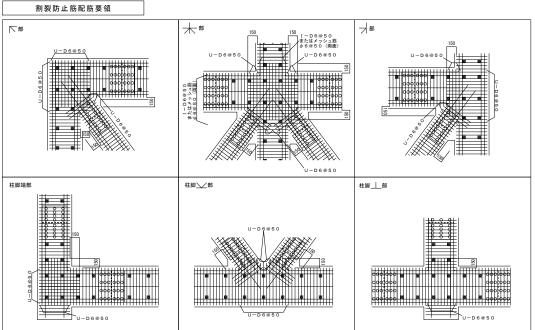




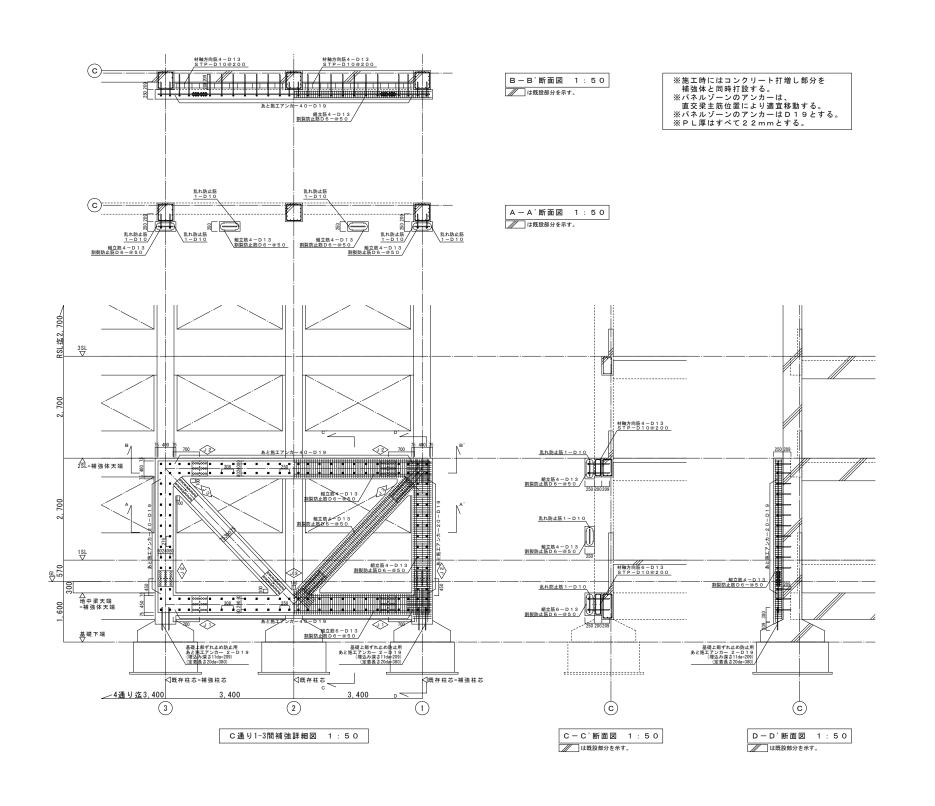




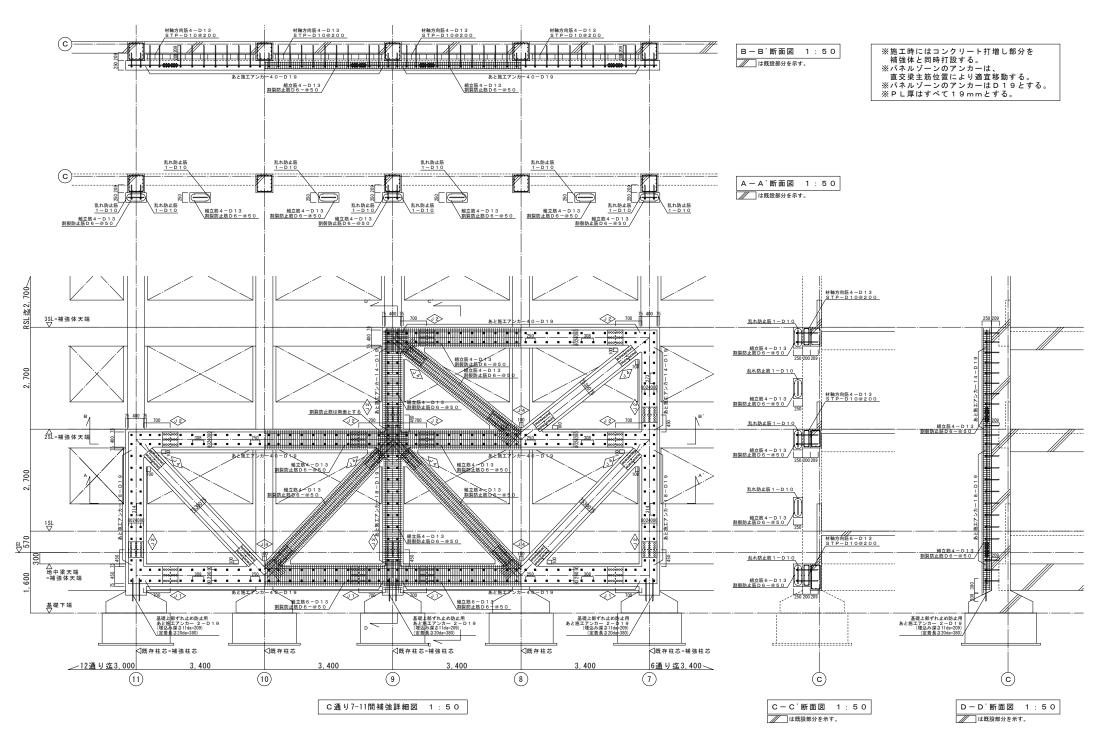








鈴 鹿 工 業 高 等 専 門 学 校									
工事名称	鈴鹿工業	高専学生	支援セン	ター改修:	工事				
業務名称	鈴鹿工業	高専学生	支援セン	ター改修	設計業務	§ .			
事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	図面番号				
						- 0 4			
					5-	-04			
図面名称	補強詳細図				縮尺	/50			
四面石标		1				750			
50 mg									
1090									
	7-9								



鈴鹿高専課外活動センター 補強詳細図2

鈴 鹿 工 業 高 等 専 門 学 校									
工事名称	鈴鹿工業	高専学生	支援セン	ター改修	工事				
業務名称	鈴鹿工業	高専学生	支援セン	ター改修	設計業	務			
事務部長	総務課長	課長補佐	施設係長	担当	図面番号	3 7			
					s	-05			
図面名称	補強詳細図:	縮尺	1/50						
	THI JOK DT THE REAL					1	_		
Tin 000	,	. ~	新		検 図	製	図		
1000	徽式会社								